（様式第10）

岡　大　病　総　第　1　0　3　号
令和　7 年　10 月　2 日

厚生労働大臣　殿

開設者名　国立大学法人岡山大学長　那須　保友

岡山大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1　開設者の住所及び氏名

住所	〒700-8530　岡山市北区津島中一丁目1番1号
氏名	国立大学法人岡山大学

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名称

岡山大学病院

3　所在の場所

〒700-8558　岡山市北区鹿田町二丁目5番1号
電話（086）223－7151

4　診療科名

4－1　標榜する診療科名の区分

○	1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2　標榜している診療科名

（1）内科

内科						有	
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科	○	3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
腎臓内科、内分泌内科、代謝内科、感染症内科、アレルギー疾患内科及びリウマチ科で提供される医療については、内科で提供している。また、神経内科で提供される医療については、脳神経内科で提供している。							

（注）　1「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

（2）外科

外科	

外科と組み合わせた診療科名							
	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科

診療実績
呼吸器外科、乳腺外科及び内分泌外科で提供される医療については、外科で提供している。また、消化器外科で提供される医療については、消化管外科及び肝・胆・膵外科で提供している。

（注）　1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

（3）その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

（注）　標榜している診療科名に○印を付けること。

（4）歯科

歯科	有

歯科と組み合わせた診療科名					
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科

歯科の診療体制

（注）　1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

（5）（1）～（4）以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	消化管外科	3	肝・胆・膵外科	4	形成外科	5	小児神経科
6	病理診断科	7	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

（注）　標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
34	2	0	0	783	819

（単位:床）

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	339	465	649.3
歯科医師	89	163	162
薬剤師	72	0	72
保健師	0	0	0
助産師	33	2	33.7
看護師	1015	31	1034.2
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	14	2	15.5
管理栄養士	11	0	11

職種	員数
看護補助者	41
理学療法士	23
作業療法士	8
視能訓練士	7
義肢装具士	0
臨床工学士	29
栄養士	0
歯科技工士	7
診療放射線技師	58

職種		員数
診療エックス線技師		0
臨床検査	臨床検査技師	72
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師		0
医療社会事業従事者		9
その他の技術員		59
事務職員		421
その他の職員		55

（注） 1 報告書を提出する年度の10月１日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数（人）	専門医名	人数（人）
総合内科専門医	120	眼科専門医	11
外科専門医	54	耳鼻咽喉科専門医	7
精神科専門医	11	放射線科専門医	19
小児科専門医	38	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	37
泌尿器科専門医	16	麻酔科専門医	25
産婦人科専門医	17	救急科専門医	8
		合計	381

（注） 1 報告書を提出する年度の10月１日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 （ 前田 嘉信 ） 任命年月日 令和 3 年 4 月 1 日

医療事故防止委員会委員 平成29年7月1日～令和元年5月31日 医療安全管理委員会委員長 令和3年4月1日～現在 医療安全管理委員会医員 令和元年6月1日～現在

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	556.9 人	14.1 人	571.1 人
1日当たり平均外来患者数	1644.1 人	482.3 人	2,126.4 人
1日当たり平均調剤数	1,015.6 剤		
必要医師数	151.8 人		
必要歯科医師数	26 人		
必要薬剤師数	20 人		
必要(准)看護師数	357 人		

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	1496.6 ㎡	鉄筋コンクリート	病床数	68 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]		床面積	291.1 ㎡	病床数	29 床
	[移動式の場合]		台数	－ 台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]		床面積	40.5 ㎡		
	[共用室の場合]		共用する室名	－		
化学検査室	362 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動化学発光免疫測定装置、生化学自動分析装置 外		
細菌検査室	130 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	微生物分類同定分析装置、全自動細菌同定感受性検査装置、孵卵器 外		
病理検査室	448 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	自動包埋装置、自動染色装置、自動免疫染色装置、クリオスタット 他		
病理解剖室	111 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、遺体保存用冷蔵庫 外		
研究室	5315 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	ドラフトチャンバー、クリーンベンチ、冷蔵庫、冷凍庫、中央実験台 外		
講義室	1060 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	10 室	収容定員	1060 人
図書室	1938 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	11 室	蔵書数	211588 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	106.8 %	逆紹介率	183.9 %

算出根拠			
	A:紹介患者の数	20,800	人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数	43,263	人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	4,320	人
	D:初診の患者の数	23,513	人

（注） 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（〇を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
松山 正春	岡山県医師会（会長）	〇	医療に係る安全管理に関する識見を有するため	無	1
長谷川 威	岡山中央法律事務所（弁護士）		法律に関する識見を有するため	無	1
清板 芳子	ノートルダム清心女子大学（名誉教授）		医療を受ける者の代表者	無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 ホームページに掲載	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数（人）
先進医療の種類の合計数	
取扱い患者数の合計（人）	0人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
生体肝移植術　適応症　切除が不可能な肝門部胆管がん	0人
生体肝移植術　適応症　切除が不可能な転移性肝がん（大腸がんから転移したものであって、大腸切除後の患者に係るものに限る。）	0人
ギルテリチニブ経口投与療法	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類の合計数	
取扱い患者数の合計（人）	0人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	生体部分肺移植	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 肺移植は末期肺疾患に対する有効な治療法である。例えば高度な症例としては、健康な2人のドナーから肺の一部の提供を受け、レシピエントに移植する。1人目のドナーから右下葉を、2人目のドナーから左下葉を摘出し、それぞれをレシピエントの右肺、左肺として移植する術式がある。			
医療技術名	死体肺移植	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 ドナーの片肺、または両肺を、移植を受ける方（レシピエント）の片方または両方の肺と入れ替える方法である。			
医療技術名	生体部分肝移植	取扱患者数	9
当該医療技術の概要 肝移植は末期肝疾患並びに急性肝不全（劇症肝炎など）に対する有効な治療法であり、当院では豊富な経験をもとに良好な実績を積んでいる。			
医療技術名	死体肝移植	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 脳死のドナーから通常、肝臓全部を採取し、それをレシピエントに移植する方法である。			
医療技術名	患者申出療養　マルチプレックス遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく分子標的治療	取扱患者数	19
当該医療技術の概要 本治療は、遺伝子パネル検査を受け、actionableな遺伝子異常を有することが判明した患者の申出に基づき、当該遺伝子異常に対応する適応外薬を患者申出療養制度に基づいて投与することを目的とする。			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

（注）1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

その他の高度医療の種類の合計数	
取扱い患者数の合計（人）	40

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	5	56	ベーチェット病	77
2	筋萎縮性側索硬化症	34	57	特発性拡張型心筋症	100
3	脊髄性筋萎縮症	13	58	肥大型心筋症	25
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	9	60	再生不良性貧血	19
6	パーキンソン病	211	61	自己免疫性溶血性貧血	0
7	大脳皮質基底核変性症	3	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
8	ハンチントン病	7	63	特発性血小板減少性紫斑病	15
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	13
11	重症筋無力症	87	66	IgA 腎症	69
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	46
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	56	68	黄色靱帯骨化症	10
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	22	69	後縦靱帯骨化症	52
15	封入体筋炎	5	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クロウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	40
17	多系統萎縮症	23	72	下垂体性ADH分泌異常症	23
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	79	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	7	74	下垂体性PRL分泌亢進症	17
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	12
21	ミトコンドリア病	5	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	20	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	44
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	133
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	4
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	1
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	7
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	69	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	97
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	65
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	64
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	9
34	神経線維腫症	45	89	リンパ脈管筋腫症	23
35	天疱瘡	19	90	網膜色素変性症	11
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	9	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	63
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	12
40	高安動脈炎	27	95	自己免疫性肝炎	35
41	巨細胞性動脈炎	17	96	クローン病	237
42	結節性多発動脈炎	9	97	潰瘍性大腸炎	420
43	顕微鏡的多発血管炎	35	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	27	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	28	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	9	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	2	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	223	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	99	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	76	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	28	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	6
53	シェーグレン症候群	22	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	10	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	5	110	ブラウ症候群	0

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	167	マルファン症候群	1
113	筋ジストロフィー	16	168	エーラス・ダンロス症候群	2
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	169	メンケス病	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
116	アトピー性脊髄炎	0	171	ウィルソン病	4
117	脊髄空洞症	8	172	低ホスファターゼ症	1
118	脊髄髄膜瘤	2	173	VATER症候群	0
119	アイザックス症候群	0	174	那須・ハコラ病	0
120	遺伝性ジストニア	0	175	ウィーバー症候群	0
121	神経フェリチン症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名（有馬症候群）	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	179	ウィリアムズ症候群	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	180	ATR－X症候群	0
126	ペリー症候群	0	181	クルーゾン症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	182	アペール症候群	1
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	183	ファイファー症候群	1
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	185	コフィン・シリス症候群	0
131	アレキサンダー病	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	187	歌舞伎症候群	0
133	メビウス症候群	0	188	多脾症候群	3
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	189	無脾症候群	3
135	アイカルディ症候群	1	190	鰓耳腎症候群	0
136	片側巨脳症	1	191	ウェルナー症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	192	コケイン症候群	0
138	神経細胞移動異常症	2	193	プラダー・ウィリ症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	194	ソトス症候群	0
140	ドラベ症候群	2	195	ヌーナン症候群	1
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	197	1p36欠失症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	198	4p欠失症候群	1
144	レノックス・ガストー症候群	3	199	5p欠失症候群	0
145	ウエスト症候群	6	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
146	大田原症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	202	スミス・マギニス症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	203	22q11.2欠失症候群	3
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	204	エマヌエル症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
151	ラスムッセン脳炎	0	206	脆弱X症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	208	修正大血管転位症	3
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	209	完全大血管転位症	2
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	210	単心室症	21
156	レット症候群	1	211	左心低形成症候群	3
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	212	三尖弁閉鎖症	5
158	結節性硬化症	14	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	6
159	色素性乾皮症	2	214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2
160	先天性魚鱗癬	2	215	ファロー四徴症	13
161	家族性良性慢性天疱瘡	0	216	両大血管右室起始症	12
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	10	217	エプスタイン病	8
163	特発性後天性全身性無汗症	3	218	アルポート症候群	3
164	眼皮膚白皮症	0	219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	1	220	急速進行性糸球体腎炎	2

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	276	軟骨無形成症	0
222	一次性ネフローゼ症候群	42	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	278	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	1
224	紫斑病性腎炎	7	279	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	2
225	先天性腎性尿崩症	0	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	4
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	3	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
227	オスラー病	9	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
228	閉塞性細気管支炎	1	283	後天性赤芽球癆	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
230	肺胞低換気症候群	0	285	ファンコニ貧血	0
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	2	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
232	カーニー複合	0	287	エプスタイン症候群	0
233	ウォルフラム症候群	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
235	副甲状腺機能低下症	2	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	292	総排泄腔外反症	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	9	293	総排泄腔遺残	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
240	フェニルケトン尿症	1	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
241	高チロシン血症1型	0	296	胆道閉鎖症	6
242	高チロシン血症2型	0	297	アラジール症候群	1
243	高チロシン血症3型	0	298	遺伝性膵炎	0
244	メープルシロップ尿症	0	299	嚢胞性線維症	0
245	プロピオン酸血症	0	300	IgG4関連疾患	7
246	メチルマロン酸血症	0	301	黄斑ジストロフィー	0
247	イソ吉草酸血症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
249	グルタル酸血症1型	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
250	グルタル酸血症2型	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
251	尿素サイクル異常症	1	306	好酸球性副鼻腔炎	115
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	307	カナバン病	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	308	進行性白質脳症	0
254	ポルフィリン症	0	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	310	先天異常症候群	0
256	筋型糖原病	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
257	肝型糖原病	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
258	ガラクトース－１－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
260	シトステロール血症	1	315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0
261	タンジール病	0	316	カルニチン回路異常症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	1	317	三頭酵素欠損症	0
263	脳腱黄色腫症	1	318	シトリン欠損症	0
264	無βリポタンパク血症	0	319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
265	脂肪萎縮症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0
266	家族性地中海熱	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
267	高IgD症候群	1	322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0
268	中條・西村症候群	0	323	芳香族L－アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	1	324	メチルグルタコン酸尿症	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	2	325	遺伝性自己炎症疾患	0
271	強直性脊椎炎	14	326	大理石骨病	0
272	進行性骨化性線維異形成症	1	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	328	前眼部形成異常	0
274	骨形成不全症	5	329	無虹彩症	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症 旧病名（先天性気管狭窄症）	0

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

	疾　患　名	患者数

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

331	特発性多中心性キャッスルマン病	8
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0
335	ネフロン癆	0
336	家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）	0
337	ホモシスチン尿症	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	163
合計患者数（人）	3565

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療に係る基準	・感染対策向上加算1
・医療DX推進体制整備加算	・患者サポート体制充実加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・重症患者初期支援充実加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科外来診療感染対策加算3	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料	・術後疼痛管理チーム加算
・救急医療管理加算	・後発医薬品使用体制加算1
・超急性期脳卒中加算	・バイオ後続品使用体制加算
・診療録管理体制加算2	・病棟薬剤業務実施加算1
・医師事務作業補助体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・急性期看護補助体制加算	・データ提出加算
・看護職員夜間配置加算	・入退院支援加算
・療養環境加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・重症者等療養環境特別加算	・精神疾患診療体制加算
・無菌治療室管理加算1	・精神科急性期医師配置加算
・無菌治療室管理加算2	・地域医療体制確保加算
・放射線治療病室管理加算（治療用放射性同位元素による場合）	・救命救急入院料4
・放射線治療病室管理加算（密封小線源による場合）	・特定集中治療室管理料1
・緩和ケア診療加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・一類感染症患者入院医療管理料
・精神科リエゾンチーム加算	・小児入院医療管理料2
・摂食障害入院医療管理加算	・短期滞在手術等基本料1
・栄養サポートチーム加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・医療安全対策加算1	・小児緩和ケア診療加算

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・がん治療連携計画策定料
・糖尿病合併症管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん患者指導管理料イ	・こころの連携指導料（Ⅰ）
・がん患者指導管理料ロ	・こころの連携指導料（Ⅱ）
・がん患者指導管理料ハ	・薬剤管理指導料
・外来緩和ケア管理料	・医療機器安全管理料1
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・医療機器安全管理料2
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・精神科退院時共同指導料1及び2
・糖尿病透析予防指導管理料	・救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算
・小児運動器疾患指導管理料	・救急患者連携搬送料
・婦人科特定疾患治療管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
・腎代替療法指導管理料	・在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料
・一般不妊治療管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・生殖補助医療管理料1	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定
・二次性骨折予防継続管理料1	・持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
・二次性骨折予防継続管理料3	・遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
・下肢創傷処置管理料	・遺伝学的検査の注2に規定する施設基準
・外来放射線照射診療料	・染色体検査の注2に規定する基準
・外来腫瘍化学療法診療料1	・骨髄微小残存病変量測定
・連携充実加算	・BRCA1／2遺伝子検査
・外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	・がんゲノムプロファイリング検査
・ニコチン依存症管理料	・先天性代謝異常症検査
・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	・抗アデノ随伴ウイルス9型（AAV9）抗体
・ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）	・抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・CT撮影及びMRI撮影
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（髄液）	・冠動脈CT撮影加算
・検体検査管理加算（Ⅳ）	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・国際標準検査管理加算	・外傷全身CT加算
・遺伝カウンセリング加算	・心臓MRI撮影加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・乳房MRI撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・小児鎮静下MRI撮影加算
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・頭部MRI撮影加算
・胎児心エコー法	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・ヘッドアップティルト試験	・外来化学療法加算1
・長期継続頭蓋内脳波検査	・無菌製剤処理料
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
・脳波検査判断料1	・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）
・神経学的検査	・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
・補聴器適合検査	・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
・ロービジョン検査判断料	・がん患者リハビリテーション料
・コンタクトレンズ検査料1	・リンパ浮腫複合的治療料
・小児食物アレルギー負荷検査	・通院・在宅精神療法の注10に規定する児童思春期支援指導加算
・内服・点滴誘発試験	・精神科作業療法
・経頸静脈的肝生検	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）
・前立腺針生検法（MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの）	・硬膜外自家血注入
・経気管支凍結生検法	・人工腎臓
・口腔細菌定量検査	・導入期加算3及び腎代替療法実績加算
・画像診断管理加算1	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・画像診断管理加算4	・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
・遠隔画像診断	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・ストーマ合併症加算	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	・人工中耳植込術
・皮膚移植術（死体）	・植込型骨導補聴器（直接振動型）植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・自家脂肪注入	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。）
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。）	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（MRIによるもの）
・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養軟骨移植術に限る。）	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）	・乳房切除術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・椎間板内酵素注入療法	・乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
・緊急穿頭血腫除去術	・乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。）	・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・頭蓋内電極植込術（脳深部電極によるもの（7本以上の電極による場合）に限る。）	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）	・気管支バルブ留置術
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱）	・胸腔鏡下肺切除術（区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
・角膜移植術（内皮移植加算）	・肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る。）
・羊膜移植術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
・緑内障手術（緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	・同種死体肺移植術
・緑内障手術（濾過胞再建術（needle 法））	・生体部分肺移植術
・網膜再建術	・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
・内視鏡下筋層切開術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
・食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔癒孔閉鎖術、胃癒閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸癒閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸癒閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸癒閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸癒閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸癒閉鎖術（内視鏡によるもの）及び膣腸癒閉鎖術（内視鏡によるもの）	・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
・胸腔鏡下弁置換術	・腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
・経カテーテル弁置換術（経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術）	・腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
・経カテーテル弁置換術（経皮的肺動脈弁置換術）	・腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
・経皮的僧帽弁クリップ術	・腹腔鏡下胃縮小術
・胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・不整脈手術 左心耳閉鎖術（胸腔鏡下によるもの）	・腹腔鏡下総胆管拡張症手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・不整脈手術 左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
・経皮的中隔心筋焼灼術	・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・体外衝撃波胆石破砕術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）	・腹腔鏡下肝切除術
・両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）	・腹腔鏡下肝切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）	・生体部分肝移植術
・植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）及び植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）	・同種死体肝移植術
・植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極抜去術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（心筋電極の場合）	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	・腹腔鏡下膵中央切除術
・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・植込型補助人工心臓（非拍動流型）	・同種死体小腸移植術

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・体外式膜型人工肺管理料
・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・尿道形成手術（前部尿道）（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・腹腔鏡下副腎摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術（褐色細胞腫）（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・尿道下裂形成手術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・陰茎形成術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術	・陰茎全摘術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・精巣摘出術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	・会陰形成手術（筋層に及ばないもの）（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・造腟術、腟閉鎖症術（遊離植皮によるもの、腸管形成によるもの、筋皮弁移植によるもの）（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・同種死体腎移植術	・子宮全摘術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・生体腎移植術	・腹腔鏡下腟式子宮全摘術（性同一性障害患者に対して行う場合に限る。）
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）	・子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・医科点数表第2章第10部手術の通則19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・医科点数表第2章第10部手術の通則19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
・尿道狭窄グラフト再建術	・輸血管理料Ⅰ
・人工尿道括約筋植込・置換術	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・精巣温存手術	・コーディネート体制充実加算
・精巣内精子採取術	・自己生体組織接着剤作成術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・同種クリオプレシピテート作製術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下仙骨膣固定術	・麻酔管理料（Ⅰ）
・腹腔鏡下仙骨膣固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・麻酔管理料（Ⅱ）
・腹腔鏡下腟式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・周術期薬剤管理加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術	・一回線量増加加算

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・強度変調放射線治療（IMRT）	・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
・画像誘導放射線治療（IGRT）	・歯科技工加算1及び2
・体外照射呼吸性移動対策加算	・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）
・定位放射線治療	・顎関節人工関節全置換術（歯科）
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法（歯科）
・画像誘導密封小線源治療加算	・歯周組織再生誘導手術
・保険医療機関間の連携による病理診断	・手術時歯根面レーザー応用加算
・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・デジタル病理画像による病理診断	・歯根端切除手術の注3
・病理診断管理加算2	・口腔粘膜血管腫凝固術
・悪性腫瘍病理組織標本加算	・レーザー機器加算
・歯科治療時医療管理料	・歯科麻酔管理料
・有床義歯咀嚼機能検査1のイ	・口腔病理診断管理加算2
・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・有床義歯咀嚼機能検査2のイ	・歯科矯正診断料
・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査	・顎口腔機能診断料（顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る。）の手術前後における歯科矯正に係るもの）
・精密触覚機能検査	・看護職員処遇改善評価料78
・睡眠時歯科筋電図検査	・外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
・歯科画像診断管理加算1	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
・歯科画像診断管理加算2	・入院ベースアップ評価料95
・歯科口腔リハビリテーション料2	・
・手術用顕微鏡加算	・
・口腔粘膜処置	・
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・
・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	・
・光学印象	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・経皮的乳がんラジオ波焼灼療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	117回	
剖検の状況	剖検症例数(例)	9例
	剖検率(%)	5.30%

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ

(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
潰瘍性大腸炎患者における直腸リンパ球の表面発現に基づいた治療効果予測法の確立	岩室　雅也	消化器内科	1,300,000	補	日本学術振興会
膵オルガノイドモデル構築による高精度膵癌診断と治療法の開発	堤　康一郎	消化器内科	1,300,000	補	日本学術振興会
リキッドバイオプシーとマルチモダリティ人工知能を用いた次世代内視鏡診療体系の確立	衣笠　秀明	消化器内科	1,560,000	補	日本学術振興会
免疫学的便潜血検査自宅測定による潰瘍性大腸炎患者のセルフマネジメントの構築	平岡　佐規子	炎症性腸疾患センター	910,000	補	日本学術振興会
超音波内視鏡診断支援プログラムの社会実装に向けた基盤整備	内田　大輔	新医療研究開発センター	910,000	補	日本学術振興会
膵癌における反復配列RNAの機能解析と治療選択最適化への応用	大塚　基之	学術研究院医歯薬学域(医)	4,160,000	補	日本学術振興会
小径かつ低悪性の膵神経内分泌に対する革新的な内視鏡的低侵襲治療の開発	松本　和幸	消化器内科	1,560,000	補	日本学術振興会

人工知能を用いたEUS-FNBにおけるがん遺伝子パネル検査への検体適正度評価装置の開発	藤井　佑樹	光学医療診療部	1,170,000	補	日本学術振興会
早期癌をターゲットとした唾液を用いた革新的スクリーニング法の開発	平井　亮佑	消化器内科	1,430,000	補	日本学術振興会
血中エクソソームmiRNAを標的にした慢性移植肺機能不全の新たな早期診断方法の開発	塩谷　俊雄	大学院医歯薬学総合研究科（医）	1,430,000	補	日本学術振興会
がん関連線維芽細胞のゲノム変異獲得によるがん進展機構の解明	鳥越　英次郎	大学院医歯薬学総合研究科（医）	2,340,000	補	日本学術振興会
歯科診療における患者の主体的な治療参加意欲を引き出すのためのデザイン研究	柳　文修	歯科総合診断室	1,170,000	補	日本学術振興会
CXCR4阻害剤投与がもたらす舌癌壊死のメカニズム－新たな抗腫瘍血管治療薬となるか	吉田 沙織	歯科総合診断室	910,000	補	日本学術振興会
放射線性う蝕から歯を守る～頭頸部がんサバイバーのQOL向上のための基礎研究～	松﨑　久美子	医療支援歯科治療部	1,820,000	補	日本学術振興会
ケモカイン抑制能を強化した新規間葉系幹細胞による慢性閉塞性肺疾患の細胞療法開発	宮原　信明	保健学科	910,000	補	日本学術振興会

ALK融合遺伝子陽性肺癌に対するアレクチニブの早期耐性機序の解明と根治戦略の開発	槇本　剛	呼吸器・アレルギー内科	910,000	補	日本学術振興会
同種造血細胞移植後閉塞性細気管支炎におけるマクロファージ標的治療の開発	藤井　伸治	輸血部	1,300,000	補	日本学術振興会
特発性肺線維症肺における空間的2型肺胞上皮シングルセルRNA-seq解析	肥後　寿夫	学術研究院医歯薬学域（医）	1,820,000	補	日本学術振興会
口腔内細菌叢に着目した同種造血幹細胞移植後移植片対宿主病の病態解明と治療応用	山本　晃	院内がん登録室	1,430,000	補	日本学術振興会
ミトコンドリアによる末梢CD4 CD8 double negative T細胞機能制御機構の解明	清家　圭介	血液・腫瘍内科	1,430,000	補	日本学術振興会
persister癌細胞と腫瘍微小環境の双方を標的とした革新的腫瘍免疫療法の開発	大橋　圭明	呼吸器・アレルギー内科	4,680,000	補	日本学術振興会
シングルセル・マルチオミクス解析がもたらすリンパ腫時空間的不均一性の解明	遠西　大輔	ゲノム医療総合推進センター	6,370,000	補	日本学術振興会
時空間シングルセル・マルチオミクス解析による移植後免疫再構築メカニズムの解明	前田　嘉信	血液・腫瘍内科	7,410,000	補	日本学術振興会

バイオレットライトによる老年期睡眠呼吸障害に対する新規治療法の創出	藤井　昌学	高齢者総合医療講座	2,730,000	補	日本学術振興会
中枢神経原発リンパ腫における形質芽細胞腫瘍サブピュレーションの新規同定法の開発	小林　宏紀	学術研究院医歯薬学域(医)	1,170,000	補	日本学術振興会
化学療法歴がある造血器腫瘍女性患者の性腺機能不全と妊娠・出産に関する検討	鴨井　千尋	輸血部	1,300,000	補	日本学術振興会
2型糖尿病患者CD8陽性T細胞の細胞老化と機能低下に対する機序の検討	野島　一郎	学術研究院医歯薬学域(医)	65,000	補	日本学術振興会
糖尿病性腎臓病におけるIL-18によるインフラマソーム活性化機構の解明と治療応用	宮本　聡	新医療研究開発センター	780,000	補	日本学術振興会
細胞内蛋白の代謝異常に着目した骨粗鬆症発症機序の解明と新規治療ターゲットの開発	松本　佳則	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,170,000	補	日本学術振興会
Txn1遺伝子ミスセンス変異による腎障害発症・進展機構の解明	竹内　英実	学術研究院医歯薬学域(医)	1,430,000	補	日本学術振興会
Vaspinによるミトコンドリア機能維持を介した抗老化と腎臓における意義	中司　敦子	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,820,000	補	日本学術振興会

RNA結合タンパクZFP36の中枢性性腺ホルモン分泌制御について	寺坂　友博	内分泌センター	1,560,000	補	日本学術振興会
樹状細胞におけるTankyraseがSLEの病態に果たす役割についての研究	勝山　隆行	腎臓・糖尿病・内分泌内科	2,340,000	補	日本学術振興会
大動脈瘤の発症・進展におけるIL-33の役割の検討	梅林　亮子	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,430,000	補	日本学術振興会
糖尿病性腎臓病における糖鎖異常と進展機構	和田　淳	学術研究院医歯薬学域(医)	5,200,000	補	日本学術振興会
活性化血小板と傷害ポドサイトに着目した慢性腎臓病進展機序の解明	田中　景子	学術研究院医歯薬学域(医)	1,820,000	補	日本学術振興会
IgA腎症におけるO型糖鎖修飾を介したプラスミノーゲン/プラスミン制御系の解明	大西　康博	学術研究院医歯薬学域(医)	1,820,000	補	日本学術振興会
腎臓線維化におけるSemaphorin3A経路の病態機序の解明と治療への応用	辻　憲二	学術研究院医歯薬学域(医)	1,690,000	補	日本学術振興会
MGL(CLEC10A, MGL2)の糖尿病、肥満への影響の検討	菅原　亮佑	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,820,000	補	日本学術振興会

医療ビッグデータと疾患レジストリを用いたSLE患者における歯周病と心血管疾患の関連	片山　祐	腎臓・糖尿病・内分泌内科	1,950,000	補	日本学術振興会
てんかんと認知症疾患の統合的研究	竹之下　慎太郎	精神科神経科	390,000	補	日本学術振興会
神経自己抗体が精神疾患の発症、再発に与える影響	髙木　学	学術研究院医歯薬学域(医)	1,300,000	補	日本学術振興会
行政データを利活用して精神障害者のがん検診受診格差を地域単位で明らかにする研究	藤原　雅樹	精神科神経科	650,000	補	日本学術振興会
脳腸相関に着目した摂食障害の病態機序解明と新規治療薬の探索	酒本　真次	精神科神経科	1,820,000	補	日本学術振興会
小児を対象にした新型コロナウイルス感染症の病態解明と後遺症抑止を目指した研究	塚原　宏一	学術研究院医歯薬学域(医)	260,000	補	日本学術振興会
IL-1受容体・トール様受容体シグナルを制御するインフルエンザ脳症の新規治療探索	津下　充	学術研究院医歯薬学域(医)	390,000	補	日本学術振興会
マイクロRNA発現調節による川崎病の抗炎症治療戦略	平井　健太	小児科	1,560,000	補	日本学術振興会

ヒエラルキーダイナミクスによる小児急性骨髄性白血病の正確な予後予測	石田　悠志	小児科	650,000	補	日本学術振興会
予後不良18F-FDG-PET高値膵癌を標的としたホウ素中性子捕捉療法	金平　典之	肝・胆・膵外科	260,000	補	日本学術振興会
膵がん微小環境を標的としたホウ素中性子捕捉療法の開発	寺石　文則	低侵襲治療センター	1,560,000	補	日本学術振興会
消化器癌転移形成過程への好中球細胞外トラップの関与とその制御法の開発	香川　俊輔	腫瘍センター	780,000	補	日本学術振興会
癌細胞から免疫細胞への機能抑制性RNA編集シグナルを遮断する癌免疫再生療法の開発	重安　邦俊	消化管外科	1,690,000	補	日本学術振興会
術前ウイルス療法による長期抗腫瘍免疫賦活を介した術後免疫療法効果増強の検討	橋本　将志	消化管外科	1,430,000	補	日本学術振興会
大腸癌肝転移における肝外遠隔転移の予測とPrecision medicine への応用	藤　智和	臓器移植医療センター	1,430,000	補	日本学術振興会
治療用幹細胞を用いた抗癌アデノウイルス免疫療法の新規デリバリーシステムの開発	金谷　信彦	低侵襲治療センター	1,430,000	補	日本学術振興会

膵臓がんに対するMHC誘導剤と樹状細胞を併用した複合免疫療法の開発	山田　元彦	肝・胆・膵外科	1,430,000	補	日本学術振興会
リンチ症候群におけるRNA編集を用いた1.5次予防の確立とプレシジョン医療の創造	高橋　利明	消化管外科	1,300,000	補	日本学術振興会
前感作免疫による次世代型ウイルス製剤の腫瘍溶解性の強化に関する免疫分子機構の研究	藤原　俊義	学術研究院医歯薬学域（医）	2,470,000	補	日本学術振興会
ICI耐性におけるCAF標的治療の腫瘍免疫リモデリング効果の検証	野間　和広	消化管外科	5,590,000	補	日本学術振興会
腸内細菌と次世代がん治療用ウイルスのクロストークによる新たな大腸がん治療開発研究	黒田　新士	学術研究院医歯薬学域（医）	9,230,000	補	日本学術振興会
クローン病における細胞老化関連分泌形質SASPのRNA編集促進機構の解明と治療への応用	近藤　喜太	消化管外科	1,170,000	補	日本学術振興会
RNA編集をターゲットとしたmRNAネオアンチゲンワクチンによる膵癌免疫療法の開発	安井　和也	臓器移植医療センター	1,170,000	補	日本学術振興会
腫瘍融解アデノウイルスのエクソソームを介した前転移ニッチ形成の抑制に関する検討	垣内　慶彦	低侵襲治療センター	910,000	補	日本学術振興会

腹膜播種に対するp53搭載腫瘍融解ウイルスの腹腔内微小環境リモデリング効果の検証	菊地　覚次	消化管外科	1,430,000	補	日本学術振興会
消化器がん腹膜播種の腹腔内がん微小環境に基づいた新規治療用間葉系幹細胞の開発	金谷　信彦	低侵襲治療センター	1,430,000	補	日本学術振興会
食道がんオルガノイドを用いたヒストン修飾タンパクEP300による転移メカニズム解析	賀島　肇	卒後臨床研修センター（医）	1,820,000	補	日本学術振興会
RNA編集誘導とmRNAネオアンチゲンワクチンを組み合わせた直腸癌免疫療法の開発	松三　雄騎	低侵襲治療センター	1,170,000	補	日本学術振興会
膵管内乳頭粘液性腫瘍におけるRNA編集に基づく発癌機序解明とバイオマーカーの探求	萱野　真史	肝・胆・膵外科	1,430,000	補	日本学術振興会
大腸癌におけるスーパーエンハンサーRNA編集促進機構の解明と治療応用	新田　薫	消化管外科	1,430,000	補	日本学術振興会
BRAF変異型MSS大腸癌の治療抵抗性～MAPK経路とTumor-Associated Macrophageとの関連～	谷口　厚樹	肝・胆・膵外科	1,300,000	補	日本学術振興会
p53 fragment peptide ライブラリーによる新規抗腫瘍ペプチドの探索	猿渡　和也	消化管外科	1,430,000	補	日本学術振興会

潰瘍性大腸炎における細胞老化関連分泌形質SASPのRNA編集促進機構の解明と治療応用	森分　和也	消化管外科	1,430,000	補	日本学術振興会
自己腫瘍検体と腫瘍融解ウイルスを用いたオーダーメイド樹状細胞ワクチンの開発	松本　眞琴	消化管外科	1,430,000	補	日本学術振興会
心停止ドナーからの肺移植後虚血再灌流障害のトランスレーショナルリサーチと治療応用	岡﨑　幹生	学術研究院医歯薬学域(医)	3,510,000	補	日本学術振興会
耐性化機序に基づいたHER2陽性乳癌に対する治療戦略の開発	枝園　忠彦	乳腺・内分泌外科	780,000	補	日本学術振興会
抗炎症タンパク質HRGに着眼した肺虚血再灌流障害に対する新規治療法の開発	杉本　誠一郎	臓器移植医療センター	1,300,000	補	日本学術振興会
肺がんの胸膜播種進展に関与するがん微小環境の病態解明	諏澤　憲	呼吸器外科	1,040,000	補	日本学術振興会
Uncontrolled心停止ドナー肺の活用を可能とする新肺評価法の開発	田中　真	臓器移植医療センター	520,000	補	日本学術振興会
内在性レトロウイルスが抗腫瘍免疫応答に関与するメカニズムの解明	豊岡　伸一	学術研究院医歯薬学域(医)	1,430,000	補	日本学術振興会

線溶阻害因子が制御するがん微小環境ネットワークの解明と治療への応用	伊達　慶一	大学院医歯薬学総合研究科(医)	1,170,000	補	日本学術振興会
ジャポニカアレイを応用した慢性移植肺機能不全に関連する一塩基多型の探索	富岡　泰章	大学院医歯薬学総合研究科(医)	1,560,000	補	日本学術振興会
空間マルチオミックスを用いた慢性肺GVHDとの比較による慢性移植肺機能不全の病態解明	松原　慧	大学院医歯薬学総合研究科(医)	1,820,000	補	日本学術振興会
Formyl Peptide receptorに着眼した肺移植医療における新規戦略の確立	橋本　好平	呼吸器外科	2,340,000	補	日本学術振興会
メタゲノム解析によるCOPD合併肺がんの臓器横断的ディスバイオーシスの解明	枝園　和彦	呼吸器外科	1,430,000	補	日本学術振興会
マトリセルラータンパク質阻害によるがん微小環境の破壊と抗腫瘍効果の検討	豊岡　伸一	学術研究院医歯薬学域(医)	4,290,000	補	日本学術振興会
難治性肺がんの発生と進行を寛容する微小環境の同定と新規治療法開発	枝園　和彦	呼吸器外科	5,590,000	補	日本学術振興会
ナノポアシーケンサーを用いた移植肺障害の革新的な迅速診断法の開発と病態解明	杉本　誠一郎	臓器移植医療センター	4,940,000	補	日本学術振興会

時空間的解析による心停止ドナーからの肺移植の包括的病態解明と新規治療法の開発	岡﨑　幹生	学術研究院医歯薬学域(医)	4,160,000	補	日本学術振興会
超長時間移植用肺保存を可能とする動的低温低還流肺保存法の新規開発	三好　健太郎	呼吸器外科	1,690,000	補	日本学術振興会
転写制御因子を標的とした肺移植後、拒絶反応抑制治療薬の新規開発と臨床応用	柳光　剛志	臓器移植医療センター	1,820,000	補	日本学術振興会
樹状細胞の活性化を介した抗腫瘍免疫応答の増強による新規肺腺癌治療戦略の基礎的検討	土生　智大	呼吸器外科	2,470,000	補	日本学術振興会
心臓死ドナー肺の活用を可能とする新たな移植前臓器評価法の開発	梅田　将志	呼吸器外科	2,340,000	補	日本学術振興会
リンチ症候群でのRNA編集酵素ADAR1のスプライシング異常に着目した発癌予防	山本　英喜	学術研究院医歯薬学域(医)	1,560,000	補	日本学術振興会
移植肺空間的オミックス解析より見出した血管内皮特異的タンパク質機能解析と治療応用	林　龍也	呼吸器外科	910,000	補	日本学術振興会
イモキミド乾癬モデルにおける腱・靭帯付着部炎の病態評価とメカニカルストレスの関係	齋藤　太一	整形外科	390,000	補	日本学術振興会

AIを用いた関節リウマチの自動病理診断	那須　義久	整形外科	1,430,000	補	日本学術振興会
骨肉腫肺転移に対する新規分子標的治療の開発	中田　英二	学術研究院医歯薬学域(医)	260,000	補	日本学術振興会
悪性骨軟部腫瘍における腫瘍微小環境を標的とした複合免疫療法の確立	吉田　晶	大学院医歯薬学総合研究科(医)	1,040,000	補	日本学術振興会
軟骨欠損に対する新規再生医療の開発	横山　裕介	整形外科	330,000	補	日本学術振興会
軟骨細胞によるヒアルロン酸分解酵素HYBIDの発現調節機構の解明とmicroRNAによる制御	西田　圭一郎	運動器疼痛センター	1,170,000	補	日本学術振興会
メカニカルストレス応答調整による新たな腱修復法の開発	中道　亮	整形外科	1,560,000	補	日本学術振興会
脂質代謝による翻訳制御を標的とした横紋筋肉腫の革新的治療法の開発	板野　拓人	整形外科	1,170,000	補	日本学術振興会
内在性カテコラミン合成経路を標的とした悪性末梢神経鞘腫瘍の新規治療方法の確立	片山　晴喜	整形外科	1,430,000	補	日本学術振興会

有限要素法を用いた骨盤輪骨折に対する包括的な固定法評価	小田　孔明	学術研究院医歯薬学域(医)	1,430,000	補	日本学術振興会
肉腫における腫瘍内免疫環境の細胞間ネットワーク機構解明を基盤とした治療法の開発	尾﨑　敏文	学術研究院医歯薬学域(医)	2,600,000	補	日本学術振興会
肉腫における体液分子診断技術の統合的開発と循環分子の新規治療標的としての検証	尾﨑　敏文	学術研究院医歯薬学域(医)	3,380,000	補	日本学術振興会
治療抵抗性肉腫における免疫微小環境の空間的解明と新規治療法への展開	藤原　智洋	整形外科	5,590,000	補	日本学術振興会
難病における病的バリアントに特有な疾患進行メカニズムの解明	濱田　全紀	総合リハビリテーション部	1,950,000	補	日本学術振興会
椎間板線維輪における機械応答シグナルの役割の解明と治療応用の検討	志渡澤　央和	整形外科	2,210,000	補	日本学術振興会
ヒトiPS細胞とバイオマテリアルを用いたChondro-pasteの開発	井上　智博	整形外科	1,820,000	補	日本学術振興会
巨大骨欠損に対する新規治療の開発	横山　裕介	整形外科	1,950,000	補	日本学術振興会

原発性脊椎腫瘍に対する腫瘍融解ウイルス療法の確立	鷹取　亮	整形外科	1,560,000	補	日本学術振興会
軟骨再生による変形性足関節症に対する新規治療の開発	雜賀　建多	学術研究院医歯薬学域(医)	1,950,000	補	日本学術振興会
難治性肉腫における融合遺伝子の機能解明とタンパク質立体構造に基づく治療薬開発	黒住　尭巨	整形外科	1,820,000	補	日本学術振興会
モデルマウスを用いたネザートン症候群の病態解明	森実　真	学術研究院医歯薬学域(医)	1,300,000	補	日本学術振興会
腸内細菌叢の改善による反復性膀胱炎の新たな予防法と治療法の開発	石井　亜矢乃	総合患者支援センター	1,300,000	補	日本学術振興会
制限増殖型アデノウイルスを用いた超低侵襲内視鏡治療の開発	枝村　康平	泌尿器科	1,040,000	補	日本学術振興会
腫瘍局所代謝改変タンパク質を用いたエフェクター細胞疲弊解除機構の解明	定平　卓也	泌尿器科	1,040,000	補	日本学術振興会
ウェアラブルデバイスと体組成計を用いた、女性骨盤臓器脱患者のフレイル合併頻度調査	小林　知子	泌尿器科	780,000	補	日本学術振興会

膣内細菌叢から紐解く反復性膀胱炎の病態解明	岩田　健宏	泌尿器科	1,430,000	補	日本学術振興会
上部尿路上皮がんにおける、腫瘍内不均一性の解明と低リスクがん予測モデルの確立	片山　聡	泌尿器科	1,430,000	補	日本学術振興会
難治性網膜疾患の遺伝子治療を目的としたボルナウイルスベクターの開発	塩出　雄亮	眼科	1,430,000	補	日本学術振興会
微小重力環境を用いた加齢黄斑変性の新規治療薬開発	細川　海音	眼科	1,560,000	補	日本学術振興会
緑内障の手術成績に関与する新規バイオマーカーの開発と個別化医療の確立	藤原　美幸	眼科	1,170,000	補	日本学術振興会
網膜硝子体界面疾患における膜形成の病態の多面的解析	森實　祐基	学術研究院医歯薬学域(医)	2,080,000	補	日本学術振興会
分層黄斑円孔および関連疾患の病態解明	的場　亮	学術研究院医歯薬学域(医)	1,690,000	補	日本学術振興会
HPV関連中咽頭癌の集団ベーススクリーニング法の開発	安藤　瑞生	学術研究院医歯薬学域(医)	1,560,000	補	日本学術振興会

頭頸部がんに対するがん光免疫療法における治療抵抗性因子の探索	牧野　琢丸	耳鼻咽喉・頭頸部外科	1,170,000	補	日本学術振興会
センサー付アイウェアJINS MEMEを用いた聴覚障害者のListening Effortの計測	片岡　祐子	聴覚支援センター	1,430,000	補	日本学術振興会
音韻障害を合併した人工内耳装用児の早期診断および介入のための戦略	菅谷　明子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	2,080,000	補	日本学術振興会
ナノミセル-mRNA医薬による急性感音難聴の革新的遺伝子治療モデル	大道　亮太郎	学術研究院医歯薬学域(医)	1,560,000	補	日本学術振興会
超高齢社会における低侵襲治療の実現に向けた岡山発の革新的医療用ロボット:基盤技術の発展	松井　裕輔	学術研究院医歯薬学域(医)	1,982,220	委	特別電源所在県科学技術振興事業補助事業
肺癌に対するマイクロ波焼灼術の安全性と有効性の検討ー単施設単群前向きオープン試験	冨田　晃司	放射線科	520,000	補	日本学術振興会
既承認器具の課題を克服した子宮頸がん組織内照射テンプレートの新規開発	吉尾　浩太郎	学術研究院医歯薬学域(医)	650,000	補	日本学術振興会
新規光ファイバ焼灼医療機器の開発～経皮的針生検の合併症低減を目指して～	馬越　紀行	放射線科	780,000	補	日本学術振興会

臓器の呼吸性移動を可視化する複合現実の開発：画像下低侵襲がん治療への実装に向けて	松井　裕輔	学術研究院医歯薬学域(医)	520,000	補	日本学術振興会
ロボットを用いた画像ガイド下骨穿刺の実現：自動穿刺アルゴリズムの構築	平木　隆夫	学術研究院医歯薬学域(医)	10,140,000	補	日本学術振興会
子宮体癌におけるRNA編集解明と新規治療戦略の探索	中村　圭一郎	学術研究院医歯薬学域(医)	520,000	補	日本学術振興会
リキッドバイオプシーを用いた革命的な卵巣がん診断・治療法の開発	依田　尚之	産科婦人科	1,040,000	補	日本学術振興会
胎盤のプロレニン受容体を標的とした妊娠高血圧腎症の新たな治療戦略と病態の解明	光井　崇	産科婦人科	1,170,000	補	日本学術振興会
高齢女性の女性ホルモン投与下での筋負荷運動がもたらす下肢筋力の相乗効果	牧　尉太	産科婦人科	520,000	補	日本学術振興会
子宮頸癌サバイバーのための放射線照射に起因する脆弱性骨盤骨折予防プログラムの開発	長尾　昌二	学術研究院医歯薬学域(医)	650,000	補	日本学術振興会
子宮内低栄養環境の次世代への影響ー代謝エピゲノム解析とバイオマーカーの開発	増山　寿	学術研究院医歯薬学域(医)	1,560,000	補	日本学術振興会

RNA編集における子宮内膜症の新規診断・治療の探索	樫野　千明	産科婦人科	1,820,000	補	日本学術振興会
糖尿病妊婦の母児合併症を抑制するためのテーラーメイド栄養管理の開発	衛藤　英理子	産科婦人科	910,000	補	日本学術振興会
RNA編集に着目した子宮体癌の新規バイオマーカーの開発	原賀　順子	産科婦人科	1,560,000	補	日本学術振興会
化学療法誘発性末梢神経障害モデルにおける筋膜の役割−新たな治療ターゲットの開発	松岡　義和	集中治療部	1,430,000	補	日本学術振興会
中心静脈圧の呼吸性変動は呼吸負荷の指標と成り得るか	岡原　修司	集中治療部	1,300,000	補	日本学術振興会
慢性外傷性脳症モデル確立と経動脈的幹細胞移植:タウ蛋白と遺伝子発現の変化に迫る	安原　隆雄	学術研究院医歯薬学域(医)	1,300,000	補	日本学術振興会
パーキンソン病の非運動症状に対する迷走神経刺激療法の可能性を探る	佐々木　達也	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会
神経膠腫のpassenger deletionに伴う構造的脆弱性を標的とした治療	大谷　理浩	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会

うつ病モデルラットに対する脳・脊髄電気刺激療法	佐々田　晋	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会
小児脳幹神経膠腫に対する血液脳関門の障壁を克服する治療法の開発	石田　穣治	脳神経外科	780,000	補	日本学術振興会
DLCコーティングを用いた新規脳血管内治療用カテーテルの開発	平松　匡文	脳神経外科	2,080,000	補	日本学術振興会
抗HMGB1抗体で高齢者クモ膜下出血後の脳血管攣縮治療の未来を拓く	春間　純	学術研究院医歯薬学域(医)	1,820,000	補	日本学術振興会
異常RNA修飾の高感度定量による神経膠腫制御の新規標的検索 研究課題	田中　將太	学術研究院医歯薬学域(医)	1,690,000	補	日本学術振興会
脳腫瘍の新規術中蛍光診断システムの構築と治療への応用	田中　將太	学術研究院医歯薬学域(医)	6,370,000	補	日本学術振興会
空間発現解析による脳腫瘍の形態診断と遺伝子診断の統合による悪性化マーカーの検索	駿河　和城	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会
腸脳相関によるサイトカインを中心とした膠芽腫Cancer Stem Cell Theoryの解明	平野　秀一郎	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会

HDAC阻害薬によるtumor ecosystemの打破と、新規併用療法への応用	藤井　謙太郎	学術研究院医歯薬学域(医)	1,560,000	補	日本学術振興会
一細胞時空間解析を用いた膠芽腫微小環境の再構築機序の解明と新規免疫療法の開発	大谷理浩	学術研究院医歯薬学域(医)	15,150,000	委	AMED
マルチオミクス解析を用いた膠芽腫微小環境の解明と、新規免疫療法の開発	大谷理浩	学術研究院医歯薬学域(医)	2,000,000	補	公益財団法人 武田科学振興財団
Radiogenomics解析による脳腫瘍代謝産物の可視化と、治療応用	大谷理浩	学術研究院医歯薬学域(医)	1,000,000	補	公益財団法人 カシオ科学振興財団
腫瘍代謝産物を標的としたradiogenomics解析による脳腫瘍分子学的異常の検出と臨床応用	大谷理浩	学術研究院医歯薬学域(医)	1,000,000	補	公益財団法人 西川医療振興財団
光遺伝学を用いたParkinson 病非運動症状に対する新たな脳深部刺激療法の開発	金　恭平	脳神経外科	500,000	補	公益財団法人 山陽放送学術文化・スポーツ振興財団
定量化した神経学的異常所見を用いた神経学的診察教育の試み	金　恭平	脳神経外科	300,000	補	公益財団法人 川崎医学・医療福祉学振興会
光遺伝学と生体内カルシウムイメージングを用いたParkinson 病非運動症状に有効な新たな脳深部刺激療法の開発	金　恭平	脳神経外科	2,000,000	補	公益財団法人 武田科学振興財団

脳卒中後リハビリテーションにおける意欲の影響:そのメカニズムと効果の解明	金　恭平	脳神経外科	500,000	補	特定医療法人 万成病院 小林孫兵衛記念医学振興財団
Parkinson 病非運動症状の病態生理解明と新規治療開発	金　恭平	脳神経外科	2,000,000	補	公益財団法人 上原記念生命科学財団
Parkinson 病非運動症状の病態生理解明と新規治療開発	金　恭平	脳神経外科	1,000,000	補	公益財団法人 UBE学術振興財団
カイニン酸てんかんモデルラットにおける上位頚髄電気刺激療法(spinal cord stimulation:SCS)の急性期発作抑制効果とメカニズムの解明ー海馬における炎症カスケードに着目してー	佐々木達也	脳神経外科	1,600,000	補	公益財団法人 てんかん治療研究振興財団
初発IDH野生型低悪性度神経膠腫に対するNovoTTF-100Aシステムの多施設共同第II相試験（医師主導治験）	田中將太	学術研究院医歯薬学域(医)	31,380,000	委	AMED
脳腫瘍に対する局所投与型新規蛍光プローブの実用化に向けた非臨床試験および医師主導治験	田中將太	学術研究院医歯薬学域(医)	15,360,000	委	AMED
官能基を付加した親水性DLCコーティング脳血管カテーテルの開発	平松匡文	学術研究院医歯薬学域(医)	1,452,208	委	岡山県特別電源所在県科学技術振興事業
脳血管内治療における「テーラーメード治療」実現に向けた中空型脳動脈瘤モデル開発と脳動脈瘤塞栓術術前シミュレーションの確立	春間　純	学術研究院医歯薬学域(医)	600,000	補	公益財団法人 両備檉園記念財団

in vivo ダイレクトリプログラミング法を用いた新規認知症治療法の総合的開発	山下　徹	学術研究院医歯薬学域(医)	1,300,000	補	日本学術振興会
ALSとFTLDにおいてFUS相分離異常を来す因子の解明	森原　隆太	脳神経内科	1,430,000	補	日本学術振興会
パーシャル・リプログラミングによるALSマウス治療	平　佑貴	脳神経内科	1,430,000	補	日本学術振興会
最先端ゲノム解析技術を用いた神経筋変性疾患の病態解明・治療法開発研究	石浦　浩之	学術研究院医歯薬学域(医)	4,550,000	補	日本学術振興会
海馬neurogenic nicheの環境整備とダイレクトリプログラミングによる認知機能再生	福井　裕介	脳神経内科	1,300,000	補	日本学術振興会
心筋炎におけるIL-6の治療標的としての可能性の検討	網岡　尚史	循環器内科	715,000	補	日本学術振興会
二次心臓領域前駆細胞移植による心臓再生	斎藤　幸弘	循環器内科	1,560,000	補	日本学術振興会
線維芽細胞を標的とした心不全治療方法の開発	湯浅　慎介	学術研究院医歯薬学域(医)	6,500,000	補	日本学術振興会

先天性心疾患術後の二次性三尖弁閉鎖不全症の手術適応決定のためのエビデンス創出	杜　徳尚	循環器内科	2,990,000	補	日本学術振興会
心電図デジタルデータを用いたAI技術によるブルガダ症候群患者の突然死リスク層別化	中川　晃志	IVRセンター	2,470,000	補	日本学術振興会
AGTによる脂肪肝形成とそれに伴う動脈硬化への影響の検討	網岡　尚史	循環器内科	1,950,000	補	日本学術振興会
新たな肺高血圧症「平均肺動脈圧 21-24 mmHg」は従来の肺高血圧症の前段階なのか？	江尻　健太郎	循環器内科	910,000	補	日本学術振興会
心虚血・再灌流時のセロトニン動態への薬理学的介入による心筋細胞傷害軽減	黒子　洋介	心臓血管外科	1,430,000	補	日本学術振興会
チアノーゼ性先天性心疾患における腸内細菌叢変化と心血管イベント発症の関連性の検討	井上　善紀	心臓血管外科	330,000	補	日本学術振興会
アルブミンプレコーティングのDLCコーティング人工血管への影響解析	大澤　晋	医療安全管理部	1,430,000	補	日本学術振興会
22q11.2欠失症候群との網羅的な比較検討によるファロー四徴症での遺伝子異常の解明	鈴木　浩之	心臓血管外科	2,210,000	補	日本学術振興会

難治性血管炎の単一細胞解析による不均一性の解明とRNA誘導型組織修復法の開発	王　英正	新医療研究開発センター	5,070,000	補	日本学術振興会
DLCの対黄色ブドウ球菌抗菌性と樹脂基材のバルク構造の関係の検討	成宮　悠仁	心臓血管外科	1,170,000	補	日本学術振興会
完全大血管転位症の責任遺伝子の同定	加藤　源太郎	心臓血管外科	1,560,000	補	日本学術振興会
フォンタン循環不全に対する最適な左心補助循環の検討	小谷　恭弘	学術研究院医歯薬学域(医)	2,860,000	補	日本学術振興会
DLCを用いた蛋白吸着ゼロを目指す表面コーティング材料の開発	藤井　泰宏	新医療研究開発センター	2,470,000	補	日本学術振興会
臨床応用を目指したマージナルドナー及び心停止ドナーからの心臓移植に関する研究	小谷　恭弘	学術研究院医歯薬学域(医)	7,800,000	委	AMED
ファロー四徴症の右室の状態を反映した血中バイオマーカーの開発	小谷　恭弘	学術研究院医歯薬学域(医)	1,650,000	委	AMED
emulsification(乳化)技術を用いた解剖体用脈管造影剤の開発	松本　洋	学術研究院医歯薬学域(医)	780,000	補	日本学術振興会

スキャフォールドフリー培養軟骨を用いたヒト由来細胞外マトリックス製剤の開発	太田　智之	形成外科	1,560,000	補	日本学術振興会
短期作動型in vivo遺伝子治療法を目指した、皮膚潰瘍部の遺伝子発現プロファイリング	加藤　基	形成外科	1,430,000	補	日本学術振興会
性別違和に対する身体的治療効果の可視化	難波　祐三郎	ジェンダーセンター	650,000	補	日本学術振興会
培養軟骨組織体における内軟骨性骨化抑制へのアプローチとメカニズムの解明	北口　陽平	形成外科	1,430,000	補	日本学術振興会
内視鏡的リンパ管吻合術を目指した、リンパ管内視鏡および深部吻合の基盤作成	加藤　基	形成外科	1,950,000	補	日本学術振興会
顔面神経のtopographyを再建する新しい手術術式の開発	高成　啓介	学術研究院医歯薬学域(医)	1,330,000	補	日本学術振興会
膵腺房導管異形成が誘発する膵癌遠隔転移のメカニズム解明	赤穂　宗一郎	学術研究院医歯薬学域(医)	1,560,000	補	日本学術振興会
HPO系とHPA系のクロスポイントに着目したBMPの生殖内分泌作用の解明と応用	大塚　文男	学術研究院医歯薬学域(医)	1,430,000	補	日本学術振興会

ARフードモデルを用いた栄養指導による2型糖尿病患者の心理的負担軽減に関する検討	本多　寛之	総合内科・総合診療科	2,730,000	補	日本学術振興会
心停止後症候群に対する33℃と35℃の目標温度管理の神経学的予後に関する比較	内藤　宏道	学術研究院医歯薬学域(医)	650,000	補	日本学術振興会
新規肉腫モデルを用いた肉腫発生メカニズムの解明と治療標的分子同定の試み	上原　健敬	学術研究院医歯薬学域(医)	1,560,000	補	日本学術振興会
ドクターヘリの費用対効果に関する研究	久村　正樹	救命救急科	650,000	補	日本学術振興会
アセトアミノフェン肝障害モデルに対するCORM経口投与による障害抑制効果の検討	小原　隆史	学術研究院医歯薬学域(医)	1,950,000	補	日本学術振興会
ICUにおける人工呼吸器管理後の嚥下障害を改善するためのケアバンドル作成	本郷　貴識	救命救急科	1,170,000	補	日本学術振興会
敗血症における腸管不全に対する新規経口治療薬CORM-401の効果の検証	湯本　哲也	学術研究院医歯薬学域(医)	1,300,000	補	日本学術振興会
腹腔鏡手術における術後腸管に対する一酸化炭素ガスの有用性	上田　浩平	学術研究院医歯薬学域(医)	2,210,000	補	日本学術振興会

看護ケアの標準化に向けた喀痰性状変化の可視化による新規評価スケールの開発	平山　隆浩	学術研究院医歯薬学域(医)	2,080,000	補	日本学術振興会
BRCA病的バリアント保持者女性における卵巣癌危険因子の層別化に向けた多施設共同研究	平沢　晃	学術研究院医歯薬学域(医)	2,730,000	補	日本学術振興会
患者・市民にとってのPPI(Patient and Public Involvement)の有用性の検討	深野　智華	学術研究院医歯薬学域(医)	650,000	補	日本学術振興会
口唇・口腔癌への高線量率密封小線源による治療応用:治癒率向上を目指す新たな展開	青山　英樹	医療技術部(放射線部門)	1,040,000	補	日本学術振興会
肺移植後慢性拒絶反応の診断における肺血流SPECT画像の定量化と標準化の確立	中嶋　真大	医療技術部(放射線部門)	3,510,000	補	日本学術振興会
X線減弱情報の定量解析が可能な光子計数型CT装置の歯科法医学的利用に向けた研究	淺原　孝	医療技術部(放射線部門)	2,080,000	補	日本学術振興会
オミクスデータと疾患モデルの統合解析で紐解くがん免疫療法による肺腸連関炎症機構	田中　雄太	薬剤部	1,430,000	補	日本学術振興会
肺腸連関から紐解くがん免疫療法による炎症病態の包括的解明	田中　雄太	薬剤部	1,300,000	補	日本学術振興会

がん免疫療法誘発心筋炎のバイオマーカーの同定と発症・重症化決定モデルへの展開	濱野　裕章	薬剤部	1,430,000	補	日本学術振興会
脳由来神経栄養因子を介したケモブレインの発症機序解明と新たな治療展開	岩田　直大	薬剤部	1,820,000	補	日本学術振興会
リアルワールドデータとゲノミクスの統合解析を通じた免疫療法誘発心筋炎の発症予測	座間味　義人	薬剤部	2,470,000	補	日本学術振興会
膵がんメチオームマーカーとしてのNNMT代謝物の有効性	千々松　良太	ゲノム医療総合推進センター	1,430,000	補	日本学術振興会
空間マルチオミクス解析による腫瘍浸潤B細胞 TLSの機能解明と腫瘍免疫療法への展開	冨田　秀太	ゲノム医療総合推進センター	4,550,000	補	日本学術振興会
臨床試験/治験に参加する患者の就労支援のありかたに関する研究	難波　志穂子	新医療研究開発センター	1,300,000	補	日本学術振興会
歯科診療行為のVR動画閲覧は、臨床教育の現場における共感教育の手法を変革できるか	白井　肇	歯科（総合歯科部門）	1,430,000	補	日本学術振興会
制御性T細胞の変化が関わるシェーグレン症候群特異的な新規非翻訳RNAの探索と解析	池田　淳史	歯科（歯周科部門）	1,300,000	補	日本学術振興会

HMGB1が破骨細胞の分化制御を介して歯周炎の進行に及ぼす免疫学的影響の解明	平井　杏奈	歯科（歯周科部門）	330,000	補	日本学術振興会
永久歯の感染性歯髄炎への抗炎症物質RvD2応用によるVital Pulp Therapy有効性の検討	信田　有希	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,560,000	補	日本学術振興会
低栄養状態が歯周炎進行に及ぼす影響の検討	平井　杏奈	歯科（歯周科部門）	1,430,000	補	日本学術振興会
カーボンナノシートを応用した口腔バイオフィルム形成抑制剤の効果持続性向上への挑戦	大久保　圭祐	歯科（歯周科部門）	1,430,000	補	日本学術振興会
細胞外小胞の口腔トロピズムを基軸とする侵襲性歯周炎の病態解明と診断への応用展開	山本　直史	卒後臨床研修センター（歯）	3,770,000	補	日本学術振興会
歯周感染・炎症が導く口腔ー子宮連関による新規不妊メカニズムの解明	大森　一弘	学術研究院医歯薬学域（歯）	4,290,000	補	日本学術振興会
がん化学療法に伴う口腔粘膜炎発症患者に対する新規口腔粘膜保護法の有効性および安全性を検討する臨床試験の実施	大森　一弘	学術研究院医歯薬学域（歯）	16,714,000	委	AMED
歯周病による腸内の鉄代謝異常が大腸癌の進行に与える影響の解明	平井　公人	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,170,000	補	日本学術振興会

新規バイオフィルム形成抑制剤の開発に向けた炭素ナノ材料誘導体作製プロトコルの確立	大久保　圭祐	歯科（歯周科部門）	2,340,000	補	日本学術振興会
口腔疾患（歯周病）と子宮の連関に着目した新規不妊標的因子の探索	大森　一弘	学術研究院医歯薬学域（歯）	2,860,000	補	日本学術振興会
時空間的トランスクリプトーム解析・iPS干渉法を応用した歯の再生技術の開発	窪木　拓男	学術研究院医歯薬学域（歯）	6,500,000	補	日本学術振興会
高齢者の低栄養における腸内細菌叢の役割解明と新規シンバイオティクス療法の開発	小山　絵理	歯科（口腔インプラント科部門）	1,300,000	補	日本学術振興会
IoTセンサーを利用した高齢者の口腔関連日常生活動作の測定と要介護後期介入転換	藤原　彩	歯科（口腔インプラント科部門）	1,300,000	補	日本学術振興会
時空間的トランスクリプトーム解析を応用した歯肉角化制御メカニズムの解明	縄稚　久美子	歯科（口腔インプラント科部門）	1,170,000	補	日本学術振興会
炎症性シグナルによるMSCの免疫疲弊メカニズム解明と組織破壊抑制療法の開発	田頭　龍二	歯科（口腔インプラント科部門）	1,560,000	補	日本学術振興会
フレイル発症における腸内細菌叢の役割解明と積極的腸管保護療法の開発	大森　江	歯科（口腔インプラント科部門）	1,430,000	補	日本学術振興会

MSC/2型Mφ1細胞間連携による炎症・再生連関促進の分子メカニズム解明	秋山　謙太郎	歯科（口腔インプラント科部門）	2,210,000	補	日本学術振興会
新規センシング技術と機械学習による歯への機械的負荷を定量化する評価システムの構築	水口　一	歯科（口腔インプラント科部門）	1,170,000	補	日本学術振興会
MR画像による長期予後調査より関節円板後部結合組織の偽円板化と予後との関連を探る	三木　春奈	学術研究院医歯薬学域（歯）	2,340,000	補	日本学術振興会
時空間的トランスクリプトーム解析を応用したオッセオインテグレーションの解明	石橋　啓	歯科（口腔インプラント科部門）	1,300,000	補	日本学術振興会
高齢者の食事時の誤嚥や窒息予防を実現するAI摂食介護モニタリングシステムの開発	中川　晋輔	歯科（口腔インプラント科部門）	2,340,000	補	日本学術振興会
1細胞解析で解き明かすMSCsの免疫調節メカニズムとオートファジー	秋山　謙太郎	歯科（口腔インプラント科部門）	7,540,000	補	日本学術振興会
エピゲノムに着目した変形性関節症関連因子WISP1の発現制御機構の解明	前田　あずさ	学術研究院医歯薬学域（歯）	2,210,000	補	日本学術振興会
rhBMP-2誘導コンタクトオステオジェネシスによる難治性インプラント周囲炎治療	田仲　由希恵	歯科（口腔インプラント科部門）	1,950,000	補	日本学術振興会

歯の喪失と消化器疾患発症・医療費との関連の検証:レセプトビッグデータを用いた解析	坂本　和基	歯科(口腔インプラント科部門)	2,860,000	補	日本学術振興会
歯科外来高齢患者に対する食事解析アプリを活用した新規栄養スクリーニング法の確立	下村　侑司	歯科(口腔インプラント科部門)	2,470,000	補	日本学術振興会
空間的1細胞エピゲノム解析から紐解く歯胚発生メカニズムの解明	窪木　拓男	学術研究院医歯薬学域(歯)	3,900,000	補	日本学術振興会
歯肉角化制御因子・BMP-2を基軸とした歯肉角化制御メカニズムの解明と治療戦略	窪木　慎野介	歯科(口腔インプラント科部門)	1,430,000	補	日本学術振興会
舌筋の加齢変化を客観的に評価する表面筋電図手法の創製	萬田　陽介	学術研究院医歯薬学域(歯)	1,430,000	補	日本学術振興会
下顎頭軟骨変性を制御する分子メカニズムの解明	桑原　実穂	学術研究院医歯薬学域(歯)	1,300,000	補	日本学術振興会
マイオカインが咬合支持の喪失や咀嚼機能低下に起因する認知機能の低下に及ぼす影響	原　哲也	学術研究院医歯薬学域(歯)	1,950,000	補	日本学術振興会
口腔機能向上が身体的・精神的フレイルに及ぼす有効性の検証:ランダム化比較試験	竹内　倫子	歯科(予防歯科部門)	910,000	補	日本学術振興会

食道がん化学療法による口腔粘膜炎重症化に対する新規予測ストラテジーの確立	内田　悠理香	歯科（予防歯科部門）	1,820,000	補	日本学術振興会
Trp/LNAA比上昇による睡眠時ブラキシズム改善効果の検証	外山　直樹	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,170,000	補	日本学術振興会
ナッジ理論の応用による高齢者の口腔衛生行動の変化	角田　伊知郎	歯科（予防歯科部門）	1,820,000	補	日本学術振興会
口腔内細菌叢がmiRNAを介して頭頚部がんに及ぼす影響	中原　桃子	歯科（予防歯科部門）	2,210,000	補	日本学術振興会
骨髄由来間葉系幹細胞を用いた新規骨折治癒促進治療の開発	久富　美紀	歯科（歯科放射線科部門）	1,300,000	補	日本学術振興会
超音波剪断波エラストグラフィによる新たな頸部リンパ節微小転移巣診断基準の確立	竹下　洋平	学術研究院医歯薬学域（歯）	780,000	補	日本学術振興会
過分極活性化環状ヌクレオチド依存性チャネルサブタイプを介した抗炎症作用機序の解明	宮脇　卓也	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,300,000	補	日本学術振興会
過分極活性化環状ヌクレオチド依存性チャネルは神経障害性疼痛にどのように関与するか	三宅　沙紀	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,560,000	補	日本学術振興会

臨床応用可能なプロポフォール封入リポソーム製剤開発のための生物学的利用能の検討	西岡　由紀子	歯科（歯科麻酔科部門）	1,430,000	補	日本学術振興会
Transmembrane135トランスジェニックマウスを用いた新たな唾液分泌制御機構の探求	樋口　仁	歯科（歯科麻酔科部門）	1,170,000	補	日本学術振興会
長時間持続作用のある水素粘性気泡液を応用した口腔粘膜への水素局所療法の開発	井上　緑	歯科（歯科麻酔科部門）	1,430,000	補	日本学術振興会
鏡像構造を有する頭蓋底軟骨の新規分子の探索と顎発育との関連	天野　克比古	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,690,000	補	日本学術振興会
鼻中隔軟骨を用いた硝子軟骨細胞の細胞学的特徴の解明	天野　克比古	学術研究院医歯薬学域（歯）	150,000	補	ウエスコ学術振興財団
シスプラチン耐性口腔癌に対する銅キレート剤を用いた新規治療戦略の確立	竜門　省二	口腔外科（口腔顎顔面外科部門）	780,000	補	日本学術振興会
癌骨破壊病変において新規破骨細胞形成促進因子Angiogeninが果たす役割の解明	伊原木　聰一郎	学術研究院医歯薬学域（歯）	6,110,000	補	日本学術振興会
腫瘍浸透ペプチドiRGDによるTreg誘導抑制メカニズムの解明とその応用	國定　勇希	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,560,000	補	日本学術振興会

頭頸部がんにおけるEpCAM誘導性セツキシマブ耐性獲得機序の解明	梅森　洸樹	口腔外科（口腔顎顔面外科部門）	1,300,000	補	日本学術振興会
口蓋突起の癒合におけるFilamin Aを介した上皮間葉転換の分子機序の解明	早野　暁	矯正歯科	1,170,000	補	日本学術振興会
口腔機能低下症に迷走神経刺激は有効か：脳腸連関によるニューロモジュレーション解析	植田　紘貴	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,170,000	補	日本学術振興会
後天的な顎骨形態決定の鍵となる遺伝子の同定とそれに基づく不正咬合抑制への新戦略	河野　加奈	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,300,000	補	日本学術振興会
空間情報に紐づけられた遺伝子発現解析から探る口蓋裂発生機序の解明への挑戦	上岡　寛	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,170,000	補	日本学術振興会
超大規模三次元形態計測による矯正力感知時の歯周組織細胞変化の解明	橋本　真奈	学術研究院医歯薬学域（歯）	1,430,000	補	日本学術振興会
進行性下顎頭吸収を制御する核内受容体AhRシグナルによる骨免疫ネットワークの解明	吉川　友理	矯正歯科	1,690,000	補	日本学術振興会
顎顔面領域先天性疾患の骨リモデリングを規定するエピゲノム制御機構の統合的理解	井澤　俊	学術研究院医歯薬学域（歯）	4,030,000	補	日本学術振興会

生体ボリュームイメージ解析による初期骨組織構築の解明―細胞・骨基質の両面から―	上岡　寛	学術研究院医歯薬学域（歯）	4,810,000	補	日本学術振興会
Development of biodevices for mechanical stimulation of cells in living bone and comprehensive analysis of their mechanotransduction mechanism	上岡　寛	学術研究院医歯薬学域（歯）	8,190,000	補	日本学術振興会
トランスクリプトーム解析を用いた先天性疾患の発症メカニズム解明方法の樹立	田中　敦子	矯正歯科	1,300,000	補	日本学術振興会
機械的刺激が骨芽細胞の移動方向を制御するメカニズムの解明	竹本　史子	矯正歯科	1,820,000	補	日本学術振興会
象牙質と象牙芽細胞の新規形態・機能の解明を目指した広範囲三次元生体ボリューム解析	穴田　理嵯	矯正歯科	1,690,000	補	日本学術振興会
S. mutans コラーゲン結合タンパクに着目した IgA 腎症発症機構の解明	仲　周平	小児歯科	1,430,000	補	日本学術振興会
口腔バイオフィルム感染症制御法確立のための新規ターゲットタンパクの解析	仲野　道代	学術研究院医歯薬学域（歯）	6,110,000	補	日本学術振興会
喉頭挙上訓練を容易にするシステムの開発	山本　昌直	スペシャルニーズ歯科センター	650,000	補	日本学術振興会

メタボローム解析が切り開くダウン症患者の歯周病の病態解明	江草　正彦	スペシャルニーズ歯科センター	1,820,000	補	日本学術振興会
歯性感染由来の発熱性好中球減少症リスク判断指標の解明－乳がん補助化学療法を対象に	曽我　賢彦	医療支援歯科治療部	1,690,000	補	日本学術振興会
歯周治療による大腸がん重症化予防の試み～F. nucleatum血流感染リスク低減を介して～	山中　玲子	医療支援歯科治療部	1,300,000	補	日本学術振興会
CXCR4阻害剤投与がもたらす舌癌壊死のメカニズム-新たな抗腫瘍血管治療薬となるか	吉田　沙織	歯科総合診断室	1,040,000	補	日本学術振興会
ハニカムTCPを用いた象牙質再生療法の確立	稲田　靖則	歯科総合診断室	1,300,000	補	日本学術振興会

計300件

（注）1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入するこ

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、〇印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Iwamuro M, Kamio T, Otsuka M	消化器内科	Gingival Bleeding in a Heavy Drinker.	Cureus. 2024 Oct 9 ; 16(10):e71133. (オンライン)	Case Report
2	Matsumoto K, Kato H, Itoi T, et al	消化器内科	Efficacy and safety of endoscopic ultrasonography-guided ethanol injections of small pancreatic neuroendocrine neoplasms: a prospective multicenter study.	Endoscopy. 2025 Apr ; 57(4):321-329.	Original Article
3	Hiraoka S, Huang Z, Qin F, et al	消化器内科	Health-related quality of life, work productivity, and persisting challenges in treated ulcerative colitis patients: a Japanese National Health and Wellness Survey.	Intest Res. 2025 Jan 2.	Original Article

4	Toyosawa J, Yamasaki Y, Aoyama Y, et al	消化器内科	Adverse Events after Different Endoscopic Resection Procedures for Small and Intermediate-Sized Colorectal Polyps.	Dig Dis. 2024 ; 42(6):529-537.	Original Article
5	Higo H, Ichikawa H, Arakawa Y, et al	呼吸器・アレルギー内科	The Clinical Significance of Interstitial Pneumonia with Autoimmune Features in Cryptogenic Organizing Pneumonia: A Prospective Multicenter Observational Study.	J Clin Med. 2024 Nov 15 ; 13(22):6870. (オンライン)	Original Article
6	Inukai-Motokura Y, Ninomiya K, Baba T, et al	呼吸器・アレルギー内科	Successful immunotherapy with ipilimumab and nivolumab in a patient with pulmonary sclerosing pneumocytoma.	Int Cancer Conf J. 2024 Nov 29 ; 14(1):60-63. (オンライン)	Original Article
7	Inukai Motokura Y, Ito A, Tao Y, et al	呼吸器・アレルギー内科	Severe Adenovirus Infection with SARS-CoV-2 Co-infection.	Intern Med. 2024 Nov 15 ; 63(22):3077-3081.	Case Report

8	Inukai Motokura Y, Higo H, Matsumoto C, et al	呼吸器・アレルギー内科	Remission of hypersensitivity pneumonitis after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Respir Investig. 2024 Sep ; 62(5):759-761.	Case Report
9	Higo H, Taniguchi A, Senoo S, et al	呼吸器・アレルギー内科	Predictors of exacerbation in Japanese patients with severe asthma: Analysis of the severe asthma research program (Okayama-SARP) cohort.	Respir Investig. 2024 Jul ; 62(4):695-701.	Original Article
10	Nakatsuka A, Yamaguchi S, Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科	GRP78 Contributes to the Beneficial Effects of SGLT2 Inhibitor on Proximal Tubular Cells in DKD.	Diabetes. 2024 May 1 ; 73(5):763-779.	Original Article
11	Akagi T, Hara H, Kanazawa H, et al	循環器内科	Real-World Patent Foramen Ovale (PFO) Closure in Japana- 30-Day Clinical Outcomes From the Amplatzer(TM) PFO Occluder Japan Post-Marketing Surveillance Study.	Circ J. 2024 Aug 23 ; 88(9):1391-1397.	Original Article

12	Miyoshi T, Matsuzawa Y, Doi M, et al	循環器内科	Effects of Pemafibrate and Eicosapentaenoic Acid Ethyl Ester on Endothelial Function in Patients With Hypertriglyceridemia and Coronary Artery Disease: A Study Protocol for a Multicenter, Open-Label Randomised Controlled Trial.	Cureus. 2025 Mar 24 ; 17(3):e81104. (オンライン)	Original Article
13	Hagiya H	感染症内科	Addressing the Rejection of a Rebuttal Letter: Author's Experience and Thoughts.	JMA J. 2024 Oct 15 ; 7(4):628-629.	Original Article
14	Hagiya H	感染症内科	Letter to the Editor: "Real-World Effectiveness of Ensitrelvir in Reducing Severe Outcomes in Outpatients at High Risk for COVID-19".	Infect Dis Ther. 2024 Nov ; 13(11):2461-2462.	Letter
15	Hagiya H	感染症内科	Ethical consumption of antimicrobial agents: A proposal for a new concept in promoting antimicrobial stewardship.	Am J Med Sci. 2024 Nov ; 368(5):553-555.	Letter

16	Fukushima S, Fujimori T, Iio K, et al	感染症内科	Severe Intracranial Infection.	J Am Coll Emerg Physicians Open. 2025 Jan 13 ; 6(1):100026. (オンライン)	Original Article
17	Hagiya H, Fukushima S	感染症内科	Evidence Still Pending: Post-exposure Prophylactic Measures Against Varicella-Zoster Virus.	J Pediatric Infect Dis Soc. 2024 Jun 28 ; 13(6):336.	Original Article
18	Hagiya H	感染症内科	Thoughts on and Proposal for the Education, Training, and Recruitment of Infectious Disease Specialists.	Acta Med Okayama. 2024 Jun ; 78(3):205-213.	Original Article
19	Fukushima S, Fujimori T, Hagiya H	感染症内科	Mimicker of Gram-positive Staphylococci.	Int J Infect Dis. 2024 Sep ; 146:107145.	Case Report

20	Hagiya H	感染症内科	Detailed regimens for the prolonged I2-lactam infusion therapy.	J Infect Chemother. 2024 Dec ; 30(12):1324-1326.	Original Article
21	Hagiya H, Fukushima S	感染症内科	Narrower-Spectrum Therapeutic Approaches Are Warranted for Aspiration Pneumonia.	Chest. 2024 Aug ; 166(2):e71-e72.	Original Article
22	Fukushima S, Hagiya H, Gotoh K, et al	感染症内科	Clinical and microbiological characteristics of high-level daptomycin-resistant Corynebacterium species: A systematic scoping review.	J Infect Chemother. 2025 Feb ; 31(2):102575.	Case Report
23	Nakamoto K, Hagiya H, Fukushima S, et al	感染症内科	Cerebellar abscess caused by Cladophialophora bantiana involving an elderly Japanese woman.	J Mycol Med. 2025 Mar 29 ; 35(2):101548.	Case Report

24	Hagiya H, Fujita Y, Kiguchi T, et al	感染症内科	Intention and potential determinants of COVID-19 vaccination among healthcare workers at a single university hospital in Japan, 2024-2025 pre-season.	J Infect Chemother. 2025 Mar ; 31(3):102660.	Original Article
25	Hanzawa S, Asami S, Kanazawa T, et al	消化管外科	Multimodal Treatment With Nivolumab Contributes to Long-Term Survival in a Case of Unresectable Esophagogastric Junction Neuroendocrine Carcinoma.	Cureus. 2024 Aug 1 ; 16(8):e65981. (オンライン)	Case Report
26	Teraishi F, Shoji R, Fujiwara T	消化管外科	Rare case of rectal carcinoid with synchronous primary carcinoid tumors of the lung misdiagnosed as lung metastases.	JGH Open. 2024 Jul 19 ; 8(7):e70003. (オンライン)	Case Report
27	Tomioka Y, Manabe K, Hayashida T, et al	呼吸器外科	Successful Treatment of Descending Necrotizing Mediastinitis by Thoracotomy Using a Pedicled Omental Flap: A Case Report.	Cureus. 2024 Dec 6 ; 16(12):e75211. (オンライン)	Case Report

28	Nakamoto S, Waki T, Mimata A, et al	乳腺・内分泌外科	Radiation hepatitis after postmastectomy radiation therapy for early breast cancer: difficult to differentiate from drug-induced liver injury caused by abemaciclib.	Int Cancer Conf J. 2024 Aug 19 ; 13(4):471-475. (オンライン)	Original Article
29	Nakamoto S, Shien T, Iwamoto T, et al	乳腺・内分泌外科	Absolute lymphocyte count and neutrophil-to-lymphocyte ratio as predictors of CDK 4/6 inhibitor efficacy in advanced breast cancer.	Sci Rep. 2024 Apr 30 ; 14(1):9869. (オンライン)	Original Article
30	Iwatani T, Sasaki K, Machida R, et al	乳腺・内分泌外科	Status of incremental costs of first-line treatment recommended in Japanese clinical guidelines for metastatic breast cancer patients.	Jpn J Clin Oncol. 2024 Oct 3 ; 54(10):1093-1099.	Original Article
31	Shien T, Tsuda H, Sasaki K, et al	乳腺・内分泌外科	Comparison of proportions and prognostic impact of pathological complete response between evaluations of representative specimen and total specimen in primary breast cancer after neoadjuvant chemoradiotherapy: an ancillary study of JCOG0306.	Breast Cancer Res Treat. 2024 Nov ; 208(1):145-154.	Original Article

32	Yokota Y, Kadowaki S, Yamazaki S, et al	心臓血管外科	Expression of c-jun/c-fos mRNA Indicates Persistent Myocardial Stretch During Asphyxia-Induced Cardiac Arrest.	Int Heart J. 2024 ; 65(5):939-944.	Original Article
33	Kisamori E, Kotani Y, Shishido T, et al	心臓血管外科	Effects of systemic ventricular assist in failing Fontan patients: a theoretical analysis using a computational model.	J Physiol Sci. 2024 Nov 2 ; 74(1):53. (オンライン)	Original Article
34	Kato G, Ogawa T, Hayashida T, et al	心臓血管外科	Closure of Ventricular Septal Rupture through a Left Thoracotomy in a Patient with a History of Esophageal Reconstruction.	Acta Med Okayama. 2024 Dec ; 78(6):449-452.	Case Report
35	Kobayashi Y, Sano S, Narumiya Y, et al	心臓血管外科	Management Strategies for Truncus Arteriosus: A Comparative Analysis of Staged vs. Primary Repair.	Pediatr Cardiol. 2025 Jan 30.	Original Article

36	Kato G, Narumiya Y, Okuyama M, et al	心臓血管外科	Surgical Treatment of an Abdominal Aortic Aneurysm in a Patient with a Liver Abscess.	Acta Med Okayama. 2024 Aug ; 78(4):345-347.	Case Report
37	Oda Y, Uotani K, Tetsunaga T, et al	整形外科	A Case of Charcot Spine Arthropathy at the Lumbosacral Level in a Patient With Ankylosis of the Spine.	Cureus. 2025 Mar 16 ; 17(3):e80656. (オンライン)	Case Report
38	Nakata E, Kunisada T, Fujiwara T, et al	整形外科	Efficacy and safety of denosumab dea?escalation in giant cell tumor of bone.	Oncol Lett. 2024 Jun 21 ; 28(2):387. (オンライン)	Original Article
39	Shinohara K, Bryan TP, Bartley CE, et al	整形外科	The Utility of the Surgical Apgar Score in Assessing the Risk of Perioperative Complications Following Spinal Fusion Surgery for Pediatric Patients With Scoliosis and Cerebral Palsy.	Spine (Phila Pa 1976). 2025 Jan 15 ; 50(2):96-102.	Original Article

40	Nakata E, Osone T, Ogawa T, et al	整形外科	Prevalence of neurotrophic tropomyosin receptor kinase (NTRK) fusion gene positivity in patients with solid tumors in Japan.	Cancer Med. 2024 Jun ; 13(12):e7351.	Original Article
41	Matsuo T, Kobayashi Y, Nishimura S, et al	眼科	Intravitreal Fluconazole Injection for Fungal Endophthalmitis as Treatment Option in a Patient With End-Stage Liver and Kidney Diseases.	J Med Cases. 2024 Nov ; 15(11):359-366.	Case Report
42	Matsuo T, Tanaka T, Fuji T, et al	眼科	Axillary Reactive Lymphoid Hyperplasia, Likely Due to Unicentric Castleman Disease, and the Concurrent Presence of Orbital Mucosa-Associated Lymphoid Tissue (MALT) Lymphoma: A Six-Year Follow-Up Study.	Cureus. 2024 Nov 15 ; 16(11):e73775. (オンライン)	Case Report
43	Matsuo T, Tanaka T, Tsuji K	眼科	Presumed Choroidopathy of IgG4-Related Disease Discovered During 16-Year Follow-Up of a Patient With Polycystic Kidney Disease.	Cureus. 2024 Oct 4 ; 16(10):e70865. (オンライン)	Case Report

44	Matsuo T, Iwamoto Y, Okamoto H, et al	眼科	Infective Endocarditis With Origin in Orbital Vascular Malformation and Maxillary Sinusitis: A Case Report and Review of Four Patients in the Literature.	Cureus. 2024 Nov 30 ; 16(11):e74873. (オンライン)	Case Report
45	Matsuo T, Ogata T, Waki T, et al	眼科	Local Control of Conjunctival Malignant Melanoma by Proton Beam Therapy in a Patient With No Metastasis in Six Years From in Situ to Nodular Lesions.	J Med Cases. 2025 Jan ; 16(1):28-36.	Case Report
46	Matsuo T, Yamada K, Monobe Y, et al	眼科	Eyelid Spindle Cell Lipoma: Case Report and Review of Three Patients in Literature.	Clin Case Rep. 2025 Jan 7 ; 13(1):e70097. (オンライン)	Original Article
47	Matsuo T, Tanaka T, Ishida J, et al	眼科	A Natural Course From Primary Intraocular Lymphoma to Brain Lymphoma in Four Years According to Patient's Choice.	Cureus. 2025 Mar 30 ; 17(3):e81476. (オンライン)	Case Report

48	Matsuo T, Tanaka T	眼科	Presumed Autoimmune Keratitis in Both Eyes Without Systemic Manifestations: A 40-Year Course of a Patient With Corneal Infiltrates and Melt.	Cureus. 2025 Feb 28 ; 17(2):e79852. (オンライン)	Case Report
49	Matsuo T, Ikeda N, Monobe Y, et al	眼科	Anterior Uveitis After Discontinuation of Janus Kinase Inhibitor, Ruxolitinib.	J Med Cases. 2024 Aug ; 15(8):208-214.	Case Report
50	Matsuo T, Tanaka T	眼科	Spontaneous regression and rare relapse after excisional biopsy in long-term observation of 31 patients with primary conjunctival lymphoma.	J Clin Exp Hematop. 2024 Jun 27 ; 64(2):86-96.	Original Article
51	Matsuo T, Tanaka T, Kimata Y	眼科	Decades of stability of conjunctival vascular malformations in two patients.	Clin Case Rep. 2024 May 12 ; 12(5):e8933. (オンライン)	Case Report

52	Matsuo T, Hamasaki I, Kamatani Y, et al	眼科	Genome-Wide Association Study with Three Control Cohorts of Japanese Patients with Esotropia and Exotropia of Comitant Strabismus and Idiopathic Superior Oblique Muscle Palsy.	Int J Mol Sci. 2024 Jun 26 ; 25(13):6986. (オンライン)	Original Article
53	Matsuo T, Nishida K, Tanaka T, et al	眼科	Pathological findings in enucleated eyes of patients with neurofibromatosis type 1: report of a case with 15-year follow-up and review of 14 patients in the literature.	BMC Ophthalmol. 2024 Aug 13 ; 24(1):341. (オンライン)	Case Report
54	Yokode A, Fujiwara M, Terao T, et al	精神科神経科	A case of invasive pulmonary aspergillosis associated with clozapine-induced agranulocytosis.	PCN Rep. 2025 Mar 2 ; 4(1):e70077. (オンライン)	Original Article
55	Fukao T, Fujiwara M, Yamada Y, et al	精神科神経科	Forgetfulness in adult attention-deficit/hyperactivity disorder masks transient epileptic amnesia: a case report.	PCN Rep. 2024 Aug 22 ; 3(3):e70003. (オンライン)	Case Report

56	Takenoshita S, Terada S, Kojima K, et al	精神科神経科	Potential dopaminergic deficit in patients with geriatric psychiatric disorders as revealed by DAT-SPECT: a cross-sectional study.	BMJ Ment Health. 2024 Jul 30 ; 27(1):e301042. (オンライン)	Original Article
57	Yamada Y, Fujiwara M, Torigoe M, et al	精神科神経科	Failed prevention of benzodiazepine withdrawal symptoms due to spontaneous expulsion of diazepam suppository administrated via stoma: A case report.	PCN Rep. 2024 Aug 22 ; 3(3):e70001. (オンライン)	Original Article
58	Katayama A, Patel P, Pianelli A, et al	麻酔科蘇生科	Abdominal Organ Transplantation: Noteworthy Literature in 2024.	Semin Cardiothorac Vasc Anesth. 2025 Jun ; 29(2):147-158.	Original Article
59	Yoshida T, Kimura S, Sakura T, et al	麻酔科蘇生科	Association of carboxyhemoglobin and methemoglobin levels with hemolysis during extracorporeal membrane oxygenation.	Int J Artif Organs. 2025 Mar 13:3913988251326398.	Original Article

60	Sakura T, Kanazawa T, Shimizu T, et al	麻酔科蘇生科	Association between plasma-free haemoglobin and postoperative acute kidney injury in paediatric cardiac surgery: a prospective observational study.	BJA Open. 2024 Oct 26 ; 12:100348. (オンライン)	Original Article
61	Katayama A, Maffucci P, Domanski A, et al	麻酔科蘇生科	Abdominal Organ Transplantation: Noteworthy Literature in 2023.	Semin Cardiothorac Vasc Anesth. 2024 Jun ; 28(2):113-126.	Original Article
62	Shiwaku T, Tamefusa K, Ishida H, et al	小児科	Paediatric anaplastic large-cell lymphoma with cardiac tamponade.	Br J Haematol. 2025 Apr ; 206(4):1030.	Original Article
63	Toyota Y, Uda K, Shirabe K, et al	小児科	Pediatric Severe Febrile Thrombocytopenia Syndrome: A Case Report and Literature Review.	Acta Med Okayama. 2024 Oct ; 78(5):401-405.	Case Report

64	Hasegawa K, Miyake T, Kobashi M, et al	小児科	Effect of calcium supplementation on bone deformity and histopathological findings of skin papules in a pediatric patient with vitamin D-dependent rickets type 2A: A case report.	Clin Pediatr Endocrinol. 2025 Apr ; 34(2):131-136.	Case Report
65	Ishida H, Kawahara Y, Tomizawa D, et al	小児科	A higher CD34a?+a?cell dose correlates with better event-free survival after KIR-ligand mismatched cord blood transplantation for childhood acute myeloid leukemia.	J Hematol Oncol. 2024 Apr 29 ; 17(1):24. (オンライン)	Original Article
66	Shigemitsu Y, Kondo M, Kurita Y, et al	小児科	Pulmonary Flow Management by Combination Therapy of Hemostatic Clipping and Balloon Angioplasty for Right Ventricular-Pulmonary Artery Shunt in Hypoplastic Left Heart Syndrome.	Pediatr Cardiol. 2024 Jul 19.	Original Article
67	Ishida H, Imamura T, Kobayashi R, et al	小児科	Differential impact of asparaginase discontinuation on outcomes of children with T-cell acute lymphoblastic leukemia and T-cell lymphoblastic lymphoma.	Cancer Med. 2024 Jun ; 13(12):e7246.	Original Article

68	Tsuchiya H, Shibata T, Sasaki T, et al	小児神経科	A retrospective study on post-operative recovery of daily living activity after total corpus callosotomy.	Brain Dev. 2024 Nov ; 46(10):339-343.	Original Article
69	Shibata T, Tsuchiya H, Akiyama M, et al	小児神経科	Modulation index predicts the effect of ethosuximide on developmental and epileptic encephalopathy with spike-and-wave activation in sleep.	Epilepsy Res. 2024 May ; 202:107359.	Original Article
70	Kanazawa T	小児麻酔科	Investigation of the effectiveness of preoperative intubation simulation using a custom-made simulator for pediatric patients with difficult airway: a pilot study.	J Anesth. 2025 Feb ; 39(1):111-116.	Original Article
71	Kamada Y, Haraga J, Ida N, et al	産科婦人科	Epithelioid trophoblastic tumor diagnosed during a thorough examination of recurrent implantation failure: A case report.	J Obstet Gynaecol Res. 2025 Mar ; 51(3):e16259.	Case Report

72	Ooba H, Maki J, Masuyama H	産科婦人科	Evaluating the impact of a trial of labor after cesarean section on labor duration: a retrospective cohort study.	BMC Pregnancy Childbirth. 2024 Aug 15 ; 24(1):542. (オンライン)	Original Article
73	Iguchi T, Kawabata T, Matsui Y, et al	放射線科	Evaluation of a novel central venous access port for direct catheter insertion without a peel-away sheath.	Jpn J Radiol. 2025 Feb ; 43(2):282-289.	Original Article
74	Higaki F, Hiramatsu M, Yasuhara T, et al	放射線科	Cranial and spinal computed tomography (CT) angiography with photon-counting detector CT: comparison with angiographic and operative findings.	Jpn J Radiol. 2025 Feb ; 43(2):143-151.	Original Article
75	Iguchi T, Nishikori A, Sato Y, et al	放射線科	Computed tomography findings of idiopathic multicentric Castleman disease subtypes.	J Clin Exp Hematop. 2024 ; 64(4):292-296.	Original Article

76	Watanabe K, Kamitani N, Ikeda N, et al	放射線科	Long-term outcomes of salvage high-dose-rate brachytherapy for localized recurrence of prostate cancer following definitive radiation therapy: a retrospective analysis.	BMC Cancer. 2025 Mar 22 ; 25(1):524. (オンライン)	Original Article
77	Hirai T, Uka M, Iguchi T, et al	放射線科	Clinical T1a Renal Cell Carcinoma with Solitary Diaphragmatic Metastasis in a Patient with von Hippel-Lindau Disease.	J Kidney Cancer VHL. 2024 Aug 2 ; 11(3):23-26. (オンライン)	Case Report
78	Iguchi T, Matsui Y, Tomita K, et al	放射線科	Ablation of Kidney Tumors in Patients with Substantial Kidney Impairment: Current Status.	Curr Oncol Rep. 2024 May ; 26(5):573-582.	Original Article
79	Higaki F, Morimitsu Y, Iguchi T, et al	放射線科	Photon-Counting Detector CT: Potential for 75% Reduction in Contrast Medium Amount: A Phantom Study.	Acta Med Okayama. 2024 Apr ; 78(2):135-142.	Original Article

80	Nagata S, Matsui Y, Tomita K, et al	放射線科	Is cryoablation a valid option for renal cell carcinomas in direct contact with critical organs?	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2025 Feb ; 34(1):15-23.	Original Article
81	Kawabata T, Iguchi T, Matsui Y, et al	放射線科	Portal Venous Thrombosis after Percutaneous Cryoablation for Renal Cell Carcinoma.	J Kidney Cancer VHL. 2024 Jul 15 ; 11(2):39-42. (オンライン)	Case Report
82	Katayama H, Ichihara E, Morita A, et al	緩和支持医療科	Cancer-related alopecia and wig acquisition: how age, sex, and treatment affect patient choices.	Support Care Cancer. 2025 Mar 15 ; 33(4):283. (オンライン)	Original Article
83	Yoneda M, Ideguchi H, Nakamura S, et al	歯科歯周科部門	Resolvin D2-induced reparative dentin and pulp stem cells after pulpotomy in a rat model.	Heliyon. 2024 Jul 6 ; 10(13):e34206. (オンライン)	Original Article

84	Sakamoto K, Kimura-Ono A, Kurosaki Y, et al	歯科口腔インプラント科部門	Association among prosthodontic treatment, dietary diversity, and ingestible food profile in older outpatients with missing teeth.	J Prosthodont Res. 2025 Feb 11.	Original Article
85	Yamanaka-Kohno R, Shirakawa Y, Inoue-Minakuchi M, et al	歯科予防歯科部門	Association Between Change in Prognostic Nutritional Index During Neoadjuvant Therapy and Dental Occlusal Support in Patients with Esophageal Cancer Under Neoadjuvant Therapy: A Retrospective Longitudinal Pilot Study.	Nutrients. 2024 Dec 19 ; 16(24):4383. (オンライン)	Original Article
86	Yamanaka-Kohno R, Shirakawa Y, Yokoi A, et al	歯科予防歯科部門	Perioperative gum-chewing training prevents a decrease in tongue pressure after esophagectomy in thoracic esophageal cancer patients: a nonrandomized trial.	Sci Rep. 2024 Oct 12 ; 14(1):23886. (オンライン)	Original Article
87	Higuchi H, Miyake K, Miyake S, et al	歯科歯科麻酔科部門	Optimising the oral midazolam dose for premedication in people with intellectual disabilities and/or autism spectrum disorder.	J Appl Res Intellect Disabil. 2024 Jul ; 37(4):e13265.	Original Article

88	Hagiyama A, Yamamoto N, Watanabe J, et al	総合リハビリテーション部	Efficacy of Protein and Essential Amino Acid Supplementation in Lower Limb Surgeries: A Systematic Review and Meta-Analysis.	Cureus. 2024 Sep 11 ; 16(9):e69212. (オンライン)	Original Article
89	Yamawaki R, Oda Y, Yamane S, et al	総合リハビリテーション部	Factors Affecting Dynamic Postural Control Ability in Adolescent Idiopathic Scoliosis.	Acta Med Okayama. 2024 Oct ; 78(5):357-362.	Original Article
90	Nozawa Y, Harada K, Noma K, et al	総合リハビリテーション部	Association Between Early Mobilization and Postoperative Pneumonia Following Robot-assisted Minimally Invasive Esophagectomy in Patients with Thoracic Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Phys Ther Res. 2024 ; 27(3):121-127.	Original Article
91	Fukuba M, Kawada K, Okazaki Y, et al	総合リハビリテーション部	Association between lower limb muscle strength and musculoskeletal ambulation disability symptom complex in patients with medial meniscus posterior root tears.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2024 Dec 12 ; 35(1):40. (オンライン)	Original Article

92	Ikeda T, Noma K, Konuma M, et al	総合リハビリテーション部	Association between accelerometer-measured light-intensity physical activity and tumor regression for male patients with esophageal cancer receiving neoadjuvant therapy: a retrospective cohort study.	Esophagus. 2025 Apr ; 22(2):177-187.	Original Article
93	Konuma M, Ikeda T, Mitoma T, et al	総合リハビリテーション部	Effectiveness of exercise therapy on chemotherapy-induced peripheral neuropathy in patients with ovarian cancer: A scoping review.	Gynecol Oncol. 2025 Jan ; 192:155-162.	Original Article
94	Nakamichi R, Saito T, Shimamura Y, et al	総合リハビリテーション部	Comparison of early clinical outcome in carpal tunnel release - mini-open technique with palmar incision vs. endoscopic technique with wrist crease incision.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Apr 1 ; 25(1):251. (オンライン)	Original Article
95	Yoshitomi A, Soga Y, Yamanaka-Kohno R, et al	医療支援歯科治療部	Sensitivity and specificity of the question ″do you have any concerns regarding your mouth related to undergoing surgery?″ for predicting perioperative oral health problems in patients with primary esophageal and lung cancer: a retrospective observationa	Perioper Med (Lond). 2024 May 6 ; 13(1):36. (オンライン)	Original Article

96	Kobayashi Y, Edamura K, Sadahira T, et al	低侵襲治療センター	What is the identity of Gerota fascia? Histological study with cadavers.	Int J Urol. 2025 Jan ; 32(1):62-68.	Original Article
97	Teraishi F, Yoshida Y, Shoji R, et al	低侵襲治療センター	Short-term Safety of Robot-assisted Rectal Surgery in Patients Aged a?¥75 Years: A Single-center Retrospective Study.	Anticancer Res. 2025 Mar ; 45(3):1291-1299.	Original Article
98	Taka H, Douguchi T, Miyamoto A, et al	臨床工学センター	Oxygen Delivery During Cardiopulmonary Bypass in Pediatric Patients With Congenital Heart Disease: Association With Postoperative Acute Kidney Injury.	J Cardiothorac Vasc Anesth. 2025 Mar ; 39(3):702-710.	Original Article
99	Ogura S, Soga Y, Fujiwara H, et al	歯科衛生士室	Characteristics of oral mucositis in patients undergoing haploidentical stem cell transplantation with posttransplant cyclophosphamide: marked difference between busulfan and melphalan regimens.	Support Care Cancer. 2025 Mar 5 ; 33(4):252. (オンライン)	Original Article

100	Hotta K, Saeki S, Sakata S, et al	新医療研究開発センター	Five-year outcomes with gefitinib induction and chemoradiotherapy in EGFR-mutant stage III non-small-cell lung cancer: LOGIK0902/OLCSG 0905 phase II study.	Int J Clin Oncol. 2025 Mar ; 30(3):497-503.	Original Article
101	Mitsuhashi T	新医療研究開発センター	Heterogeneity of the effect of the COVID-19 pandemic on the incidence of Metabolic Syndrome onset at a Japanese campus.	PeerJ. 2024 Apr 5 ; 12:e17013. (オンライン)	Original Article
102	Sakamoto Y, Mitsuhashi T, Hotta K	新医療研究開発センター	Factors Associated with Differences in Physicians' Attitudes toward Percutaneous Endoscopic Gastrostomy Feeding in Older Adults Receiving End-of-Life Care in Japan: A Cross-Sectional Study.	Palliat Med Rep. 2024 Jul 8 ; 5(1):206-214. (オンライン)	Original Article
103	Miyamoto S, Heerspink HJL, de Zeeuw D, et al	新医療研究開発センター	A randomized, open-label, clinical trial examined the effects of canagliflozin on albuminuria and eGFR decline using an individual pre-intervention eGFR slope.	Kidney Int. 2024 Nov ; 106(5):972-984.	Original Article

104	Fujii Y, Nakatani T, Ousaka D, et al	新医療研究開発センター	Development of Antimicrobial Surfaces Using Diamond-like Carbon or Diamond-like Carbon-Based Coatings.	Int J Mol Sci. 2024 Aug 6 ; 25(16):8593. (オンライン)	Original Article
105	Ooba H, Maki J, Tabuchi T, et al	新医療研究開発センター	Relationship Between Heated Tobacco Products and Placental Abruption: A Prospective Cohort Study Using Online Questionnaire.	J Epidemiol Glob Health. 2025 Feb 20 ; 15(1):30. (オンライン)	Original Article
106	Ennishi D	ゲノム医療総合推進センター	Recent advances in understanding of pathogenesis and treatment development for diffuse large B-cell lymphoma and follicular lymphoma.	Int J Hematol. 2025 Mar ; 121(3):318-320.	Original Article
107	Ninomiya K, Ennishi D, Okamoto K, et al	ゲノム医療総合推進センター	Response to Imatinib in a Patient With Gastric Adenocarcinoma With KIT Q556_K558 In-Frame Deletion: A Case Report.	JCO Precis Oncol. 2024 Sep ; 8:e2400228.	Case Report

108	Naoi Y, Ennishi D	ゲノム医療総合推進センター	Understanding the intrinsic biology of diffuse large B-cell lymphoma: recent advances and future prospects.	Int J Hematol. 2025 Mar ; 121(3):321-325.	Original Article
109	Tatebe Y, Manabe Y, Tanaka Y, et al	薬剤部	Letermovir at a Prophylactic Dose for Cytomegalovirus Infection in Children Undergoing Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation: A Single-Center Retrospective Study in Japan.	Biol Pharm Bull. 2024 ; 47(9):1575-1582.	Original Article
110	Misawa K, Nishimura T, Yoshikawa M, et al	薬剤部	Combined dual I2-lactams and diazabicyclooctane I2-lactamase inhibitor is highly effective against Mycobacterium abscessus species in vitro.	J Glob Antimicrob Resist. 2025 May ; 42:142-150.	Original Article
111	Higashionna T, Hagiya H, Fujita Y, et al	薬剤部	Trends in the hand hygiene practices using alcohol-based hand rubs in Japanese hospitals before and after the novel coronavirus pandemic: an observational study using national surveillance data.	J Hosp Infect. 2024 Oct ; 152:150-155.	Original Article

112	Kataoka H, Tokinobu A, Fujii C, et al	ダイバーシティ推進センター	Effectiveness of professional-identity-formation and clinical communication-skills programs on medical students' empathy in the COVID-19 context: comparison between pre-pandemic in-person classes and during-pandemic online classes.	BMC Med Educ. 2025 Jan 9 ; 25(1):39. (オンライン)	Original Article
113	Matsueda K, Kono Y, Miyahara K, et al	消化器内科	Clinical Significance of Lymphatic Involvement in Intramucosal (pT1a) Gastric Cancer Resected by Endoscopic Submucosal Dissection.	J Gastroenterol Hepatol. 2025 Mar ; 40(3):712-719.	Original Article
114	Matsumoto K, Uchida D, Takeuchi Y, et al	消化器内科	Efficacy and safety of endoscopic ultrasonography-guided radiofrequency ablation of small pancreatic neuroendocrine neoplasms: A prospective, pilot study.	DEN Open. 2025 Jan 29 ; 5(1):e70073. (オンライン)	Original Article
115	Sato R, Matsumoto K, Uka M, et al	消化器内科	A case of pancreatic ductal adenocarcinoma growing within the pancreatic duct mimicking an intraductal tubulopapillary neoplasm.	Clin J Gastroenterol. 2025 Apr ; 18(2):376-382.	Case Report

116	Fujii Y, Uchida D, Sato R, et al	消化器内科	Effectiveness of data-augmentation on deep learning in evaluating rapid on-site cytopathology at endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration.	Sci Rep. 2024 Sep 28 ; 14(1):22441. (オンライン)	Original Article
117	Matsumoto K, Komatsubara M, Inagaki K, et al	消化器内科	Hormonal changes revealed by selective arterial calcium injection tests in patients with insulinoma treated with EUS-guided ethanol injection.	Endosc Ultrasound. 2024 May-Jun ; 13(3):193-195.	Original Article
118	Hirata S, Hamada K, Iwamuro M, et al	消化器内科	Rates and risk factors of bleeding after gastric endoscopic submucosal dissection with continuous warfarin or 1-day withdrawal of direct oral anticoagulants.	J Gastroenterol Hepatol. 2024 Dec ; 39(12):2760-2766.	Original Article
119	Iwamuro M, Tanaka T, Takahara M, et al	消化器内科	Decreased CD3+CD56+ Natural Killer T Lymphocytes and Increased Human Leukocyte Antigen-DR+ Cells in the Inflamed Area of Pouchitis in Ulcerative Colitis Patients.	Cureus. 2024 Sep 24 ; 16(9):e70066. (オンライン)	Original Article

120	Iwamuro M, Kono Y, Tanaka T, et al	消化器内科	Vonoprazan-Associated Mucosal Redness: A Report of Two Cases.	Cureus. 2024 Oct 12 ; 16(10):e71325. (オンライン)	Case Report
121	Matsueda K, Kawano S, Fukui K, et al	消化器内科	Long-term outcomes of endoscopic resection of superficial esophageal squamous cell carcinoma in late-elderly patients.	J Gastroenterol Hepatol. 2024 Dec ; 39(12):2664-2671.	Original Article
122	Kamio T, Hirata S, Hamada K, et al	消化器内科	A Case of Esophageal Squamous Cell Carcinoma Detected After Peroral Endoscopic Myotomy in a Patient With Achalasia.	Cureus. 2024 Oct 16 ; 16(10):e71604. (オンライン)	Case Report
123	Hirai R, Kinugasa H, Ishiguro M, et al	消化器内科	Short- and longer-term learning effects from virtual scale endoscopy videos: a useful tool for colorectal lesion size estimation (with videos).	Gastrointest Endosc. 2025 May ; 101(5):1030-1037.e5.	Original Article

124	Iwamuro M, Okada H, Otsuka M	消化器内科	Natural Course and Long-Term Outcomes of Gastric Subepithelial Lesions: A Systematic Review.	J Clin Med. 2025 Feb 7 ; 14(4):1055. (オンライン)	Review
125	Iwamuro M, Tanaka T, Otsuka M	消化器内科	Black Hairy Tongue Observed During Esophagogastroduodenoscopy.	Cureus. 2024 Nov 23 ; 16(11):e74331. (オンライン)	Case Report
126	Fujii Y, Matsumoto K, Otsuka M	消化器内科	Successful removal of a buried lumen-apposing metal stent without complications using pancreatic drainage and a hemostatic agent.	Clin Endosc. 2025 Feb 27.	Case Report
127	Fujii Y, Matsumoto K, Ochi K, et al	消化器内科	Clipping closure length is a crucial factor for delayed bleeding after endoscopic papillectomy: a retrospective multicenter cohort study.	Therap Adv Gastroenterol. 2025 Mar 18 ; 18:17562848251326450. (オンライン)	Original Article

128	Fujii Y, Matsumoto K, Matsumi A, et al	消化器内科	Comparison of Midazolam and Diazepam for Sedation in Patients Undergoing Double-Balloon Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography: A Propensity Score-Matched Analysis.	J Clin Med. 2025 Mar 27；14(7):2287. (オンライン)	Original Article
129	Aoyama Y, Hiraoka S, Yasutomi E, et al	消化器内科	Changes of leucine-rich alpha 2 glycoprotein could be a marker of changes of endoscopic and histologic activity of ulcerative colitis.	Sci Rep. 2025 Feb 12；15(1):5248. (オンライン)	Original Article
130	Iwamuro M, Kamio T, Hirata S, et al	消化器内科	Gastric Metastasis of Renal Cell Carcinoma Initially Diagnosed by Esophagogastroduodenoscopy.	Cureus. 2025 Feb 25；17(2):e79651. (オンライン)	Case Report
131	Sato R, Hotta K, Kubo T, et al	消化器内科	Durable Response to Nivolumab Combined With Metformin in Advanced Pancreatic Cancer: A Case Report With Seven Years of Follow-Up.	Cureus. 2025 Feb 14；17(2):e79001. (オンライン)	Case Report

132	Kajitani S, Matsumoto K, Oki K, et al	消化器内科	Endoscopic ultrasonography-guided removal of a stent that had migrated into the pancreas post-pancreaticojejunostomy: A case report.	DEN Open. 2025 Mar 11 ; 5(1):e70096. (オンライン)	Case Report
133	Horiguchi S, Kato H, Miyamoto K, et al	消化器内科	Microsatellite-high intrahepatic cholangiocarcinoma with favorable treatment outcome using pembrolizumab.	Clin J Gastroenterol. 2025 Apr ; 18(2):363-368.	Case Report
134	Iwamuro M, Tanaka T, Kawano S, et al	消化器内科	Advanced prostate cancer diagnosed through colonoscopy.	Gastrointest Endosc. 2025 Feb 28:S0016-5107(25)00134-8.	Case Report
135	Mizushima H, Kinugasa H, Otsuka M	消化器内科	Unraveling a Rare Case: Diarrhea, Alopecia, and Polyposis.	Gastroenterology. 2025 Feb 18:S0016-5085(25)00372-5.	Case Report

136	Kinugasa H, Hiraoka S, Kobayashi S, et al	消化器内科	Acetic Acid-Indigo Carmine Chromocolonoscopy for Proximal Serrated Lesions: A Randomized, 3-Arm Colonoscopy Study.	Am J Gastroenterol. 2025 Mar 13.	Original Article
137	Matsueda K, Uedo N, Kitamura M, et al	消化器内科	Endoscopic features of gastric neuroendocrine tumors.	DEN Open. 2025 Feb 26 ; 5(1):e70088. (オンライン)	Original Article
138	Iwamuro M, Kamio T, Hirata S, et al	消化器内科	Myeloid Sarcoma in the Small Intestine.	Intern Med. 2024 Dec 19.	Case Report
139	Miyake N, Yasugi K, Takaki A, et al	消化器内科	Cholecystectomy Is Linked to Worse Clinical Outcomes in Primary Sclerosing Cholangitis.	Cureus. 2025 Mar 6 ; 17(3):e80184. (オンライン)	Original Article

140	Kamio T, Kono Y, Iwamuro M, et al	消化器内科	Helicobacter heilmannii Infection With Concurrent Gastric Cancer: A Case Report.	Cureus. 2025 Feb 26 ; 17(2):e79729. (オンライン)	Case Report
141	Kametaka D, Iwamuro M, Tanaka T, et al	消化器内科	Small Intestinal Complications of Intestinal Transplant-Associated Microangiopathy Post-stem Cell Transplantation.	Cureus. 2024 Jul 8 ; 16(7):e64111. (オンライン)	Case Report
142	Tanaka E, Oda N, Ogawa T, et al	消化器内科	Cancer of Unknown Primary Presenting with Chylothorax.	Intern Med. 2025 Mar 15 ; 64(6):887-891.	Case Report
143	Miyake N, So R, Kariyama K, et al	消化器内科	A smartphone app-based intervention combined with face-to-face sessions for alcohol dependence at internal medicine clinics: A randomized controlled trial.	Gen Hosp Psychiatry. 2024 Sep-Oct ; 90:68-75.	Original Article

144	Iwamuro M, Tanaka T, Makimoto G, et al	消化器内科	Two Cases of Cytomegalovirus Colitis During the Treatment of Immune Checkpoint Inhibitor-Associated Colitis.	Cureus. 2024 Jun 27 ; 16(6):e63308. (オンライン)	Case Report
145	Matsumoto K, Kato H, Tsutsumi K, et al	消化器内科	Current status of endoscopic ultrasound-guided antitumor treatment for pancreatic cancer.	Dig Endosc. 2025 Jan ; 37(1):18-28.	Original Article
146	Iwamuro M, Kawano S, Otsuka M	消化器内科	Drug-induced mucosal alterations observed during esophagogastroduodenoscopy.	World J Gastroenterol. 2024 Apr 28 ; 30(16):2220-2232.	Review
147	Kikuchi T, Takeuchi Y, Nouso K, et al	消化器内科	Response to the letter: ″Predictive factors for transition to conversion therapy in HCC using atezolizumab plus bevacizumab″.	Liver Int. 2024 Jul ; 44(7):1736-1737.	Letter

148	Iwamuro M, Ennishi D, Fujii N, et al	消化器内科	Endoscopic manifestation of intestinal transplant-associated microangiopathy after stem cell transplantation.	BMC Gastroenterol. 2024 Apr 22 ; 24(1):140. (オンライン)	Original Article
149	Iwamuro M, Tanaka T, Ennishi D, et al	消化器内科	Recent updates on treatment options for primary follicular lymphoma of the gastrointestinal tract.	Expert Rev Gastroenterol Hepatol. 2024 Jul ; 18(7):367-375.	Original Article
150	Sue M, Takeuchi Y, Hirata S, et al	消化器内科	Impact of Nutritional Status on Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio as a Predictor of Efficacy and Adverse Events of Immune Check-Point Inhibitors.	Cancers (Basel). 2024 May 9 ; 16(10):1811. (オンライン)	Original Article
151	Sato R, Matsumoto K, Otsuka M	消化器内科	A Duodenal Ulcer and Biliopancreatic Lesions: What Is the Culprit?	Gastroenterology. 2024 Dec ; 167(7):1266-1269.	Original Article

152	Yamamoto A, Koda M, Ogawa H, et al	血液・腫瘍内科	Enhancing Medical Interview Skills Through AI-Simulated Patient Interactions: Nonrandomized Controlled Trial.	JMIR Med Educ. 2024 Sep 23 ; 10:e58753. (オンライン)	Original Article
153	Hayashino K, Terao T, Nishimori H, et al	血液・腫瘍内科	Outcomes of allogeneic SCT versus tisagenlecleucel in patients with R/R LBCL and poor prognostic factors.	Int J Hematol. 2025 Feb ; 121(2):232-243.	Review
154	Ueda Y, Kobayashi H, Fujiwara H, et al	血液・腫瘍内科	A fatal case of enterovirus A71-induced meningoencephalitis following allogenic hematopoietic stem cell transplantation.	J Infect Chemother. 2025 Apr ; 31(4):102630.	Case Report
155	Hayashino K, Fujii N, Nagano T, et al	血液・腫瘍内科	Myelodysplastic neoplasms with repeating TAFRO syndrome-like symptoms.	Int J Hematol. 2025 May ; 121(5):706-711.	Case Report

156	Hayashino K, Kitamura W, Fujii N, et al	血液・腫瘍内科	Severe hypophosphatemia following idecabtagene vicleucel regardless of the severity of cytokine release syndrome.	Cytotherapy. 2025 Apr ; 27(4):516-521.	Original Article
157	Yamamoto A, Nishimori H, Shirai T, et al	血液・腫瘍内科	Recurrent Cerebral Hemorrhaging with Platelet Dysfunction Accompanied by Anti-glycoprotein VI Autoantibodies in a Patient with TAFRO Syndrome.	Intern Med. 2024 ; 63(13):1917-1922.	Case Report
158	Yamamoto A, Nishimori H, Seike K, et al	血液・腫瘍内科	Simulation-based Bone Marrow Aspiration and Trephine Biopsy Education for Medical Students: A Non-randomized Controlled Trial.	Intern Med. 2025 Feb 15 ; 64(4):527-533.	Original Article
159	Kitamura W, Asada N, Ikegawa S, et al	血液・腫瘍内科	Activated CD4(+) T Cell Proportion in the Peripheral Blood Correlates with the Duration of Cytokine Release Syndrome and Predicts Clinical Outcome after Chimeric Antigen Receptor T Cell Therapy.	Intern Med. 2024 ; 63(13):1863-1872.	Original Article

160	Kitamura W, Kobayashi H, Noda M, et al	血液・腫瘍内科	Spontaneous regression of multiple solitary plasmacytoma harboring Epstein-Barr virus: a case report and literature review.	Int J Hematol. 2024 Jul ; 120(1):128-134.	Case Report
161	Kitamura W, Fujii K, Tsuge M, et al	血液・腫瘍内科	A randomized controlled trial of conventional GVHD prophylaxis with or without teprenone for the prevention of severe acute GVHD.	Ann Hematol. 2025 Mar ; 104(3):1917-1929.	Original Article
162	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Noncoding RNAs and diabetic kidney disease.	J Diabetes Investig. 2025 Jan ; 16(1):8-9.	Original Article
163	Sakurabu Y, Uchida HA, Tahara T, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	A case of renal hypouricemia due to T217M mutation in SLC22A12 incidentally associated with IgA nephropathy.	Clin Case Rep. 2024 Aug 27 ; 12(9):e9368. (オンライン)	Case Report

164	Umebayashi R, Matsuoka-Uchiyama N, Sugiyama H, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	The Change in Public Perception and Knowledge Acquisition Methods of Chronic Kidney Disease Among General Population in Okayama Prefecture, Japan.	Diseases. 2024 Oct 25 ; 12(11):268. (オンライン)	Original Article
165	Katayama Y, Shirafuji Y	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Fat-stranding Sign: A Clue of Visceral Disseminated Varicella-zoster Virus Infection.	Intern Med. 2024 Nov 1.	Original Article
166	Watanabe M, Eguchi J, Takamoto A, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	HOMA-beta independently predicts survival in patients with advanced cancer on treatment with immune checkpoint inhibitors.	Front Endocrinol (Lausanne). 2024 Dec 11 ; 15:1439705. (オンライン)	Original Article
167	Hirose K, Katsuyama T, Kubota N, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Pericardial artery lymphoma in a patient with dermatomyositis: A case report.	Mod Rheumatol Case Rep. 2025 Jan 16 ; 9(1):100-103.	Case Report

168	Tsuji K, Uchida N, Nakanoh H, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	The Gut-Kidney Axis in Chronic Kidney Diseases.	Diagnostics (Basel). 2024 Dec 25 ; 15(1):21. (オンライン)	Original Article
169	Asano Y, Matsumoto Y, Kubota N, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Dyspnea with Hemidiaphragm Elevation in a Patient with Giant Cell Arteritis: A Case Report.	Intern Med. 2025 Jan 15.	Original Article
170	Matsumoto K, Matsumoto Y, Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科	PARylation-mediated post-transcriptional modifications in cancer immunity and immunotherapy.	Front Immunol. 2025 Mar 11 ; 16:1537615. (オンライン)	Original Article
171	Kano Y, Tanabe K, Kitagawa M, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Serum uric acid level is associated with renal arteriolar hyalinosis and predicts post-donation renal function in living kidney donors.	PLoS One. 2025 Mar 25 ; 20(3):e0320482. (オンライン)	Original Article

172	Nishii N, Kawai T, Yasuoka H, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Vesicular Glutamate Transporter 3 Is Involved in Glutamatergic Signalling in Podocytes.	Int J Mol Sci. 2025 Mar 11 ; 26(6):2485. (オンライン)	Original Article
173	Fukushima K, Tsuji K, Nakanoh H, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Text mining for case report articles on "peritoneal dialysis" from PubMed database.	Ther Apher Dial. 2025 Jun ; 29(3):459-470.	Original Article
174	Matsuoka-Uchiyama N, Uchida HA, Asakawa T, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	The association of fasting triglyceride variability with renal dysfunction and proteinuria in medical checkup participants.	Clin Exp Nephrol. 2025 Feb 28.	Original Article
175	Katayama Y, Miyawaki Y, Shidahara K, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Association between discontinuity of care and patient trust in the usual rheumatologist among patients with systemic lupus erythematosus: a cross-sectional study.	Arthritis Res Ther. 2024 Nov 11 ; 26(1):195. (オンライン)	Original Article

176	Takahashi H, Eguchi J, Watanabe M, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Reduced Immunogenicity of COVID-19 Vaccine in Obese Patients with Type 2 Diabetes: A Cross-Sectional Study.	Acta Med Okayama. 2024 Apr ; 78(2):185-191.	Original Article
177	Nakashima Y, Tanabe K, Mifune T, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Preventive effects of vasohibin-2-targeting peptide vaccine for diabetic nephropathy.	Am J Physiol Renal Physiol. 2024 Jun 1 ; 326(6):F1054-F1065.	Original Article
178	Katayama K, Uchida HA, Takehara A, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	A Case of Pseudoxanthoma Elasticum with Juvenile-onset Hypertension.	Intern Med. 2024 Nov 15 ; 63(22):3121-3122.	Original Article
179	Haraguchi S, Tsuji K, Nakanoh H, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Effects of HIF-PHD inhibitors in kidney development.	Nephrol Dial Transplant. 2024 Jul 31 ; 39(8):1368-1370.	Original Article

180	Nakanoh H, Takeuchi H, Morimoto S, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Successful Treatment for Life Threatening Recurrent Non-traumatic Rectus Sheath Hematoma in a Case with Microscopic Polyangiitis with Rapidly Progressive Glomerulonephritis.	Intern Med. 2024 Dec 1 ; 63(23):3243-3248.	Case Report
181	Tanaka K, Sugiyama H, Morinaga H, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Late-onset renal variant Fabry disease with R112H mutation and mild increase in plasma globotriaosylsphingosine: a case report.	Front Med (Lausanne). 2024 Jun 6 ; 11:1383309. (オンライン)	Case Report
182	Tanaka K, Hayasaka H, Matsusaka T	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Dach1 is essential for maintaining normal mature podocytes.	PLoS One. 2024 May 28 ; 19(5):e0303910. (オンライン)	Original Article
183	Nakanoh H, Tsuji K, Morimoto S, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	A case of membranous nephropathy complicated by Cronkhite-Canada syndrome successfully treated with mizoribine.	CEN Case Rep. 2025 Feb ; 14(1):72-80.	Case Report

184	Hada Y, Uchida HA, Okamoto S, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Neutrophil Elastase Inhibition by Sivelestat (ONO-5046) Attenuates AngII-Induced Abdominal Aortic Aneurysms in Apolipoprotein E-Deficient Mice.	Am J Hypertens. 2024 Apr 15 ; 37(5):349-357.	Original Article
185	Yamada Y, Fujiwara M, Nakaya N, et al	精神科神経科	Trends in uptake of cancer screening among people with severe mental illness before and after the COVID-19 pandemic in Japan: A repeated cross-sectional study.	PCN Rep. 2025 Feb 2 ; 4(1):e70062. (オンライン)	Original Article
186	Yokota O, Miki T, Nakashima-Yasuda H, et al	精神科神経科	Pure argyrophilic grain disease revisited: independent effects on limbic, neocortical, and striato-pallido-nigral degeneration and the development of dementia in a series with a low to moderate Braak stage.	Acta Neuropathol Commun. 2024 Jul 31 ; 12(1):121. (オンライン)	Original Article
187	Sato T, Washio Y, Kawai H, et al	小児科	A case of fetal myocardial calcification with hyperechoic area in fetal echocardiography.	Pediatr Int. 2025 Jan-Dec ; 67(1):e15868.	Original Article

188	Tsuge M, Ichihara E, Hasegawa K, et al	小児科	Increased Oxidative Stress and Decreased Citrulline in Blood Associated with Severe Novel Coronavirus Pneumonia in Adult Patients.	Int J Mol Sci. 2024 Jul 31 ; 25(15):8370. (オンライン)	Original Article
189	Hirai K, Sakano N, Oozawa S, et al	小児科	Initial trial of threea?lead wearable electrocardiogram monitoring in a full marathon.	J Cardiol Cases. 2024 Apr 16 ; 30(1):24-28. (オンライン)	Case Report
190	Okamura T, Yoshimoto J, Morimoto D, et al	小児科	Long-term survival of an infant with complete tetraploidy: A case report.	Am J Med Genet A. 2024 Nov ; 194(11):e63717.	Case Report
191	Morimoto D, Washio Y, Fukuda K, et al	小児科	Machine Learning to Improve Accuracy of Transcutaneous Bilirubinometry.	Neonatology. 2024 ; 121(6):772-779.	Original Article

192	Shigehara K, Matsumoto N, Tsuge M, et al	小児科	Maternal smoking during infancy increases the risk of allergic diseases in children: a nationwide longitudinal survey in Japan.	Allergy Asthma Clin Immunol. 2025 Jan 16 ; 21(1):4. (オンライン)	Original Article
193	Futagawa N, Hasegawa K, Miyahara H, et al	小児科	Trabecular bone scores in children with osteogenesis imperfecta respond differently to bisphosphonate treatment depending on disease severity.	Front Pediatr. 2024 Dec 3 ; 12:1500023. (オンライン)	Original Article
194	Okada A, Shigeyasu Y, Fujii C, et al	小児科	Psychogenic fever and neurodevelopmental disorders among Japanese children.	Biopsychosoc Med. 2024 Dec 18 ; 18(1):23. (オンライン)	Original Article
195	Hirai K, Sawada R, Hayashi T, et al	小児科	Eight-Year Outcomes of Cardiosphere-Derived Cells in Single Ventricle Congenital Heart Disease.	J Am Heart Assoc. 2024 Nov 19 ; 13(22):e038137.	Original Article

196	Kanaya N, Kuroda S, Kondo Y, et al	消化管外科	Optimization of workflow processes for sustainable paternal involvement: case study of an academic ″daddy surgeon″ in Japan.	Surg Today. 2024 Dec 7.	Original Article
197	Takagi K, Fuji T, Yasui K, et al	消化管外科	ASO Author Reflections: Hemodynamics During Pancreatoduodenectomy with Vascular Resection.	Ann Surg Oncol. 2025 Feb ; 32(2):1339-1340.	Original Article
198	Matsumi Y, Kikuchi S, Shoji R, et al	消化管外科	A Case of Laparoscopic Left Hemicolectomy for Transverse Colon Cancer With Severe Obesity Performed Safely by Multidisciplinary Perioperative Management.	Cureus. 2024 Oct 13 ; 16(10):e71401. (オンライン)	Case Report
199	Kakiuchi Y, Kuroda S, Yoshida Y, et al	消化管外科	An effective surgical educational system in the era of robotic surgery: ″Double-Surgeon Technique″ in robotic gastrectomy for minimally invasive surgery.	Langenbecks Arch Surg. 2024 Dec 28 ; 410(1):20. (オンライン)	Original Article

200	Kikuchi S, Takata N, Kakiuchi Y, et al	消化管外科	Effect of Oral Nutritional Supplements Composed of High Protein on Body Weight Loss After Gastrectomy.	In Vivo. 2025 Jan-Feb ; 39(1):426-432.	Original Article
201	Fuji T, Takagi K, Yasui K, et al	消化管外科	Hemodynamic Assessment Using SPY Laser Fluorescence Imaging During Pancreatoduodenectomy with Common Hepatic Artery Resection.	Ann Surg Oncol. 2025 Feb ; 32(2):1334-1336.	Case Report
202	Doita S, Watanabe M, Ogawa T, et al	消化管外科	Utility of Follow-Up Computed Tomography (CT) and Fluorodeoxyglucose-Positron Emission Tomography/CT (FDG-PET/CT) in Diagnosing Gastrointestinal Stromal Tumor (GIST) Presenting as Spontaneous Hemoperitoneum: A Case Report.	Cureus. 2024 Sep 20 ; 16(9):e69799. (オンライン)	Case Report
203	Takagi K, Fuji T, Yasui K, et al	消化管外科	Robot-Assisted Pancreaticoduodenectomy Using the Anterior Superior Mesenteric Artery-First Approach for Pancreatic Cancer.	Ann Surg Oncol. 2024 Dec ; 31(13):8741-8743.	Case Report

204	Shoji R, Teraishi F, Kondo Y, et al	消化管外科	Endoscopic lavage for an infected pelvic hematoma in a patient with pelvic sepsis after anterior pelvic exenteration.	Asian J Endosc Surg. 2024 Oct ; 17(4):e13384.	Case Report
205	Takagi K, Fuji T, Yasui K, et al	消化管外科	ASO Author Reflections: The Superior Mesenteric Artery First Approaches in Robotic Pancreatoduodenectomy.	Ann Surg Oncol. 2025 Jan ; 32(1):535.	Original Article
206	Takahashi T, Shigeyasu K, Kondo Y, et al	消化管外科	Predictive marker for response to trifluridine/tipiracil plus bevacizumab in metastatic colorectal cancer patients.	BMC Cancer. 2025 Jan 2 ; 25(1):1. (オンライン)	Original Article
207	Yoshida Y, Teraishi F, Shoji R, et al	消化管外科	Robot-Assisted Laparoscopic Resection With the Transanal Approach for Massive Rectal Gastrointestinal Stromal Tumor: A Case Report.	Cureus. 2024 Dec 24 ; 16(12):e76352. (オンライン)	Case Report

208	Fuji T, Takagi K, Umeda Y, et al	消化管外科	Impact of Robotic Surgery on Postoperative Pancreatic Fistula for High-Risk Pancreaticojejunostomy after Pancreatoduodenectomy.	Dig Surg. 2025 ; 42(2):49-58.	Original Article
209	Doita S, Takahashi Y, Nakamura E, et al	消化管外科	Challenges in Managing Cephalic Arch Stenosis: A Case of Stent Fracture and Lessons Learned.	Cureus. 2025 Jan 11 ; 17(1):e77290. (オンライン)	Case Report
210	Shoji R, Teraishi F, Kondo Y, et al	消化管外科	Tailoring Neoadjuvant Therapy for Rectal Cancer: A Single-center Study of Local Recurrence Patterns.	Anticancer Res. 2025 Mar ; 45(3):1261-1271.	Original Article
211	Kanaya N, Kuroda S, Kakiutchi Y, et al	消化管外科	Short-Term and Long-Term Outcomes of Robotic Gastrectomy for Gastric Cancer: A Single-Center, Single-Arm Prospective Study.	Cureus. 2025 Feb 15 ; 17(2):e79063. (オンライン)	Original Article

212	Kanaya N, van Schaik TA, Aoki H, et al	消化管外科	High risk of multiple gastric cancers in Japanese individuals with Lynch syndrome.	Ann Gastroenterol Surg. 2024 Apr 22 ; 8(6):1008-1016. (オンライン)	Original Article
213	Yamada M, Takagi K, Fuji T, et al	消化管外科	The Liver Transection Area Is a Novel Predictor for Surgical Difficulty in Laparoscopic Liver Resection.	J Clin Med. 2024 Sep 24 ; 13(19):5686. (オンライン)	Original Article
214	Minagi H, Kanaya N, Kondo Y, et al	消化管外科	Primary ileal myeloid sarcoma presenting with bowel obstruction: a case report.	Surg Case Rep. 2024 Oct 4 ; 10(1):229. (オンライン)	Original Article
215	Fuji T, Umeda Y, Takagi K, et al	消化管外科	The required experience of open pancreaticoduodenectomy before becoming a specialist in hepatobiliary and pancreatic surgeons: a multicenter, cohort study of 334 open pancreaticoduodenectomies.	BMC Surg. 2024 Nov 20 ; 24(1):366. (オンライン)	Original Article

216	Tsujii T, Takagi K, Nagai Y, et al	消化管外科	Rare internal hernia following pancreatoduodenectomy: A case report.	Int J Surg Case Rep. 2025 Jan ; 126:110673.	Case Report
217	Takahashi Y, Hioki M, Ohno K, et al	消化管外科	Undifferentiated Carcinoma of the Pancreas With Osteoclast-Like Giant Cells Localized in the Main Pancreatic Duct Without Extraductal Invasion: A Case Report and Literature Review.	Cureus. 2025 Mar 14 ; 17(3):e80592. (オンライン)	Case Report
218	Kashima H, Teraishi F, Matsumi Y, et al	消化管外科	Laparoscopic Resection Combined with a Transsacral Approach for a Recurrent Tailgut Cyst with a Refractory Fistula.	Acta Med Okayama. 2024 Apr ; 78(2):193-196.	Case Report
219	Teraishi F, Matsumi Y, Tachibana K, et al	消化管外科	Perineal Squamous Cell Carcinoma Arising in an Epidermal Cyst.	Acta Med Okayama. 2024 Apr ; 78(2):197-200.	Case Report

220	Shoji R, Teraishi F, Matsumi Y, et al	消化管外科	Robot-assisted laparoscopic surgery for rectal cancer in a patient with a horseshoe kidney: A case report.	Asian J Endosc Surg. 2024 Apr ; 17(2):e13296.	Case Report
221	Hanzawa S, Kikuchi S, Kuroda S, et al	消化管外科	Perioperative and Postoperative Continuous Nutritional Counseling Improves Quality of Life of Gastric Cancer Patient UndergoingA?Gastrectomy.	Nutr Cancer. 2024 ; 76(6):476-485.	Original Article
222	Shigeyasu K, Yamamoto H, Takahashi T, et al	消化管外科	BRAF-mutant microsatellite-stable rectal cancer with acquired KRAS mutation leading to drug resistance in liver metastasis.	Int Cancer Conf J. 2024 Apr 18 ; 13(3):189-192. (オンライン)	Original Article
223	Moriwake K, Noma K, Kawasaki K, et al	消化管外科	Subtotal esophagectomy and concurrent reconstruction with free jejunal flap for primary esophageal cancer after pancreatoduodenectomy.	Surg Case Rep. 2024 May 22 ; 10(1):128. (オンライン)	Original Article

224	Kashima H, Fischer A, Veronese-Paniagua DA, et al	消化管外科	A Novel CRISPR/Cas9-mediated Mouse Model of Colon Carcinogenesis.	Cell Mol Gastroenterol Hepatol. 2024 ; 18(5):101390.	Original Article
225	Teraishi F, Yoshida Y, Shoji R, et al	消化管外科	Subjective global assessment for nutritional screening and its impact on surgical outcomes: A prospective study in older patients with colorectal cancer.	Langenbecks Arch Surg. 2024 Nov 25 ; 409(1):356. (オンライン)	Original Article
226	Teraishi F, Shoji R, Kondo Y, et al	消化管外科	Comprehensive geriatric assessment as an indicator of postoperative recovery in older patients with colorectal cancer.	J Geriatr Oncol. 2024 Nov ; 15(8):101837.	Original Article
227	Tanaka S, Umeda M, Ujike H, et al	呼吸器外科	Novel pulmonary abdominal normothermic regional perfusion circuit for simultaneous in-donor evaluation and preservation of lungs and abdominal organs in donation after circulatory death.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2025 Mar 16.	Original Article

228	Ryuko T, Sugimoto S, Tanaka S, et al	呼吸器外科	Late living-donor kidney transplantation from the same donor after living-donor lobar lung transplantation.	JHLT Open. 2024 Aug 24 ; 6:100153. (オンライン)	Case Report
229	Tanaka S, Miyoshi K, Sugimoto S, et al	呼吸器外科	Pulmonary Vein Repair on Extracorporeal Life Support: A Potential Surgical Complication for 2-Staged Lung Transplantation: Case Report.	Transplant Proc. 2024 Jun ; 56(5):1177-1178.	Case Report
230	Okazaki M, Sakaue T, Tanaka S, et al	呼吸器外科	Histological Features and Gene Expression Profiling in Lung Transplantation From Donation After Circulatory Death.	Arch Bronconeumol. 2025 May ; 61(5):299-302.	Case Report
231	Choshi H, Miyoshi K, Tanioka M, et al	呼吸器外科	Long short-term memory algorithm for personalized tacrolimus dosing: A simple and effective time series forecasting approach post-lung transplantation.	J Heart Lung Transplant. 2025 Mar ; 44(3):351-361.	Original Article

232	Mamori T, Tanioka M, Takada K, et al	乳腺・内分泌外科	Real-World Comparative Analysis of Trastuzumab Originator and Biosimilars: Safety, Efficacy, and Cost Effectiveness.	BioDrugs. 2025 Jan ; 39(1):131-142.	Original Article
233	Nakamoto S, Iwamoto T, Taira N, et al	乳腺・内分泌外科	The effect of exercise and educational programs for breast cancer patients on the development of breast cancer-related lymphoedema: secondary endpoint from a randomized controlled trial in the Setouchi Breast Project-10.	Breast Cancer. 2024 Sep ; 31(5):969-978.	Original Article
234	Nakamoto S, Kajiwara Y, Taniguchi K, et al	乳腺・内分泌外科	Baseline gut microbiota as a predictive marker for the efficacy of neoadjuvant chemotherapy in patients with early breast cancer: a multicenter prospective cohort study in the Setouchi Breast Project-14.	Breast Cancer Res Treat. 2024 Nov ; 208(1):67-77.	Original Article
235	Tanaka S, Nakata E, Ozaki T, et al	呼吸器外科	Reconstruction method for massive lateral chest wall sarcoma using titanium plates and mesh: a case report.	J Cardiothorac Surg. 2024 Apr 18 ; 19(1):245. (オンライン)	Case Report

236	Okazaki M, Suzawa K, Shien K, et al	呼吸器外科	Effective division of the intersegmental plane using a robotic stapler in robotic pulmonary segmentectomy.	Surg Today. 2024 Nov ; 54(11):1319-1328.	Original Article
237	Mukohara F, Iwata K, Ishino T, et al	呼吸器外科	Somatic mutations in tumor-infiltrating lymphocytes impact on antitumor immunity.	Proc Natl Acad Sci U S A. 2024 Aug 27 ; 121(35):e2320189121.	Original Article
238	Ryuko T, Okazaki M, Mitsuhashi T, et al	呼吸器外科	Comparable Clinical Outcomes Between Segmentectomy and Lobectomy for NSCLC With Unsuspected N1/N2: A Multicenter Real-World Data Study.	Ann Thorac Surg. 2025 Mar 20:S0003-4975(25)00212-7.	Original Article
239	Tanaka S, Fujii K, Ishihara M, et al	呼吸器外科	Postoperative Complications in Living Donors for Lung Transplantation.	Transplant Direct. 2024 Apr 9 ; 10(5):e1617. (オンライン)	Original Article

240	Shitozawa H, Misawa H, Uotani K, et al	整形外科	Curve Progression After the Termination of Bracing for Adolescent Idiopathic Scoliosis: Usefulness of Combining the Proximal Femur Maturity Index (PFMI) and Risser Staging.	Cureus. 2024 Nov 10 ; 16(11):e73395. (オンライン)	Original Article
241	Tamura M, Furumatsu T, Yokoyama Y, et al	整形外科	Fast rehabilitation does not worsen clinical, radiological, and arthroscopic outcomes after medial meniscus posterior root repair: A retrospective comparative study.	Asia Pac J Sports Med Arthrosc Rehabil Technol. 2024 Sep 23 ; 38:29-35. (オンライン)	Original Article
242	Uotani K, Fujiwara T, Ueda K, et al	整形外科	Identification of ENO-1 positive extracellular vesicles as a circulating biomarker for monitoring of Ewing sarcoma.	Cancer Sci. 2024 Nov ; 115(11):3660-3671.	Original Article
243	Horita M, Saiga K, Fujiwara T, et al	整形外科	A Characteristic Magnetic Resonance Imaging Finding to Identify Morton Neuroma: The Slug Sign.	Foot Ankle Orthop. 2024 Aug 26 ; 9(3):24730114241268285. (オンライン)	Original Article

244	Kawada K, Yokoyama Y, Okazaki Y, et al	整形外科	The use of lateral wedge insoles delays osteoarthritis progression and improves clinical outcomes in medial meniscus posterior root repair.	J Exp Orthop. 2025 Jan 20 ; 12(1):e70141. (オンライン)	Original Article
245	Kawada K, Fukuba M, Okazaki Y, et al	整形外科	Quadriceps muscle strength of the affected limb in medial meniscus posterior root tears is negatively correlated with the progression of postoperative medial joint space narrowing.	J Exp Orthop. 2024 Dec 12 ; 11(4):e70057. (オンライン)	Original Article
246	Uotani K, Flores AOP, Tanaka M, et al	整形外科	More postoperative complications and revision surgery after occipitocervical fusion than after atlantoaxial fusion: a retrospective multicenter cohort study.	Asian Spine J. 2025 Mar 4.	Original Article
247	Naniwa S, Nishida K, Yoshida A, et al	整形外科	LRP4 and Agrin Are Modulated by Cartilage Degeneration and Involved in I2-Catenin Signaling in Human Articular Chondrocytes.	Int J Mol Sci. 2025 Jan 24 ; 26(3):1007. (オンライン)	Original Article

248	Okazaki Y, Furumatsu T, Kintaka K, et al	整形外科	Assessment of All-Inside Sutures to the Posteromedial Capsule in Medial Meniscus Posterior Root Repair: Findings From a Retrospective Three-Dimensional Magnetic Resonance Imaging Study.	Cureus. 2024 Nov 15 ; 16(11):e73778. (オンライン)	Original Article
249	Kawada K, Yokoyama Y, Okazaki Y, et al	整形外科	Medial meniscus posterior root tears with advanced osteoarthritis or subchondral insufficiency fracture are good indications for unicompartmental knee arthroplasty at a minimum 2-year follow-up.	Arch Orthop Trauma Surg. 2024 Dec 18 ; 145(1):64. (オンライン)	Original Article
250	Nakamichi R, Asahara H	整形外科	The role of mechanotransduction in tendon.	J Bone Miner Res. 2024 Aug 5 ; 39(7):814-820.	Original Article
251	Kawada K, Furumatsu T, Yokoyama Y, et al	整形外科	Meniscal healing status after medial meniscus posterior root repair negatively correlates with a midterm increase in medial meniscus extrusion.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2024 Sep ; 32(9):2219-2227.	Original Article

252	Kawada K, Okazaki Y, Tamura M, et al	整形外科	Accurate tibial tunnel position in transtibial pullout repair for medial meniscus posterior root tears delays the progression of medial joint space narrowing.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2024 Aug ; 32(8):2023-2031.	Original Article
253	Uotani K, Tanaka M, Kumawat C, et al	整形外科	Navigation-Guided C-arm-Free Minimally Invasive Transforaminal Lumbar Interbody Fusion: A Comparative Study of Cage Orientation and Screw Insertion Accuracy Against the Conventional C-arm-Assisted Technique.	Cureus. 2024 Aug 3 ; 16(8):e66070. (オンライン)	Original Article
254	Ueda M, Tetsunaga T, Tetsunaga T, et al	整形外科	Insomnia among patients with chronic pain: A retrospective study.	Medicine (Baltimore). 2024 Aug 9 ; 103(32):e39113.	Original Article
255	Kunisada T, Nakata E, Fujiwara T, et al	整形外科	Radiographic and Clinical Assessment of Unidirectional Porous Beta-Tricalcium Phosphate to Treat Benign Bone Tumors.	Biomimetics (Basel). 2025 Feb 10 ; 10(2):101. (オンライン)	Original Article

256	Matsuda M, Nakajima K, Aoki N, et al	皮膚科	A case of solar urticaria complicated by eosinophilic granulomatosis with polyangiitis treated with mepolizumab.	J Dermatol. 2025 Mar ; 52(3):e225-e226.	Letter
257	Miyake T, Yamamoto T, Hirai Y, et al	皮膚科	Monokine induced by gamma interferon as a marker of systemic hydroa vaccniforme lymphoproliferative disorder.	J Am Acad Dermatol. 2025 Mar ; 92(3):602-605.	Original Article
258	Urakami H, Yoshikawa S, Nagao K, et al	皮膚科	Stress-experienced monocytes/macrophages lose anti-inflammatory function via I2(2)-adrenergic receptor in skin allergic inflammation.	J Allergy Clin Immunol. 2025 Mar ; 155(3):865-879.	Original Article
259	Hirai Y, Sakurai J, Yoshida S, et al	皮膚科	Phase I/II clinical trial of brentuximab vedotin for pretreated Japanese patients with CD30-positive cutaneous T-cell lymphoma.	J Dermatol. 2024 Aug ; 51(8):1037-1049.	Original Article

260	Fujimoto Y, Kawakami Y, Miyake T, et al	皮膚科	Acquired generalized anhidrosis following durvalumab treatment in a patient with advanced non-small cell lung cancer.	J Dermatol. 2025 Jan ; 52(1):e24-e25.	Letter
261	Tsuboi I, Kardoust Parizi M, Matsukawa A, et al	泌尿器科	The efficacy of adjuvant mitotane therapy and radiotherapy following adrenalectomy in patients with adrenocortical carcinoma: A systematic review and meta-analysis.	Urol Oncol. 2025 May ; 43(5):297-306.	Original Article
262	Mitsui M, Sadahira T, Nagasaki N, et al	泌尿器科	Postoperative infections after robotic-assisted radical prostatectomy in a single large institution: Effect of type and duration of prophylactic antibiotic administration.	Int J Urol. 2025 Mar ; 32(3):258-263.	Original Article
263	Sadahira T, Sekito T, Maruyama Y, et al	泌尿器科	Significance of Targeted Antimicrobial Prophylaxis Using Rectal-culture Selective Screening Media Prior to Transrectal Prostate Biopsy: A Multicenter, Randomized Controlled Trial.	Urology. 2025 Feb ; 196:32-39.	Original Article

264	Tsuboi I, Matsukawa A, Kardoust Parizi M, et al	泌尿器科	The Impact of Concomitant Medications on the Overall Survival of Patients Treated with Systemic Therapy for Advanced or Metastatic Renal Cell Carcinoma: A Systematic Review and Meta-analysis.	Clin Genitourin Cancer. 2024 Dec ; 22(6):102237.	Original Article
265	Tsuboi I, Rajwa P, Campi R, et al	泌尿器科	Oncological Outcomes of Active Surveillance versus Surgery or Ablation for Patients with Small Renal Masses: A Systematic Review and Quantitative Analysis.	Eur Urol Oncol. 2025 Apr ; 8(2):544-553.	Original Article
266	Katayama S, Pradere B, Grossman NC, et al	泌尿器科	Clinical Significance of Tumor Location for Ureteroscopic Tumor Grading in Upper Tract Urothelial Carcinoma.	J Endourol. 2024 Nov ; 38(11):1156-1163.	Original Article
267	Tsuboi I, Matsukawa A, Kardoust Parizi M, et al	泌尿器科	A Systematic Review and Meta-analysis of the Impact of Local Therapies on Local Event Suppression in Metastatic Hormone-sensitive Prostate Cancer.	Eur Urol Oncol. 2024 Dec ; 7(6):1185-1194.	Original Article

268	Tsuboi I, Matsukawa A, Kardoust Parizi M, et al	泌尿器科	Nonintravesical Interventions for Preventing Intravesical Recurrence in Patients With Nonmuscle-Invasive Bladder Cancer: A Systematic Review and Meta-Analysis.	Clin Genitourin Cancer. 2025 Apr ; 23(2):102306.	Original Article
269	Tsuboi I, Schulz RJ, Laukhtina E, et al	泌尿器科	Incidence, Management, and Prevention of Gynecomastia and Breast Pain in Patients with Prostate Cancer Undergoing Antiandrogen Therapy: A Systematic Review and Meta-analysis of Randomized Controlled Trials.	Eur Urol Open Sci. 2025 Jan 27 ; 73:31-42. (オンライン)	Original Article
270	Katayama S, Iwata T, Nishimura S, et al	泌尿器科	Photodynamic Diagnosis-Guided Ureteroscopic Laser Ablation of Upper Tract Urothelial Carcinoma: Some Concerns and Future Direction.	Ann Surg Oncol. 2025 Jun ; 32(6):4564-4565.	Letter
271	Sekito T, Sadahira T	泌尿器科	Editorial Comment on Testosterone Recovery and Quality of Life of Japanese Patients After Short-Term Neoadjuvant Androgen Deprivation Therapy With Low-Dose Rate Brachytherapy for Prostate Cancer.	Int J Urol. 2025 Mar 5.	Original Article

272	Yamanoi T, Bekku K, Yoshinaga K, et al	泌尿器科	Propensity score-matched analysis comparing robot-assisted partial nephrectomy and image-guided percutaneous cryoablation for cT1 renal cell carcinoma.	Urol Oncol. 2024 Dec ; 42(12):453.e15-453.e22.	Original Article
273	Watanabe T, Sadahira T, Tominaga Y, et al	泌尿器科	Circadian Rhythms Fluctuate the Treatment Effects of Intravesical Treatments on Rat Urinary Frequency Models.	Vet Med Int. 2024 May 28 ; 2024:6505595. (オンライン)	Original Article
274	Sekito T, Sadahira T, Hirakawa H, et al	泌尿器科	Homology of Escherichia coli isolated from urine and vagina and their antimicrobial susceptibility in postmenopausal women with recurrent cystitis.	J Infect Chemother. 2024 Oct ; 30(10):1081-1084.	Original Article
275	Sekito T, Bekku K, Katayama S, et al	泌尿器科	Effect of Antacids on the Survival of Patients With Metastatic Urothelial Carcinoma Treated With Pembrolizumab.	Clin Genitourin Cancer. 2024 Aug ; 22(4):102097.	Original Article

276	Tominaga Y, Kobayashi T, Matsumoto Y, et al	泌尿器科	Trans men can achieve adequate muscular development through low-dose testosterone therapy: A long-term study on body composition changes.	Andrology. 2025 Feb ; 13(2):275-285.	Original Article
277	Tsuboi I, Matsukawa A, Parizi MK, et al	泌尿器科	Infection risk reduction with povidone-iodine rectal disinfection prior to transrectal prostate biopsy: an updated systematic review and meta-analysis.	World J Urol. 2024 Apr 23 ; 42(1):252. (オンライン)	Original Article
278	Tsuboi I, Matsukawa A, Kardoust Parizi M, et al	泌尿器科	Differential effect of surgical technique on intravesical recurrence after radical nephroureterectomy in patients with upper tract urothelial cancer: a systematic review and Meta-analysis.	World J Urol. 2024 Aug 20 ; 42(1):488. (オンライン)	Original Article
279	Matoba R, Morizane Y	眼科	Epiretinal membrane: an overview and update.	Jpn J Ophthalmol. 2024 Nov ; 68(6):603-613.	Original Article

280	Kono R, Hamasaki I, Kishimoto F, et al	眼科	Relationships among eye dimensions in magnetic resonance images by sex, age, and strabismus type in Japanese patients with acquired strabismus and high myopia.	Jpn J Ophthalmol. 2024 Nov ; 68(6):641-650.	Original Article
281	Kono R, Hamasaki I, Kishimoto F, et al	眼科	Relationships between tilt angles of rectus muscles and positions of rectus muscle pulleys in patients with sagging eye syndrome.	Jpn J Ophthalmol. 2025 Jan ; 69(1):1-9.	Original Article
282	Matsumae H, Kataoka K, Yagi-Yaguchi Y, et al	眼科	Correlation between preoperative aqueous cytokine levels and mid-term corneal endothelial cell loss following penetrating keratoplasty.	Eye (Lond). 2025 May ; 39(7):1286-1291.	Original Article
283	Matoba R, Kanzaki Y, Morita T, et al	眼科	MIXED PATHOPHYSIOLOGIES OF LAMELLAR MACULAR HOLES AND RELATED DISEASES: A Multimodal Optical Coherence Tomography-Based Study.	Retina. 2024 Oct 1 ; 44(10):1785-1792.	Original Article

284	Hosokawa MM, Ouchi C, Shiode Y, et al	眼科	Influence of submacular hemorrhage at baseline on the long-term outcomes of aflibercept treatment for typical neovascular age-related macular degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2024 Oct ; 262(10):3099-3107.	Original Article
285	Okamoto S, Shiode Y, Kimura S, et al	眼科	Calcification of a Hydrophilic Acrylic Intraocular Lens after Glaucoma Surgery.	Acta Med Okayama. 2024 Jun ; 78(3):295-300.	Case Report
286	Omichi R, Kariya S, Sugaya A, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Short-process incudo-stapedioplasty in congenital ear malformation.	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2025 Jan 7 ; 10(1):e70055. (オンライン)	Original Article
287	Uraguchi K, Matsumoto N, Fujimoto S, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Impact of coronavirus disease 2019 emergency declarations on surgeries for deep neck infection incidence in Japan.	J Infect Chemother. 2025 Mar ; 31(3):102601.	Original Article

288	Makihara S, Otani Y, Uraguchi K, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Pneumocephalus with Inverted Papilloma in the Frontoethmoidal Sinus: Case Report and Literature Review.	Acta Med Okayama. 2024 Aug ; 78(4):337-343.	Case Report
289	Sato A, Omichi R, Maeda Y, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	A glucocorticoid-regulating molecule, Fkbp5, may interact with mitogen-activated protein kinase signaling in the organ of Corti of mice cochleae.	Sci Rep. 2025 Mar 3 ; 15(1):7506. (オンライン)	Original Article
290	Makihara S, Hosoya K, Uraguchi K, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Neurectomy for allergic rhinitis in Japan: Increasing trends and surgeon preferences.	Auris Nasus Larynx. 2024 Oct ; 51(5):834-839.	Original Article
291	Uraguchi K, Matsumoto N, Mitsuhashi T, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Pediatric otitis media in Japan: A nationwide longitudinal study of the pre- and post-pneumococcal conjugate vaccine eras born in 2001 and 2010.	Vaccine. 2024 Jul 25 ; 42(19):4081-4087.	Original Article

292	Naoi Y, Morinaga T, Nagasaki J, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	CD106 in Tumor-Specific Exhausted CD8+ T Cells Mediates Immunosuppression by Inhibiting TCR Signaling.	Cancer Res. 2024 Jul 2 ; 84(13):2109-2122.	Original Article
293	Uraguchi K, Otsuka Y, Marunaka H, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Upper airway obstruction due to congenital epiglottic cyst: Report of two cases.	Congenit Anom (Kyoto). 2024 Jul ; 64(4):184-185.	Case Report
294	Akisada N, Makino T, Naoi Y, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	A case of an electric toothbrush tip penetrating from the oral cavity to the submandibular gland.	Clin Case Rep. 2024 May 23 ; 12(6):e8987. (オンライン)	Case Report
295	Shimizu A, Makihara S, Imoto R, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Endoscopic Transpterygoid Repair of Sphenoid Sinus Meningocele: A Comprehensive Case Report and Literature Review.	Auris Nasus Larynx. 2024 Oct ; 51(5):875-879.	Case Report

296	Makihara S, Uraguchi K, Fujimoto S, et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Shifting paradigms in endoscopic sinus surgery: a comprehensive analysis from Japan's national database.	Acta Otolaryngol. 2024 Sep ; 144(9):503-508.	Original Article
297	Ando M, Fukushima K, Nishizaki K	耳鼻咽喉・頭頸部外科	The discovery of acatalasemia (lack of catalase in the blood) and its significance in human genetics.	Proc Jpn Acad Ser B Phys Biol Sci. 2024 ; 100(7):353-367.	Original Article
298	Matsui Y, Ueda D, Fujita S, et al	放射線科	Applications of artificial intelligence in interventional oncology: An up-to-date review of the literature.	Jpn J Radiol. 2025 Feb ; 43(2):164-176.	Original Article
299	Munetomo K, Tomita K, Iguchi T, et al	放射線科	Mimicking Cryoprobe Fracture During Renal Cryoablation Due to Contrast Media Concentration: A Case Report with Verification.	Cardiovasc Intervent Radiol. 2024 Aug ; 47(8):1155-1157.	Case Report

300	Mitoma T, Maki J, Ooba H, et al	産科婦人科	Decline in and recovery of fertility rates after COVID-19-related state of emergency in Japan.	BMJ Open. 2024 Oct 8 ; 14(10):e087657. (オンライン)	Original Article
301	Vu TH, Nakamura K, Shigeyasu K, et al	産科婦人科	Apolipoprotein-B mRNA-editing complex 3B could be a new potential therapeutic target in endometriosis.	Sci Rep. 2024 Oct 23 ; 14(1):24968. (オンライン)	Original Article
302	Eto E, Maki J, Yamashita N, et al	産科婦人科	Multicenter Remote-Access Simulation of Vaginal Delivery for High-Flexibility Medical Education during the Coronavirus Pandemic.	Acta Med Okayama. 2024 Aug ; 78(4):313-322.	Original Article
303	Tani Y, Nakamura K, Yorimitsu M, et al	産科婦人科	Lymphadenectomy and chemotherapy are effective treatments for patients with 2023 international federation of gynecology and obstetrics stage IIC-high risk endometrial cancer in Japan.	Int J Clin Oncol. 2025 Jan ; 30(1):144-156.	Original Article

304	Yang T, Okada E, Todoroki M, et al	産科婦人科	Vascular dysfunction in women with recurrent pregnancy loss: Possible association with antiphospholipid antibodies.	Int J Gynaecol Obstet. 2025 Apr ; 169(1):206-214.	Original Article
305	Nakamura K, Shigeyasu K, Vu TH, et al	産科婦人科	ADAR1 could be a potential diagnostic target for intrauterine infection patients.	Sci Rep. 2024 Nov 27 ; 14(1):29419. (オンライン)	Original Article
306	Ooba H, Maki J, Masuyama H	産科婦人科	Voice analysis and deep learning for detecting mental disorders in pregnant women: a cross-sectional study.	Discov Ment Health. 2025 Feb 8 ; 5(1):12. (オンライン)	Original Article
307	Nagao S, Andou M, Irie K, et al	産科婦人科	Surgical training in extraperitoneal laparoscopic paraa?aortic lymphadenectomy for the treatment of gynecological cancer using a Thiela?embalmed cadaver.	Oncol Lett. 2024 Apr 30 ; 27(6):290. (オンライン)	Original Article

308	Nakamura K, Ida N, Hirasawa A, et al	産科婦人科	CD63 as a potential biomarker for patients with ovarian cancer.	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol. 2025 Mar ; 306:87-93.	Original Article
309	Nakamura K, Shigeyasu K, Maki J, et al	産科婦人科	The adenosine deaminase family acting on RNA 1 can be a useful diagnostic biomarker in chorioamnionitis.	Placenta. 2024 Aug ; 153:53-58.	Original Article
310	Nagao S, Nishio S, Takehara K, et al	産科婦人科	Re-administration of platinum-based chemotherapy for recurrent endometrial cancer: an ancillary analysis of the SGSG-012/GOTIC-004/Intergroup study.	Int J Clin Oncol. 2024 Oct ; 29(10):1594-1601.	Original Article
311	Li Y, Shimizu H, Nakamura R, et al	麻酔科蘇生科	The protective effect of carbamazepine on acute lung injury induced by hemorrhagic shock and resuscitation in rats.	PLoS One. 2024 Oct 23 ; 19(10):e0309622. (オンライン)	Original Article

312	Katayama A, Kimura S, Matsusaki T, et al	麻酔科蘇生科	Effect of Recipient Age on Perioperative Complications after Pediatric Liver Transplantation: A Single-Center Retrospective Study.	Acta Med Okayama. 2024 Aug ; 78(4):323-330.	Original Article
313	Shimizu T, Kanazawa T, Yoshida T, et al	麻酔科蘇生科	A Retrospective Comparative Study of the Frequency of Hypotension in Pediatric Cardiac Catheterization under General Anesthesia: Remimazolam versus Sevoflurane.	J Cardiothorac Vasc Anesth. 2024 Dec ; 38(12):3118-3126.	Original Article
314	Arakawa K, Nakagawa M, Abe Y, et al	麻酔科蘇生科	T2 high-signal-intensity zone of the spinal cord dorsal horn in patients treated with spinal cord stimulation for herpes zoster-associated pain: a retrospective case-control study.	J Anesth. 2025 Apr ; 39(2):273-281.	Original Article
315	Imoto R, Otani Y, Fujii K, et al	脳神経外科	Tectal glioma: clinical, radiological, and pathological features, and the importance of molecular analysis.	Brain Tumor Pathol. 2025 Jan ; 42(1):1-11.	Original Article

316	Hirata Y, Nagase T, Sasada S, et al	脳神経外科	Treatment of Tenosynovial Giant Cell Tumor of the Cervical Spine with Postoperative Anti-RANKL Antibody (Denosumab) Administration.	Acta Med Okayama. 2024 Dec ; 78(6):469-474.	Case Report
317	Umeda T, Otani Y, Fujii K, et al	脳神経外科	Identification of factors related to functional prognoses in craniopharyngiomas.	J Neurooncol. 2025 Apr ; 172(2):471-479.	Original Article
318	Sugahara C, Kin K, Sasaki T, et al	脳神経外科	Repeated non-hemorrhagic and non-contusional mild traumatic brain injury in rats elicits behavioral impairment with microglial activation, astrogliosis, and tauopathy: Reproducible and quantitative model of chronic traumatic encephalopathy.	Brain Res. 2025 Mar 1 ; 1850:149412.	Original Article
319	Otani Y, Higaki F, Fujii K, et al	脳神経外科	Comparative analysis of intraoperative MRI and early postoperative MRI findings in glioma surgery patients.	J Neurosurg. 2024 Dec 27 ; 142(5):1289-1297. (オンライン)	Original Article

320	Nagase T, Yasuhara T, Kin K, et al	脳神経外科	Therapeutic effects of intracerebral transplantation of human modified bone marrow-derived stromal cells (SB623) with voluntary and forced exercise in a rat model of ischemic stroke.	Exp Neurol. 2025 Apr ; 386:115145.	Original Article
321	Omae R, Kimura R, Otani Y, et al	脳神経外科	Utility of Surgical Simulation for Tubular Retractor Surgery Using Three-Dimensional Printed Intraventricular Tumor Models: Case Series.	World Neurosurg. 2025 Mar ; 195:123743.	Original Article
322	Hirata Y, Hiramatsu M, Sugiu K, et al	脳神経外科	Challenges in the treatment of giant cavernous carotid aneurysm associated with hemophilia A: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons. 2025 Feb 24 ; 9(8):CASE24693. (オンライン)	Original Article
323	Fujita J, Hirotsune N, Matsuda Y, et al	脳神経外科	Important Notes for Preventing Entrapment of Distal Filter-based Embolic Protection Device in Carotid Artery Stenting.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2024 Oct 15 ; 64(10):382-386.	Original Article

324	Okonkwo DO, McAllister P, Achrol AS, et al	脳神経外科	Mesenchymal Stromal Cell Implants for Chronic Motor Deficits After Traumatic Brain Injury: Post Hoc Analysis of a Randomized Trial.	Neurology. 2024 Oct 8 ; 103(7):e209797.	Original Article
325	Hirano S, Otani Y, Fujii K, et al	脳神経外科	Organized Chronic Subdural Hematoma (OCSDH) Mimicking Meningioma.	Acta Med Okayama. 2024 Jun ; 78(3):285-290.	Case Report
326	Hirata Y, Takahashi Y, Kuramoto S, et al	脳神経外科	The effectiveness of palliative middle meningeal artery embolization prior to craniotomy for large acute epidural hematoma: A case report.	Int J Surg Case Rep. 2024 May ; 118:109704.	Case Report
327	Morita S, Tokumasu K, Otsuka Y, et al	総合内科・総合診療科	Phase-dependent trends in the prevalence of myalgic encephalomyelitis / chronic fatigue syndrome (ME/CFS) related to long COVID: A criteria-based retrospective study in Japan.	PLoS One. 2024 Dec 9 ; 19(12):e0315385. (オンライン)	Original Article

328	Fujiwara S, Otsuka Y, Furukawa M, et al	総合内科・総合診療科	Clinical Characteristics of Persistent Hypophosphatasemia Uncovered in Adult Patients: A Retrospective Study at a Japanese Tertiary Hospital.	J Clin Med. 2024 Nov 23 ; 13(23):7078. (オンライン)	Original Article
329	Oguni K, Goshima Y, Tatsushima K, et al	総合内科・総合診療科	A Rare Case of Interleukin-6-producing Adrenocortical Carcinoma Presenting with a Persistent Fever.	Intern Med. 2025 Feb 1.	Original Article
330	Shimbe M, Otsuka Y, Hagiya H, et al	総合内科・総合診療科	Human Papillomavirus vaccination awareness and uptake among healthcare students in Japan.	J Infect Chemother. 2025 Feb ; 31(2):102554.	Original Article
331	Nishida C, Honda H, Otsuka Y, et al	総合内科・総合診療科	Impact of Lifestyle Changes on Body Weight Gain During Nationwide Lockdown Due to COVID-19 Pandemic.	J Clin Med. 2025 Mar 25 ; 14(7):2242. (オンライン)	Original Article

332	Tokumasu K, Matsuki N, Otsuka Y, et al	総合内科・総合診療科	Course of General Fatigue in Patients with Post-COVID-19 Conditions Who Were Prescribed Hochuekkito: A Single-Center Exploratory Pilot Study.	J Clin Med. 2025 Feb 19 ; 14(4):1391. (オンライン)	Original Article
333	Soejima Y, Otsuka Y, Kawaguchi M, et al	総合内科・総合診療科	Involvement of a Novel Variant of FGFR1 Detected in an Adult Patient with Kallmann Syndrome in Regulation of Gonadal Steroidogenesis.	Int J Mol Sci. 2025 Mar 18 ; 26(6):2713. (オンライン)	Case Report
334	Otsuka F, Rasmussen MH, Endo T, et al	総合内科・総合診療科	Efficacy in Japanese adults with growth hormone deficiency receiving weekly somapacitan or daily growth hormone: results from phase 3 REAL 1 trial.	Front Endocrinol (Lausanne). 2025 Feb 7 ; 16:1534891. (オンライン)	Original Article
335	Masuda Y, Otsuka Y, Tokumasu K, et al	総合内科・総合診療科	Interrelationships Between Plasma Levels of Brain Natriuretic Peptide and Prolonged Symptoms Due to Long COVID.	J Clin Med. 2025 Jan 26 ; 14(3):817. (オンライン)	Original Article

336	Yamamoto K, Oguni K, Otsuka F	総合内科・総合診療科	Benign adrenal cyst: A rare type of adrenal incidentaloma.	Clin Case Rep. 2024 May 24 ; 12(6):e8914. (オンライン)	Case Report
337	Yokoyama S, Honda H, Otsuka Y, et al	総合内科・総合診療科	Importance of Blood Glucose Measurement for Predicting the Prognosis of Long COVID: A Retrospective Study in Japan.	J Clin Med. 2024 Jul 13 ; 13(14):4099. (オンライン)	Original Article
338	Yokota Y, Otsuka Y, Otsuka F	総合内科・総合診療科	What is the Definition of General Medicine and Generalists in Japan? [Letter].	Int J Gen Med. 2024 Aug 12 ; 17:3465-3466. (オンライン)	Original Article
339	Fujiwara S, Leibovitch E, Harada K, et al	総合内科・総合診療科	Trends in adverse effects of medical treatment in Paediatric populations in the United States: A global burden of disease study, 2000-2019.	Paediatr Perinat Epidemiol. 2024 Nov ; 38(8):692-699.	Original Article

340	Kato A, Tokumasu K, Yamamoto K, et al	総合内科・総合診療科	Clinical and endocrine features of orthostatic intolerance detected in patients with long COVID.	Sci Rep. 2024 Jul 24 ; 14(1):17025. (オンライン)	Original Article
341	Nahar L, Hagiya H, Gotoh K, et al	総合内科・総合診療科	New Delhi Metallo-Beta-Lactamase Inhibitors: A Systematic Scoping Review.	J Clin Med. 2024 Jul 18 ; 13(14):4199. (オンライン)	Original Article
342	Tokumasu K, Obara H, Hirosawa T, et al	総合内科・総合診療科	Postgraduate Year Two Medical Residents' Awareness of Personal Development as a Physician during the Management of Inpatients: A Qualitative Study.	Healthcare (Basel). 2024 Aug 14 ; 12(16):1621. (オンライン)	Original Article
343	Tokumasu K, Matsuki N, Fujikawa H, et al	総合内科・総合診療科	Reliability and Validity of the Japanese Version of the Fatigue Assessment Scale.	Intern Med. 2025 Mar 1 ; 64(5):658-663.	Original Article

344	Oguni K, Fukushima S, Hagiya H, et al	総合内科・総合診療科	Cryptococcal prostatitis in an immunocompromised patient with tocilizumab and glucocorticoid therapy: A case report.	J Infect Chemother. 2025 Jan ; 31(1):102494.	Case Report
345	Matsuda Y, Sakurada Y, Otsuka Y, et al	総合内科・総合診療科	Changes in Working Situations of Employed Long COVID Patients: Retrospective Study in Japanese Outpatient Clinic.	J Clin Med. 2024 Jun 28 ; 13(13):3809. (オンライン)	Original Article
346	Fukushima S, Sumida T, Kawamata O, et al	総合内科・総合診療科	Epidemiology and clinical features of patients with tick bites in the Japanese spotted fever-endemic zone.	J Infect Chemother. 2025 Feb ; 31(2):102570.	Original Article
347	Fukushima S, Saito T, Iwamoto Y, et al	総合内科・総合診療科	Trends in the growing impact of group A Streptococcus infection on public health after COVID-19 pandemic: a multicentral observational study in Okayama, Japan.	Eur J Clin Microbiol Infect Dis. 2025 Feb ; 44(2):383-391.	Original Article

348	Fukushima S, Hagiya H	総合内科・総合診療科	Odontogenic cervical intramedullary abscesses.	J Clin Neurosci. 2025 Mar ; 133:111026.	Original Article
349	Fukushima S, Hagiya H, Ban S, et al	総合内科・総合診療科	Secondary pneumothorax due to Aspergillus welwitschiae in a lung transplant recipient.	Int J Infect Dis. 2025 May ; 154:107863.	Original Article
350	Fukushima S, Hagiya H, Yunoki K, et al	総合内科・総合診療科	Iatrogenic fever of unknown origin.	Intern Emerg Med. 2025 Mar 12.	Original Article
351	Fukushima S, Hagiya H, Okura M, et al	総合内科・総合診療科	Ghost in blood culture.	Intern Emerg Med. 2025 Jan ; 20(1):313-314.	Original Article

352	Fukushima S, Hagiya H, Kuninaga N, et al	総合内科・総合診療科	Threat of MRSA bacteremia still matters: a propensity score matching analysis.	Infection. 2025 Feb ; 53(1):489-491.	Letter
353	Fukushima S, Hagiya H, Okura M, et al	総合内科・総合診療科	Rapid diagnostic testing for GAS necrotizing fasciitis.	Intern Emerg Med. 2024 Sep ; 19(6):1773-1774.	Case Report
354	Oguni K, Fukushima S, Otsuka Y, et al	総合内科・総合診療科	Disseminated septic arthritis caused by Ureaplasma urealyticum in an immunocompromised patient with hypogammaglobulinemia after rituximab therapy.	Infection. 2024 Dec ; 52(6):2495-2499.	Case Report
355	Fukushima S, Hagiya H, Kuninaga N, et al	総合内科・総合診療科	Adherence to and clinical utility of ″quality indicators″ for Staphylococcus aureus bacteremia: a retrospective, multicenter study.	Infection. 2024 Aug ; 52(4):1527-1538.	Original Article

356	Fukushima S, Otsuka Y, Hagiya H, et al	総合内科・総合診療科	Prostate abscess caused by ESBL-producing Escherichia coli successfully treated with fosfomycin monotherapy.	Int J Antimicrob Agents. 2024 Jun ; 63(6):107182.	Case Report
357	Morita S, Otsuka Y, Masuda Y, et al	総合内科・総合診療科	Crowned Dens Syndrome Triggered by Dental Treatment.	Clin Case Rep. 2025 Feb 2 ; 13(2):e70168. (オンライン)	Original Article
358	Ando W, Otsuka Y, Otsuka F	総合内科・総合診療科	A Case of Persistent Hiccups Induced by an Enlarging Hepatic Cyst Underneath the Diaphragm.	Cureus. 2024 Apr 14 ; 16(4):e58278. (オンライン)	Case Report
359	Nakashima M, Akagi T, Miki T, et al	循環器内科	Challenging case of transcatheter patent foramen ovale closure: pitfall by hidden crescent-shaped atrial septal defect.	Cardiovasc Interv Ther. 2025 Feb 10.	Original Article

360	Takaya Y, Nakagawa K, Miyoshi T, et al	循環器内科	Life-Threatening Ventricular Tachyarrhythmia in Isolated Cardiac Sarcoidosis Compared With Cardiac Sarcoidosis With Extracardiac Involvement.	Am J Cardiol. 2025 Mar 1 ; 238:65-69.	Original Article
361	Masuda T, Nakamura K, Nishii N, et al	循環器内科	Efficacy of Ivabradine in Preventing Inappropriate Shock due to Sinus Tachycardia in a Patient with Cardiac Sarcoidosis.	Int Heart J. 2024 Nov 30 ; 65(6):1167-1171.	Case Report
362	Nakashima M, Miyoshi T, Nishihara T, et al	循環器内科	Prognostic Value of Pericoronary FatA?Attenuation Index on Computed Tomography for Hospitalization forA?HeartA?Failure.	JACC Adv. 2025 Mar 27 ; 4(5):101685.	Original Article
363	Nakashima M, Akagi T, Takaya Y, et al	循環器内科	Crescent-Shaped Atrial Septal Defect: A New Clinical Entity of an Acquired Defect for TranscatheterA?Closure.	JACC Asia. 2024 Nov 12 ; 4(12):1013-1016. (オンライン)	Original Article

364	Nakashima M, Takaya Y, Ejiri K, et al	循環器内科	Hemodynamic Changes After Wire Frame Occluders vs. Metal Mesh Devices for Atrial Septal Defect.	Circ J. 2025 Mar 27.	Original Article
365	Vo QD, Nakamura K, Saito Y, et al	循環器内科	iPSC-Derived Biological Pacemaker-From Bench to Bedside.	Cells. 2024 Dec 11 ; 13(24):2045. (オンライン)	Original Article
366	Nakashima M, Toh N, Miki T, et al	循環器内科	Pathophysiology and management of adults with complex congenital heart disease after biventricular repair.	J Cardiol. 2025 Mar 20:S0914-5087(25)00085-1.	Original Article
367	Nakashima M, Toh N, Nishii N, et al	循環器内科	Incidence of systemic thromboembolism after transvenous lead implantation in patients with simple intracardiac shunts.	Heart Rhythm O2. 2024 Dec 25 ; 6(3):390-392. (オンライン)	Original Article

368	Nishihara T, Miyoshi T, Ejiri K, et al	循環器内科	Evaluating Pericoronary Adipose TissueA?Attenuation to Predict Cardiovascular Events: A Multicenter Study in East Asians.	JACC Asia. 2024 Nov 12 ; 5(1):1-11. (オンライン)	Original Article
369	Takaya Y, Nakagawa K, Miyoshi T, et al	循環器内科	Impact of High-Sensitivity Cardiac Troponin T on Clinical Outcomes in Patients With Cardiac Sarcoidosis.	Circ J. 2025 Mar 25 ; 89(4):442-449.	Original Article
370	Vo QD, Saito Y, Ida T, et al	循環器内科	The use of artificial intelligence in induced pluripotent stem cell-based technology over 10-year period: A systematic scoping review.	PLoS One. 2024 May 21 ; 19(5):e0302537. (オンライン)	Original Article
371	Nishihara T, Miyoshi T, Nakashima M, et al	循環器内科	Prognostic value of metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease over coronary computed tomography angiography findings: comparison with no-alcoholic fatty liver disease.	Cardiovasc Diabetol. 2024 May 10 ; 23(1):167. (オンライン)	Original Article

372	Nishihara T, Takaya Y, Toh N, et al	循環器内科	Severe traumatic tricuspid regurgitation detected 8A?years after chest trauma.	J Med Ultrason (2001). 2024 Jul ; 51(3):525-526.	Case Report
373	Iwasaki K, Nakamura K, Akagi S, et al	循環器内科	Prognostic Implications of Insulin Resistance in Heart Failure in Japan.	Nutrients. 2024 Jun 14 ; 16(12):1888. (オンライン)	Original Article
374	Nishii N, Sakata Y, Murohara T, et al	循環器内科	Prediction of heart failure events based on physiologic sensor data in HINODE defibrillator patients.	ESC Heart Fail. 2024 Oct ; 11(5):3322-3331.	Original Article
375	Nakashima M, Takaya Y, Nakayama R, et al	循環器内科	Morphological Features of Patent Foramen Ovale Compared Between Older and Young Patients With Cryptogenic Ischemic Stroke.	Circ J. 2024 Aug 23 ; 88(9):1398-1405.	Original Article

376	Nakashima M, Akagi T, Miki T, et al	循環器内科	Fenestrated GOREAR CARDIOFORM ASD occluder for transcatheter atrial septal defect closure in a geriatric patient.	J Cardiol Cases. 2024 Apr 26 ; 30(2):31-34. (オンライン)	Case Report
377	Iwasaki K, Miyoshi T, Urabe C, et al	循環器内科	Impact of Serum Indoxyl Sulfate on One-Year Adverse Events in Chronic Kidney Disease Patients with Heart Failure.	J Clin Med. 2024 Jul 26 ; 13(15):4384. (オンライン)	Original Article
378	Takaya Y, Nakagawa K, Miyoshi T, et al	循環器内科	Impact of extracardiac sarcoidosis on clinical outcomes in patients with cardiac sarcoidosis: Importance of continued screening for cardiac involvement.	Int J Cardiol. 2024 Oct 15 ; 413:132368.	Original Article
379	Nishihara T, Takaya Y, Nakayama R, et al	循環器内科	Prognostic value of right atrial function in patients with significant tricuspid regurgitation.	ESC Heart Fail. 2024 Dec ; 11(6):4019-4027.	Original Article

380	Nakamura K, Akagi S, Ejiri K, et al	循環器内科	Pathophysiology of Group 3 Pulmonary Hypertension Associated with Lung Diseases and/or Hypoxia.	Int J Mol Sci. 2025 Jan 20 ; 26(2):835. (オンライン)	Original Article
381	Horio N, Shimizu S, Kotani Y, et al	心臓血管外科	Evaluation of the effects of fenestration in Fontan circulation using a lumped parameter model.	J Physiol Sci. 2024 Dec 21 ; 74(1):58. (オンライン)	Original Article
382	Kasahara S, Yoshimura Y, Ichikawa H, et al	心臓血管外科	Early Clinical Results for a New Self-Organizing Hybrid Fabric in Congenital Cardiac Surgery.	Ann Thorac Surg Short Rep. 2024 May 10 ; 2(4):804-809. (オンライン)	Original Article
383	Hayashida T, Kuroko Y, Shimizu S, et al	心臓血管外科	Effects of dapagliflozin on myoglobin efflux from cardiomyocyte during myocardial ischemia/reperfusion in anesthetized rats.	Sci Rep. 2024 Jul 16 ; 14(1):16337. (オンライン)	Original Article

384	Fukui Y, Morihara R, Hu X, et al	脳神経内科	Suppression of PTBP1 in hippocampal astrocytes promotes neurogenesis and ameliorates recognition memory in mice with cerebral ischemia.	Sci Rep. 2024 Sep 3 ; 14(1):20521. (オンライン)	Original Article
385	Bian Y, Fukui Y, Ota-Elliott RS, et al	脳神経内科	The potential mechanism maintaining transactive response DNA binding protein 43a‾kDa in the mouse stroke model.	Neurosci Res. 2025 Apr ; 213:128-137.	Original Article
386	Ishiura H	脳神経内科	Recent progress in oculopharyngodistal myopathy research from clinical and genetic viewpoints.	J Neuromuscul Dis. 2025 Mar 3:22143602251319164.	Review
387	Fukui Y, Tadokoro K, Hamada M, et al	脳神経内科	A Novel Peptidome Technology for the Diagnosis of Mild Cognitive Impairment and Alzheimer's Disease by Selected Reaction Monitoring.	J Alzheimers Dis. 2024 ; 100(1):219-228.	Original Article

388	Hongo T, Naito H, Yumoto T, et al	救命救急科	Reply to: The gray-white matter ratio in adult out-of-hospital cardiac arrest patients must be assessed comprehensively.	Resuscitation. 2024 Oct ; 203:110383.	Letter
389	Miyoshi Y, Yumoto T, Kosaki Y, et al	救命救急科	Management of Obesity Hypoventilation Syndrome in Extreme Obesity: A Case Study.	Am J Case Rep. 2024 Oct 2 ; 25:e945112. (オンライン)	Case Report
390	Hiraoka T, Obara T, Matsumoto N, et al	救命救急科	A nationwide longitudinal survey of infantile injury and its recurrence in Japan.	Sci Rep. 2024 Oct 21 ; 14(1):24716. (オンライン)	Original Article
391	Hongo T, Yumoto T, Liu K, et al	救命救急科	Prevalence and Management of Oral Intake Restrictions in Critically Ill Patients: Insights from a Multicenter Point Prevalence Study.	Dysphagia. 2024 Oct 21.	Original Article

392	Yumoto T, Coopersmith CM	救命救急科	Targeting AMP-activated protein kinase in sepsis.	Front Endocrinol (Lausanne). 2024 Oct 14 ; 15:1452993. (オンライン)	Original Article
393	Matsuo I, Yumoto T, Tsuji A, et al	救命救急科	Undetermined Ruptured Low-Grade Appendiceal Mucinous Neoplasm Following High-Energy Blunt Abdominal Trauma Requiring Emergency Laparotomy.	Clin Case Rep. 2025 Jan 2 ; 13(1):e70071. (オンライン)	Original Article
394	Suga M, Nishimura T, Ochi T, et al	救命救急科	Association between metabolic acidosis and post-intubation hypotension in airway management performed in the emergency department.	Heliyon. 2024 Nov 21 ; 10(23):e40224. (オンライン)	Original Article
395	Nojima T, Obara T, Hongo T, et al	救命救急科	Differences in the Usability of Fully Automated External Defibrillators between Medical and Nonmedical Professionals.	Intern Med. 2024 Dec 5.	Original Article

396	Hongo T, Yumoto T, Jinno S, et al	救命救急科	Prevalence, characteristics, and outcomes of suicide-related out-of-hospital cardiac arrest among patients committing self-harm and suicide-attempts in Japan: A nationwide registry study.	Resusc Plus. 2025 Mar 4 ; 22:100923. (オンライン)	Original Article
397	Hongo T, Yumoto T, Naito H, et al	救命救急科	Association of blood carboxyhemoglobin levels with mortality and neurological outcomes in out-of-hospital cardiac arrest.	Acute Med Surg. 2025 Mar 23 ; 12(1):e70053. (オンライン)	Original Article
398	Inaba M, Hagihara A, Nagata T	救命救急科	Effective Utilization of Medical Containers in Disaster Response: Insights from the 2024 Noto Peninsula Earthquake.	Disaster Med Public Health Prep. 2025 Mar 14 ; 19:e56. (オンライン)	Original Article
399	Yumoto T, Obara T, Hongo T, et al	救命救急科	Age-specific assessment of initial hemoglobin levels and shock index for predicting life-saving interventions in pediatric blunt liver and spleen injuries.	Sci Rep. 2025 Mar 12 ; 15(1):8502. (オンライン)	Original Article

400	Nakamura S, Iida A, Tsukahara K, et al	救命救急科	Successful Diagnosis of Neuroleptic Malignant Syndrome in an Unconscious Patient Using Amplitude-Integrated Electroencephalography: A Case Report.	Cureus. 2024 Jun 7 ; 16(6):e61927. (オンライン)	Case Report
401	Nakamura S, Nojima T, Obara T, et al	救命救急科	Impact of sex of bystanders who perform cardiopulmonary resuscitation on return of spontaneous circulation in out-of-hospital cardiac arrest patients: A retrospective, observational study.	Resusc Plus. 2024 May 14 ; 18:100659. (オンライン)	Original Article
402	Yumoto T, Tsukahara K, Obara T, et al	救命救急科	Organ donation after extracorporeal cardiopulmonary resuscitation: a nationwide retrospective cohort study.	Crit Care. 2024 May 13 ; 28(1):160. (オンライン)	Original Article
403	Yumoto T, Hongo T, Obara T, et al	救命救急科	Evolution and Effects of Ad Hoc Multidisciplinary Team Meetings in the Emergency Intensive Care Unit: A Five-Year Analysis.	J Clin Med. 2024 Jul 24 ; 13(15):4324. (オンライン)	Original Article

404	Obara T, Yumoto T, Bunya N, et al	救命救急科	Association between signs of life and survival in traumatic cardiac arrest patients: A nationwide, retrospective cohort study.	Resusc Plus. 2024 Jun 28 ; 19:100701. (オンライン)	Original Article
405	Hongo T, Naito H, Nasu M, et al	救命救急科	Prognostic performance of gray-white matter ratio in adult out-of-hospital cardiac arrest patients after receiving extracorporeal cardiopulmonary resuscitation.	Resuscitation. 2024 Oct ; 203:110351.	Original Article
406	Murakami Y, Hongo T, Yumoto T, et al	救命救急科	Prognostic value of grey-white matter ratio obtained within two hours after return of spontaneous circulation in out-of-hospital cardiac arrest survivors: A multicenter, observational study.	Resusc Plus. 2024 Aug 15 ; 19:100746. (オンライン)	Original Article
407	Hashimoto S, Sugiyama A, Ota T, et al	形成外科	Development of a unique tissue-engineered inA?vitro vascular modelA?withA?endothelial layer-inverted vascular tissue structure usingA?aA?cellA?self-aggregation technique.	J Biosci Bioeng. 2025 Mar ; 139(3):226-233.	Original Article

408	Futagawa M, Okazaki T, Nakata E, et al	臨床遺伝子診療科	Genotypes and phenotypes of neurofibromatosis type 1 patients in Japan: A Hereditary Tumor Cohort Study.	Hum Genome Var. 2024 Nov 26 ; 11(1):42. (オンライン)	Original Article
409	Mino T, Kimura-Ono A, Arakawa H, et al	歯科口腔インプラント科部門	A novel brief questionnaire using a face rating scale to assess dental anxiety and fear.	J Adv Prosthodont. 2024 Aug ; 16(4):244-254.	Original Article
410	Do HT, Ono M, Wang Z, et al	歯科口腔インプラント科部門	Inverse genetics tracing the differentiation pathway of human chondrocytes.	Osteoarthritis Cartilage. 2024 Nov ; 32(11):1419-1432.	Original Article
411	Mun AY, Akiyama K, Wang Z, et al	歯科口腔インプラント科部門	Macrophages modulate mesenchymal stem cell function via tumor necrosis factor alpha in tooth extraction model.	JBMR Plus. 2024 Jul 4 ; 8(8):ziae085. (オンライン)	Original Article

412	Dang AT, Ono M, Wang Z, et al	歯科口腔インプラント科部門	Local E-rhBMP-2/I2-TCP Application Rescues Osteocyte Dendritic Integrity and Reduces Microstructural Damage in Alveolar Bone Post-Extraction in MRONJ-like Mouse Model.	Int J Mol Sci. 2024 Jun 17 ; 25(12):6648. (オンライン)	Original Article
413	Manda Y, Kodama N, Mori K, et al	歯科補綴歯科部門	Basic characteristics of tongue pressure and electromyography generated by articulation of a syllable using the posterior part of the tongue.	Sci Rep. 2024 Sep 5 ; 14(1):20756. (オンライン)	Original Article
414	Ichikawa-Kato T, Hara T, Yamada-Kubota C, et al	歯科補綴歯科部門	Effects of intracerebral noradrenaline on cognitive decline associated with the loss of occlusal support.	J Prosthodont Res. 2025 Apr 14 ; 69(2):243-248.	Original Article
415	Kono K, Murakami T, Tanizaki S, et al	矯正歯科	Comprehensive clinical evaluation of indirect and direct bonding techniques in orthodontic treatment: a single-centre, open-label, quasi-randomized controlled clinical trial.	Eur J Orthod. 2024 Dec 1 ; 46(6):cjae036.	Original Article

416	Habumugisha J, Ida S, Nakamura M, et al	矯正歯科	Clinical Prediction Models for Upper Airway Volume Based on Soft Palate and Airway Lumen Dimensions in Adults With Varying Vertical Skeletal Patterns.	Int Dent J. 2025 Apr ; 75(2):1319-1326.	Original Article
417	Kanemoto H, Obata K, Kadoya K, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	A Rare Case of Multiple Myeloma Identified Following the Diagnosis of Amyloidosis of the Tongue.	Case Rep Dent. 2024 Oct 28 ; 2024:8836103. (オンライン)	Case Report
418	Iwata E, Susukida Y, Kusumoto J, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	Treatment Behaviors of Patients With Odontogenic Infections During the COVID-19 Pandemic.	Cureus. 2025 Mar 29 ; 17(3):e81414. (オンライン)	Original Article
419	Aoki K, Yoshitani N, Kurio N, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	Angiogenin-induced Osteoclastogenesis Mediates Bone Destruction in Oral Squamous Carcinoma.	Anticancer Res. 2025 Mar ; 45(3):1025-1033.	Original Article

420	Obata K, Kanemoto H, Umemori K, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	Does the anatomy around the pterygomaxillary suture contribute to the risk of bad fractures in Le Fort I osteotomy?	J Craniomaxillofac Surg. 2024 Nov ; 52(11):1193-1198.	Original Article
421	Ono K, Nishioka T, Obata K, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	Lingual nerve revisited-A comprehensive review Part II: Surgery and radiology.	Clin Anat. 2024 Aug 9.	Original Article
422	Amano K, Nishizawa C, Maeda Y, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	The Endoscopic Removal of a Detached Dental Implant Cap in the Maxillary Sinus During the Waiting Period: A Case Report.	Cureus. 2024 Jun 26 ; 16(6):e63243. (オンライン)	Case Report
423	Hirose T, Kunisada Y, Kadoya K, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	Terrein Exhibits Anti-tumor Activity by Suppressing Angiogenin Expression in Malignant Melanoma Cells.	Cancer Genomics Proteomics. 2024 Sep-Oct ; 21(5):464-473.	Original Article

424	Mikami A, Huang H, Hyodo A, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	The role of GABA in modulation of taste signaling within the taste bud.	Pflugers Arch. 2024 Nov ; 476(11):1761–1775.	Original Article
425	Kunisada Y, Yoshioka N, Obata K, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	Spontaneous Eruption of Permanent Teeth That Had Eruption Disturbances After Extirpation of Odontomas: A Report of Two Cases.	Cureus. 2024 May 31 ; 16(5):e61460. (オンライン)	Case Report
426	Hyodo A, Mikami A, Horie K, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	Salivary buffering capacity is correlated with umami but not sour taste sensitivity in healthy adult Japanese subjects.	Arch Oral Biol. 2024 Sep ; 165:106013.	Original Article
427	Yoshida S, Kuroda M, Nakamura Y, et al	歯科歯科放射線科部門	Improving Diagnostic Performance for Head and Neck Tumors with Simple Diffusion Kurtosis Imaging and Machine Learning Bi-Parameter Analysis.	Diagnostics (Basel). 2025 Mar 20 ; 15(6):790. (オンライン)	Original Article

428	Al-Hammad WE, Kuroda M, Al Jamal G, et al	歯科歯科放射線科部門	Robustness of Machine Learning Predictions for Determining Whether Deep Inspiration Breath-Hold Is Required in Breast Cancer Radiation Therapy.	Diagnostics (Basel). 2025 Mar 10 ; 15(6):668. (オンライン)	Original Article
429	Yoshida S, Takeshita Y, Kawazu T, et al	歯科歯科放射線科部門	Central dentinogenic ghost cell tumor of the maxilla: a case report with new imaging findings and review of the literature.	Oral Radiol. 2024 Oct ; 40(4):561-568.	Case Report
430	Takeshita Y, Iwanaga J, Ohyama Y, et al	歯科歯科放射線科部門	Radiological assessment of the dissection area in supraomohyoid neck dissection.	Surg Radiol Anat. 2024 Oct ; 46(10):1643-1652.	Original Article
431	Yokoi A, Maruyama T, Yamanaka R, et al	歯科予防歯科部門	Relationship among cancer treatment, quality of life, and oral function in head and neck cancer survivors: A cross-sectional study.	Support Care Cancer. 2024 Nov 20 ; 32(12):809. (オンライン)	Original Article

432	Miyai H, Tomofuji T, Mizuno H, et al	歯科予防歯科部門	Effects of Trehalose on Halitosis: A Randomized Cross-Over Clinical Trial.	Healthcare (Basel). 2025 Mar 13 ; 13(6):619. (オンライン)	Original Article
433	Maruyama T, Takayama E, Tokuno S, et al	歯科予防歯科部門	Efficacy of Oral Intake of Hydrogen-Rich Jelly Intake on Gingival Inflammation: A Double-Blind, Placebo-Controlled and Exploratory Randomized Clinical Trial.	Healthcare (Basel). 2025 Mar 6 ; 13(5):577. (オンライン)	Original Article
434	Maruyama T, Ekuni D, Yokoi A, et al	歯科予防歯科部門	Effect of Antimicrobial Photodynamic Therapy on the Tongue Dorsum on Reducing Halitosis and the Duration of the Effect: A Randomized Clinical Trial.	Healthcare (Basel). 2024 May 9 ; 12(10):980. (オンライン)	Original Article
435	Naka S, Matsuoka D, Misaki T, et al	小児歯科	Contribution of collagen-binding protein Cnm of Streptococcus mutans to induced IgA nephropathy-like nephritis in rats.	Commun Biol. 2024 Sep 14 ; 7(1):1141. (オンライン)	Original Article

436	Yoshida S, Inaba H, Nomura R, et al	小児歯科	Role of fimbriae variations in Porphyromonas gulae biofilm formation.	J Oral Biosci. 2024 Dec ; 66(4):28-33.	Original Article
437	Okawa Y, Ushio S, Izushi Y, et al	薬剤部	Ameliorating effect of chotosan and its active component, Uncaria hook, on lipopolysaccharide-induced anxiety-like behavior in mice.	Front Pharmacol. 2024 Sep 4 ; 15:1471602. (オンライン)	Original Article
438	Wada Y, Ushio S, Kitamura Y, et al	薬剤部	Effect of Lipopolysaccharide on the Duration of Zolpidem-Induced Loss of Righting Reflex in Mice.	Acta Med Okayama. 2024 Jun ; 78(3):227-235.	Original Article
439	Igawa Y, Hamano H, Esumi S, et al	薬剤部	Cardiovascular toxicity risk assessment of tyrosine kinase inhibitors: a pharmacovigilance study using the VigiBase database.	Front Pharmacol. 2024 Dec 2 ; 15:1472008. (オンライン)	Original Article

440	Miura T, Kawasaki Y, Hamano H, et al	薬剤部	Photoinitiators Induce Histamine Production in Human Mast Cells.	Acta Med Okayama. 2025 Feb ; 79(1):51-58.	Original Article
441	Masada Y, Tetsunaga T, Yamada K, et al	整形外科	Mid-term Clinical and Radiographic Outcomes of the Actis Total Hip System: A Retrospective Study.	Cureus. 2025 Jan 18 ; 17(1):e77632. (オンライン)	Original Article
442	Kunisada T, Nakata E, Fujiwara T, et al	整形外科	Clinical Application of Unidirectional Porous Hydroxyapatite to Bone Tumor Surgery and Other Orthopedic Surgery.	Biomimetics (Basel). 2024 May 15 ; 9(5):294. (オンライン)	Original Article
443	Morita H, Asada S, Ueoka A, et al	循環器内科	Risk stratification for the occurrence of ventricular fibrillation in patients with early repolarization syndrome.	Heart Rhythm. 2024 Oct ; 21(10):1787-1794.	Original Article

444	Nishii N, Baba K, Morooka K, et al	循環器内科	Artificial intelligence to detect noise events in remote monitoring data.	J Arrhythm. 2024 Apr 11 ; 40(3):560-577. (オンライン)	Original Article
445	Morita H, Asada S, Nagase S, et al	循環器内科	Late gadolinium enhancement in early repolarization syndrome.	Heart Rhythm. 2025 Mar ; 22(3):767-775.	Original Article
446	Uchida HA, Nakaoka Y, Sugihara T, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Clinical Characteristics and Treatment Outcomes of Patients With Newly Diagnosed Takayasu Arteritis in Japan During the First 2 Years of Treatmenta- A Nationwide Retrospective Cohort Study.	Circ J. 2025 Apr 25 ; 89(5):612-619.	Original Article
447	Miyahara H, Shigeyasu Y, Fujii C, et al	小児科	Assessment of the renal function of patients with anorexia nervosa.	Biopsychosoc Med. 2024 Sep 29 ; 18(1):19. (オンライン)	Original Article

448	Hasei J, Nakahara R, Otsuka Y, et al	整形外科	The Three-Class Annotation Method Improves the AI Detection of Early-Stage Osteosarcoma on Plain Radiographs: A Novel Approach for Rare Cancer Diagnosis.	Cancers (Basel). 2024 Dec 25 ; 17(1):29. (オンライン)	Original Article
449	Hasei J, Hanzawa M, Nagano A, et al	整形外科	Empowering pediatric, adolescent, and young adult patients with cancer utilizing generative AI chatbots to reduce psychological burden and enhance treatment engagement: a pilot study.	Front Digit Health. 2025 Feb 25 ; 7:1543543. (オンライン)	Original Article
450	Hasei J, Ishida H, Katayama H, et al	整形外科	Utilizing the Metaverse to Provide Innovative Psychosocial Support for Pediatric, Adolescent, and Young Adult Patients with Rare Cancer.	Cancers (Basel). 2024 Jul 23 ; 16(15):2617. (オンライン)	Original Article
451	Hasei J, Nakahara R, Otsuka Y, et al	整形外科	High-quality expert annotations enhance artificial intelligence model accuracy for osteosarcoma X-ray diagnosis.	Cancer Sci. 2024 Nov ; 115(11):3695-3704.	Original Article

452	Ono S, Masui M, Obata K, et al	病理診断科	A Case of an Oral Elastofibromatous Lesion: A Clinicopathological Analysis With a Literature Review.	Case Rep Dent. 2025 Jan 11 ; 2025:5556176. (オンライン)	Case Report
453	Ono S, Hirose K, Sukegawa S, et al	病理診断科	Squamous cell carcinoma initially occurring on the tongue dorsum: a case series report with molecular analysis.	Diagn Pathol. 2024 Apr 22 ; 19(1):63. (オンライン)	Case Report
454	Ota Y, Gao T, Fujisawa M, et al	病理診断科	Expression of SPRED2 in the lung adenocarcinoma.	Pathol Res Pract. 2025 Jan ; 265:155721.	Original Article
455	Swe HW, Fujisawa M, Ohara T, et al	病理診断科	The specific shapes of capillaries are associated with worse prognosis in patients with invasive breast cancer.	Pathol Int. 2024 Jul ; 74(7):394-407.	Original Article

456	Wang T, Gao T, Fujisawa M, et al	病理診断科	SPRED2 Is a Novel Regulator of Autophagy in Hepatocellular Carcinoma Cells and Normal Hepatocytes.	Int J Mol Sci. 2024 Jun 6 ; 25(11):6269. (オンライン)	Original Article
457	Wang Y, Moh-Moh-Aung A, Wang T, et al	病理診断科	Exosomal delivery of miR-200b-3p suppresses the growth of hepatocellular carcinoma cells by targeting ERG- and VEGF-mediated angiogenesis.	Gene. 2024 Dec 30 ; 931:148874.	Original Article
458	Matsumori H, Dinh TQ, Miyoshi SI, et al	感染症内科	The antimalarial activity of transdermal N-89 mediated by inhibiting ERC gene expression in P. Berghei-infected mice.	Parasitol Int. 2025 Jun ; 106:103026.	Original Article
459	Okada R, Onishi Y, Kobayashi N, et al	腎臓・糖尿病・内分泌内科	Case series showing the safety and changes in lipid profiles of hemodialysis patients with hypertriglyceridemia after pemafibrate administration	RENAL REPLACE THER.2024 DEC:10(1):7	Original Article

460	Watanabe T, Araki M, Sadahira T	泌尿器科	The durability of filter cap for OT-Balloon catheter, a novel urethral catheter for intermittent balloon catheterization	CONTINENCE REP.2024 JUN:10:7	Original Article
461	Somoto M, Oki K, Matsuda Y, et al	歯科補綴歯科部門	Effect of mental arithmetic stress on periodontal sensation in the upper molar and tactile sensation in the cheek	ORAL SCI INT.2024 APR:21(3):11	Original Article
462	Kato S, Amano K, Moritani N, et al	口腔外科顎口腔再建外科部門	A case of epidermoid cyst considered as originated from the abdominal skin tissue inserted into the temporomandibular joint 52 years ago	J ORAL MAX SURG MED.2024 MAY:36(3):5	Original Article
463	Kadoya K, Yagihara K, Ishii J, et al	口腔外科口腔顎顔面外科部門	A prediction of late cervical lymph node metastasis by ultrasound images of tongue cancer using deep learning method	J ORAL MAX SURG MED.2024 MAY:36(3):5	Original Article

464	Kadoya K, Yagihara K, Katsurano M, et al	口腔外科口腔顎顔面外科部門	Prognosis in elderly head and neck cancer patients without indication for treatment	ORAL SCI INT.2024 SEP:22(1):6	Original Article
465	Yoshida E, Goto K, Matsuoka D, et al	小児歯科	Eruption cyst caused by congenital tooth in low birth weight infant	PEDIATR DENT J.2024 APR:34(1):4	Original Article
466	Ono S, Hirose K, Hirata Y, et al	病理診断科	Primary salivary gland squamous cell carcinoma with sialolithiasis in the submandibular gland: A case report and literature review	J ORAL MAX SURG MED.2024 SEP:36(5):5	Review
467	Asahara T, Hayashi H, Maeda T, et al	放射線部	Evaluation of lower detection limit and performance analyses related to the incident angle of X-rays and absolute dose using a triple-type dosimeter	RADIAT MEAS.2024 JUL:175:9	Original Article

468	Yoshida S, Kawai H, Soe Y, et al	Dental Comprehensive Diagnosis Room	Efficacy of Cisplatin-CXCR4 Antagonist Combination Therapy in Oral Cancer.	Cancers (Basel). 2024 Jun 25 ; 16(13):2326. (オンライン)	Original Article
469	Asahara T, Okada S, Hayashi H, et al	医療技術部　放射線部門	Helpfulness of effective atomic number image in forensic dental identification: Photon-counting computed tomography is suitable.	Comput Biol Med. 2025 Jan ; 184:109333.	Original Article
470	Tetsunaga T, Tetsunaga T, Yamada K, et al	Department of Musculoskeletal Health Promotion, Faculty of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama University	Accuracy of Cup Alignment in Total Hip Arthroplasty: A Comparison Between Portable Navigation and Goniometer.	Cureus. 2024 Nov 21 ; 16(11):e74176. (オンライン)	Original Article
471	Takamori S, Endo M, Hamada A, et al	消化管外科	Prognostic Analysis of Pathological Stage I Lung Adenocarcinoma Harboring Major EGFR Mutations.	Clin Lung Cancer. 2025 May ; 26(3):e172-e180.e5.	Original Article

472	Haruyoshi Katayama	整形外科	Role of catecholamine synthases in the maintenance of cancer stem-like cells in malignant peripheral nerve sheath tumors	Cancer Sci. 2024 Mar ; 115(3):871-882	Original Article
473	Kitamura W, Urata T, Fujii K, Fukumi T, Ikeuchi K, Seike K, Fujiwara H, Asada N, Ennishi D, Matsuoka KI, Otsuka F, Maeda Y, Fujii N.	血液・腫瘍内科	Collection efficiency and safety of large-volume leukapheresis for the manufacturing of tisagenlecleucel	Transfusion?2024 Apr ; 64(4):674-684	Original Article
474	Yuki Okazaki	整形外科	Establishment of a Posttraumatic Osteoarthritis Model in Mice Induced by Noninvasive Anterior Cruciate Ligament Tear	Am J Sports Med. 2024 Jul ; 52(8):2008-2020	Original Article
475	Hayashino K, Seike K, Fujiwara K, Kondo K, Matsubara C, Terao T, Kitamura W, Kamoi C, Fujiwara H, Asada N, Nishimori H, Ennishi D, Fujii K, Fujii N, Matsuoka KI, Maeda Y.	血液・腫瘍内科	Chimeric antigen receptor T-cell therapy after COVID-19 in refractory high-grade B-cell lymphoma	Int J Hematol2024 Apr ; 119(4):459-464	Case Report

476	Masanori Tamura	整形外科	Superior outcomes of pullout repairs for medial meniscus posterior root tears in partial tear compared to complete radial tear	Knee Surg Relat Res. 2024 Feb 8 ; 36(1):8	Original Article
477	Kondo T, Ohara K, Yoshida S, Kojima K.	血液・腫瘍内科	Development of disseminated intravascular coagulation in asymptomatic leukemic non-nodal mantle cell lymphoma	Ann Hematol2024 Aug ; 103(8):3273-3275	Case Report
478	Koji Uotani	整形外科	Fluorescence-guided assessment of bone and soft-tissue sarcomas for predicting the efficacy of telomerase-specific oncolytic adenovirus	PLoS One. 2024 Feb 20 ; 19(2):e0298292	Original Article
479	Kitamura W, Kuratsune M, Iseki A, Kuyama S.	血液・腫瘍内科	ANCA-associated vasculitis with isolated splenomegaly as the initial organ presentation	Rheumatol Adv Pract2024 Mar 27 ; 8(2):rkae045	Case Report

480	Kensuke Shinohara	整形外科	Intrawound Vancomycin Powder Reduces Delayed Deep Surgical Site Infections Following Posterior Spinal Fusion for Adolescent Idiopathic Scoliosis	Spine (Phila Pa 1976). 2024 Nov 15 ; 49(22):1577-1582	Original Article
481	Masanori Tamura	整形外科	Initial tension at suture fixation affects the suture breakage following medial meniscus posterior root repair: A retrospective cohort study	J ISAKOS. 2024 Jun ; 9(3):258-26	Original Article
482	Kobayashi H, Chijimatsu R, Naoi Y, Otani Y, Mizuta R, Fujii K, Ishida J, Murakami H, Ujiie H, Ikeuchi K, Urata T, Seike K, Fujiwara H, Asada N, Fujii N, Matsuoka KI, Sato Y	血液・腫瘍内科	Single-cell and spatial characterization of plasmablast-like lymphoma cells in primary central nervous system lymphoma	Blodd Neoplasia2024 Nov 15 ; 2(1):100058	Original Article
483	Eiji Nakata	Department of Advanced Rehabilitation Medicine for the Musculoskeletal System	Changes in Spinal Instability After Conventional Radiotherapy for Painful Vertebral Bone Metastases	Cancer Control. 2024 Jan-Dec:31:10732748241250219	Original Article

484	Katayama H, Tabata M, Kamei H, Mimura Y, Maeda Y.	呼吸器・アレルギー内科	Relationship Between Corticosteroid Administration and Survival Period in Terminal Cancer Patients.	J Palliat Care2024 Jul ; 39(3):238-243	Original Article
485	Haruyoshi Katayama	整形外科	Effect of hardware removal and second-look arthroscopy after open-wedge high tibial osteotomy	Arch Orthop Trauma Surg. 2024 Jan ; 144(1):73-79	Original Article
486	Keiichiro Nishida	整形外科	Influence of Janus kinase inhibitors on early postoperative complications in patients with rheumatoid arthritis undergoing orthopaedic surgeries	Mod Rheumatol. 2024 Mar 28 ; 34(3):466-473	Original Article
487	Koki Kawada	整形外科	Longitudinal changes in medial knee joint space narrowing after medial meniscus posterior root repair: A 2-year follow-up study	Knee. 2024 Mar:47:92-101	Original Article

488	Koki Kawada	整形外科	Signal intensity of repaired posterior roots after transtibial pullout repair for medial meniscus posterior root tears in stable knees: Magnetic resonance imaging evaluations at 3 years postoperatively	Knee. 2024 Jun:48:22-29	Original Article
489	Koki Kawada	整形外科	Longitudinal changes in medial meniscus extrusion and clinical outcomes following pullout repair for medial meniscus posterior root tears: a 3-year evaluation	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2024 May ; 34(4):2021-2029	Original Article
490	Masanori Tamura	整形外科	Assessing the Frequency and Effectiveness of Various Arthroscopic Treatments in the Management of Symptomatic Isolated Medial Meniscus Injuries Including Medial Meniscus Posterior Root Tear: A Retrospective Observational Cohort Study	Acta Med Okayama. 2024 Feb ; 78(1):21-27.	Original Article
491	Bekku K., Schmidinger M., Katayama S., et.al	泌尿器科	Discontinuation of immune-oncology combinations due to immune-related adverse events in patients with advanced renal cancers	Anticancer Res,44(1):379-386,20240100	Original Article

492	Katayama S., Iwata T., Kawada T., et.al	泌尿器科	Prognostic impact of radiological tumor burden in patients with metastatic urothelial carcinoma treated with pembrolizumab	Urol Oncol,42(3):70.e11-70.e18.20240300	Original Article
493	Kawada T., Kobayashi Y., Tsugawaa T., et.al	泌尿器科	Clinical outcomes of neoadjuvant paclitaxel/cisplatin/gemcitabine compared with gemcitabine/cisplatin for muscle-invacive bladder cancer	Acta Med Okayama.79(2).81-92.20250400	Original Article
494	Mitsui M., Sekito T., Maruhashi M.,et.al	泌尿器科	Distribution of fimbrial genes and their association with virulence and levofloxacin resistance/extended-spectrum beta-lactamase production in uropathogenic escherichia coli	Antibiotics (Basel).14(5).	Original Article
495	Matoba R, Kanzaki Y, Morita T, et al	眼科	INVESTIGATION OF THE PATHOPHYSIOLOGY OF EPIRETINAL MEMBRANE FOVEOSCHISIS: Analysis of Longitudinal Changes in Visual Functions, Retinal Structures, and Retinal Traction Force	Retina. 2024 Nov 1 ; 44(11):1992-2000.	Original Article

496	Matoba R, Kanzaki Y, Morita T, et al	眼科	Microperimetry-guided inverted internal limiting membrane flap site selection to preserve retinal sensitivity in macular hole with glaucoma	Am J Ophthalmol Case Rep.?2024 Feb 9:33:102007.	Case Report
497	Makihara S, Otani Y, Uraguchi K, Shimizu A, Murai A, Higaki T, Akisada N, Fujimoto S, Makino T, Ishida J, Fujii K, Yasuhara T, Ota T, Matsumoto H, Ando M.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Combined simultaneous endoscopic endonasal and transcranial surgery using high-definition three-dimensional exoscope for malignant tumors of the anterior skull base.	Head Neck 2024 ; 46:1074-1082	Original Article
498	Uraguchi K, Matsumoto N, Mitsuhashi T, Soshi T, Makihara S, Ando M, Yorifuji T.	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	Association between clinical remission of infantile-onset allergic rhinitis during the school-age period and the type of housing: A longitudinal population-based Japanese study.	J Pediatric Health Care 2024 ; 38:629-636	Original Article
499	Makino T, Sato Y, Uraguchi K, Naoi Y, Fukuda Y, Ando M.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Near-infrared photoimmunotherapy for salivary duct carcinoma.	Auris Nasus Larynx 2024 ; 51:323-327.	Case Report

500	Higaki F	放射線科	Photon-Counting Detector CT: Potential for 75% Reduction in Contrast Medium Amount: A Phantom Study.	Acta Med Okayama. 2024 Apr ; 78(2):135-142.	Original Article
501	Munetomo K	放射線科	Depiction rate of feeding arteries of renal cell carcinoma on four-dimensional computed tomography angiography.	Jpn J Radiol. 2024 Jun ; 42(6):648-655.	Original Article
502	Umakoshi N	放射線科	Evaluation of the need for preoperative short hookwire placement for small pulmonary lesions.	Jpn J Radiol. 2025 May 29.	Original Article
503	Shinnosuke Fukushima, Hideharu Hagiya, Hiroyuki Honda, Tomoharu Ishida, Ryohei Shoji, Kou Hasegawa & Fumio Otsuka	感染症内科	Calcium polystyrene sulfonate-induced rectal ulcer causing E. coli native-valve infective endocarditis	Clinical Journal of Gastroenterology (2024) 17:472?476	CASE REPORT

504	Kazuki Tokumasu, Puthiery Va, Haruo Obara, Lisa Rucker	総合内科・総合診療科	What medical students and residents learned from reflection through patients' perspectives: a qualitative study	Int J Med Educ. 2024 Dec 5:15:150-158.	Original Article
505	Shintaro Fujiwara, Ko Harada, Hideharu Hagiya, Toshihiro Koyama, Kosei Hasegawa, Hirokazu Tsukahara, Fumio Otsuka	総合内科・総合診療科	Trends in childhood obesity in Japan: A nationwide observational study from 2012 to 2021	Clin Obes. 2024 Apr ; 14(2):e12636.	Original Article
506	Yasue Sakurada, Yui Matsuda, Kanon Motohashi, Toru Hasegawa, Yuki Otsuka, Yasuhiro Nakan, Kazuki Tokumasu, Koichiro Yamamoto, Naruhiko Sunada	総合内科・総合診療科	Clinical characteristics of female long COVID patients with menstrual symptoms: a retrospective study from a Japanese outpatient clinic	J Psychosom Obstet Gynaecol. 2024 Dec ; 45(1):2305899	Original Article
507	Yasuhiro Nakano, Naruhiko Sunada, Kazuki Tokumasu, Hiroyuki Honda, Yuki Otsuka, Yasue Sakurada, Yui Matsuda, Toru Hasegawa, Daisuke Omura	総合内科・総合診療科	Occult endocrine disorders newly diagnosed in patients with post-COVID-19 symptoms	Sci Rep. 2024 Mar 5 ; 14(1):5446.	Original Article

508	Takahashi T, Tomonobu N, Kinoshita R, Yamamoto K, Murata H, Komalasari N, Chen Y, Jiang F, Gohara Y, Ochi T, Ruma I, Sumardika I, Zhou J, Honjo T, Sakaguchi Y, Yamauchi A	薬剤部	Lysyl oxidase-like 4 promotes the invasiveness of triple-negative breast cancer cells by orchestrating the invasive machinery formed by annexin A2 and S100A11 on the cell surface	Front. Oncol. Volume 14 - 2024. Front Oncol. 2024 Mar 26 ; 14:1371342.	Original Article	計508件

(注) 1　当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3　「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4　「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5　「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例:　Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9　/　Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6　「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

(注) 1　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	㊒・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	㊒・無
・　手順書の主な内容 研究者等の基本的責務、研究計画書の作成に関する手続き等、倫理委員会の活動、インフォームド・コンセントを受ける手続き等、個人情報保護法の安全管理、重篤な有害事象への対応、試料・情報の保管管理、モニタリング及び監査の実績、研究者等の教育研修	
③　倫理審査委員会の開催状況	年12回（臨床研究審査専門委員会） 年12回（臨床研究審査委員会）

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。
2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	㊒・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	㊒・無
・　規定の主な内容 岡山大学医療系部局臨床研究における利益相反マネジメント委員会内規 岡山大学医療系部局臨床研究における利益相反マネジメント委員会標準業務手順書	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

（注）前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年26回
・研修の主な内容 ・医師、歯科医師等の特定臨床研究を行う者に対する研修会（11回） ・特定臨床研究に携わる医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の従業者に対する研修会（12回） ・認定臨床研究審査委員会の委員に対する研修会（3回）	

（注）前年度の実績を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

初期研修を修了した医師・歯科医師に対し、指導医による指導のもと、入院患者・外来患者の診療、臨床研究及び症例検討会・関連学会等での発表を通して、高度な知識と医療技術の習得・開発に努めさせている。併せて、各診療領域における専門医・各学会が認めた認定医の資格を取得させることを目的としている。

また、地域において開業、勤務している医師・歯科医師を地域連携研修登録医等として受け入れ、指導教員の指導のもと、最新の医療知識・医療技術の習得、患者の診療及び症例検討会への参加等により、高度な先端医療技術の体得に努めさせている。

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	５１２　人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役職等	臨床経験年数	特　記　事　項
大塚　文男	総合内科・総合診療科 感染症内科	科長	３３　年	内科
大塚　基之	消化器内科	科長	２７　年	
前田　嘉信	血液内科	科長	３２　年	内科
冨樫　庸介	呼吸器内科	科長	１０　年	内科
和田　　淳	腎臓・糖尿病・内分泌内科	科長	３３　年	内科
松本　佳則	リウマチ・膠原病内科	科長	１７　年	内科
湯浅　慎介	循環器内科	科長	２６　年	
石浦　浩之	脳神経内科	科長	２３　年	
藤原　俊義	消化管外科	科長	４０　年	外科
髙木　弘誠	肝・胆・膵外科	科長	１７　年	外科
豊岡　伸一	呼吸器外科	科長	３１　年	外科
枝園　忠彦	乳腺・内分泌外科	科長	２６　年	外科
荒木　元朗	腎泌尿器科	科長	２７　年	
笠原　真悟	心臓血管外科 小児心臓血管外科	科長	３４　年	
谷本　光隆	小児外科	科長	２０　年	
尾﨑　敏文	整形外科 総合リハビリテーション部	科長	３８　年	総合リハビリテーション部 ＝リハビリテーション科
髙成　啓介	形成外科	科長	２１　年	
森実　　真	皮膚科	科長	２５　年	
森實　祐基	眼科	科長	２７　年	
安藤　瑞生	耳鼻咽喉・頭頸部外科	科長	２５　年	耳鼻咽喉科
髙木　　学	精神科神経科	科長	３０　年	精神科
田中　將太	脳神経外科	科長	２４　年	
森松　博史	麻酔科蘇生科	科長	３１　年	麻酔科
塚原　宏一	小児科 小児循環器科 小児血液・腫瘍科	科長	３９　年	

武内　俊樹	小児神経科	科長	２３　年	
岩崎　達雄	小児麻酔科	科長	３４　年	麻酔科
増山　　寿	産科婦人科	科長	３８　年	産婦人科
平木　隆夫	放射線科	科長	２９　年	
中尾　篤典	救命救急科	科長	３２　年	救急科
柳井　広之	病理診断科	科長	２９　年	
平沢　　晃	臨床遺伝子診療科	科長	３０　年	産婦人科
山本　直史	総合歯科部門	部門長	３０　年	歯科
鈴木　茂樹	保存歯科部門	部門長	２３　年	歯科
髙柴　正悟	歯周科部門	部門長	３７　年	歯科
窪木　拓男	口腔インプラント科部門	科長・部門長	３９　年	歯科
秋山　謙太郎	補綴歯科部門	部門長	２４　年	歯科
江國　大輔	予防歯科部門	部門長	２７　年	歯科
柳　　文修	歯科放射線科部門	部門長	２９　年	歯科
宮脇　卓也	歯科麻酔科部門	部門長	３７　年	歯科
飯田　征二	口腔外科顎口腔再建外科部門	科長・部門長	３９　年	歯科口腔外科
伊原木　聰一郎	口腔外科口腔顎顔面外科部門	部門長	２２　年	歯科口腔外科
上岡　　寛	矯正歯科	科長	３６　年	
仲野　道代	小児歯科	科長	３２　年	
曽我　賢彦	医療支援歯科治療部	副部長	２６　年	歯科
江草　正彦	スペシャルニーズ歯科センター	センター長	３７　年	歯科

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

①　　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
院内において専門領域等に関する研修を実施しているほか、外部機関が主催する研修会等に参加させる体制を整えている。
②　　業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
各部署、チーム等において、多職種の連携によるチーム医療を行う上で必要となる専門領域等に関する症例検討、勉強会等により研修を行っている。
③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

（注）1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
（注）2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1．計画　(2)．現状
管理責任者氏名	病院長　前田　嘉信
管理担当者氏名	医療情報部長　郷原　英夫、放射線部長　平木　隆夫、医療安全管理部長・感染制御部長・医療機器安全管理室長　安藤　瑞生、薬剤部長　座間味　義人、看護部長　岩谷　美貴子、病院総務企画課長　石尾　裕則、医事課長　岡田　智宏、各診療科長・中央診療施設長

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病院総務企画課	電子カルテで運用しているため、病歴資料についてはコンピュータによる集中管理を行っている。平成２９年６月１日から文書管理システムを導入し、スキャナに取り込みされた紙文書については電子証明・タイムスタンプが付与され、電子カルテ上で原本として管理している。診療録の病院外への持ち出しは禁止している。
		各科診療日誌	各診療科・中央診療施設	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	各診療科・中央診療施設、医療情報部、医事課	
		看護記録	各診療科・中央診療施設、医療情報部、医事課	
		検査所見記録	各診療科・中央診療施設、医療情報部、医事課	
		エックス線写真	放射線部	
		紹介状	各診療科・中央診療施設、医療情報部、医事課	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	各診療科・中央診療施設、医療情報部、医事課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	病院総務企画課	
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院総務企画課	
		高度の医療の研修の実績	病院総務企画課	
		閲覧実績	病院総務企画課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部、医事課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部、医事課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	病院総務企画課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	病院総務企画課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室、医療安全管理部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況		
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況		
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況		
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況		
		医療安全管理部門の設置状況		
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況		
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況		
		監査委員会の設置状況		
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況		
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況		
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況		
		職員研修の実施状況		
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況		
		管理者が有する権限に関する状況		
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況		
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況		

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1．計画　　(2) 現状
閲覧責任者氏名	病院長　前田　嘉信
閲覧担当者氏名	病院総務企画課総括主査　渡部　英広
閲覧の求めに応じる場所	管理棟3階
閲覧の手続の概要 閲覧の希望がある場合は、学内及び院内で定める情報公開に関する規定に基づき、以下のとおり手続きを行う。 ① 開示請求の受付 ② 開示等の検討 ③ 開示等の決定・通知 ④ 開示の実施	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　0　件
閲覧者別	医師	延　0　件
	歯科医師	延　0　件
	国	延　0　件
	地方公共団体	延　0　件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の 11 第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・　指針の主な内容： ・医療安全管理に関する基本的な考え方 ・医療安全管理のための委員会・医療安全管理責任者の配置 ・医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 ・医療安全管理部 ・医療事故発生時の対応に関する基本方針 ・医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む） ・患者からの相談への対応に関する基本方針 ・高難度新規医療技術・未承認新規医薬品・医療機器等についての安全管理 ・内部通報窓口の設置 ・外部監査の実施 ・特定機能病院間におけるピアレビュー ・その他医療安全の推進のために必要な基本方針（エラーが起こりうることを前提とした安全対策の構築、事故防止への包括的アプローチの必要性）	
②　医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・　設置の有無（ (有)・無 ） ・　開催状況：年12回 ・　活動の主な内容： ・病院における医療安全管理に関する重大な問題その他委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における速やかな原因の究明のための調査及び分析に関すること（省令第一条十一ニイについて実施） ・医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の立案及び実施並びに職員への周知に関すること（省令第一条十一ニロについて実施） ・定期的な事故防止対策に関する調査及び方策の見直しに関すること（省令第一条十一ニハについて実施） ・入院患者が死亡した場合の当該死亡の事実及び死亡前の状況に関する報告の実施状況に関すること（省令第一条十一ニイについて実施） ・入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要となったものとして、インシデントレベル３b以上の事象が発生した場合の当該事象の発生の事実及び発生前の状況の報告の実施状況に関すること（省令第一条十一ニイについて実施） ・『入院患者が死亡した場合の当該死亡の事実及び死亡前の状況に関する報告の実施状況』及び『入院患者が死亡した場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要となったものとして、インシデントレベル３b以上の事象が発生した場合の当該事象の発生の事実及び発生前の状況の報告の実施状況』が不十分な場合における適切な報告のための研修及び指導に関すること（省令第一条十一ニロ、ハについて実施） ・その他医療安全管理に関すること（省令第一条十一ニイ、ロ、ハについて実施）	

③　医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年　3　回
・　研修の内容（すべて）： 第1回　「大学病院での安全管理と質向上を目指して」「医療機器の適正な取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」 第2回　「身体的拘束最小化に向けて」「情報セキュリティに関する研修」「個人情報の適切な取り扱いについて」 第3回「心肺蘇生法」「転倒転落予防対策研修」「高難度新規医療技術」「未承認新規医薬品・医療機器」を用いた医療提供について」	
④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・　医療機関内における事故報告等の整備　（　(有)・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ・マニュアルの整備 ・インシデントレポートシステム ・ペイシェントセーフティマネジャーの配置 ・医療安全管理委員会の設置 ・医療事故等調査委員会 ・医療安全管理者の巡視による改善策実施状況の確認	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①　院内感染対策のための指針の策定状況	有・無

・ 指針の主な内容：

1) 院内感染対策に関する基本的な考え方
2) 委員会
3) 院内感染対策のための職員教育及び研修
4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針
5) 院内感染発症時の対応に関する基本方針
6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針
7) その他当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針
8) 他施設との感染対策地域連携に関する基本方針
9) 第一種感染症指定病院、第一種協定指定医療機関（1類感染症、2類感染症、新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当させる医療機関として県知事が指定した病院）としての基本方針

②　院内感染対策のための委員会の開催状況	年48回

・ 活動の主な内容：

・感染予防対策委員会　　1 回／月　合計 12 回

・ペイシェントセーフティマネジャー会議（この中で ICT 全体会議と医療安全会議を行う）
1 回／月 合計 12 回

・感染制御部職員会議　　1 回／月　合計 12 回
以上３委員会は、それぞれ連携して以下の活動をする。
① 耐性菌サーベイランス、侵襲的処置別感染症サーベイランス
② 感染予防対策立案と指導、マニュアルの管理
③ 抗菌薬使用の管理
④ ＩＣＴ（リスクマネジャーが ICT メンバーを兼ねる）との連携
⑤ 重症感染症、特殊感染症の診断及び治療に関するコンサルテーション
⑥ 感染予防対策に関する教育及び研修の企画運営
⑦ 針刺し、体液汚染事故に関するサーベイランスと事故への対応及び予防対策の立案指導
⑧ その他医療従事者の感染予防と発症時の指導(結核、流行性疾患など)
⑨ 医療廃棄物の取り扱いの管理と指導、環境整備に関する管理と指導
⑩ その他の感染予防対策上の問題への関与

・看護部感染対策リンクナース会　　1 回／月　合計 12 回
手指衛生のコンプライアンスの測定と改善
感染防止の視点からの看護手順の作成
環境整備の状況把握と指導

③　従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年6回

・　研修の内容（すべて）：

1）全職員対象院内感染対策講習会　2回／年
①感染症発生の現況とワクチン予防接種の意義、AMR と AST、院内感染対策－針刺し 粘膜曝露－、院内感染対策－手指衛生－
②薬剤耐性と抗菌薬適正使用について、針刺し・切創報告 2024、手荒れのはなし
2）新規採用者研修　1回
3）看護補助者に対する研修会　1回　標準予防策　講義
4）看護師に対する手指衛生研修　2回

④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・　病院における発生状況の報告等の整備　（ 有 ・ 無 ）

・　その他の改善のための方策の主な内容：

・感染予防対策委員会、ペイシェントセーフティマネジャー会議、看護部感染対策リンクナース会、看護師長会などを通じて毎月重要な情報伝達と周知を行っている。
・ICTレターを月１回のペースで配信し、流行している疾患の情報や新規作成または改訂したマニュアルの情報提供を行っている。また、随時、所属長宛にその都度メール配信して注意喚起や情報提供を行っている。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品安全管理責任者の配置状況	㊒・無
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年　3　回

・　研修の主な内容：

令和６年４月　新規採用職員オリエンテーション　－医療事故防止について（薬剤部）－
令和６年５月　麻薬の適正な取り扱いについて
令和６年９月　薬剤耐性と抗菌薬適正使用について

③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・　手順書の作成　　（　㊒・無　）
・　手順書の内訳に基づく業務の主な内容：

・医薬品の採用・購入・管理
・病棟・各部門への医薬品の供給
・患者への医薬品の使用
・病棟等における医薬品の管理
・医薬品情報の収集・管理・周知
・他施設との連携
・放射性医薬品の管理
・院内製剤の運用
・重大な有害事象の予防および対応（事故発生時の対応、教育・研修）
・医薬品関連の情報システムの利用

④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医薬品に係る情報の収集の整備　　（　㊤・無　）

・　未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：Omegaven

医薬品に係る情報収集は、主に薬品情報室は担い、得られた情報を薬品情報室で評価し、周知が必要な情報については、院内情報誌（DI-News）に掲載し、PSM会議および医療安全管理委員会を通じて各診療科ならびに中央診療部門等に情報提供している。

未承認薬のOmegavenの使用に際に際しては、未承認新規医薬品・医療機器安全管理部門にて審議を行い、承認後の使用開始とした。有害事象に関しては、医療スタッフにて確認、情報共有を行い、医療安全管理部より、未承認新規医薬品・医療機器安全管理部門、医薬品安全管理責任者へ報告を行っている。

また、医薬品による有害反応の未然回避および重篤化回避した情報として「プレアボイド報告」を収集し、とくに医薬品の安全使用に重要な事例は「警鐘事例」としてPSM会議および医療安全管理委員会で報告している。

薬剤部内で発生したインシデント事例については、薬剤部内のリスクを検討する会議を設け、事例検討を行い、対応策の検討と部員への周知を行っている。

・　その他の改善のための方策の主な内容：

1）薬品マスタを活用した医薬品の安全管理

・医薬品のインシデントの報告があった薬剤に対して薬剤マスタに注意喚起を促すコメントを個別に作成し、調剤時のエラー対策を講じた。

2）薬剤師による処方作成支援業務のプロトコルの拡大

医薬品の適正使用および安全管理向上の観点から、薬剤師による処方作成支援業務のプロトコル項目を拡大し、運用を開始した。

3）抗がん剤混合調製システムの運用

抗がん剤混合調製時の薬品間違い、採取量間違いを防止するため、抗がん剤調製を支援するシステムを活用し、安全な抗がん剤調製作業を実施する運用を行っている。

4）抗がん剤レジメンの整理

抗がん剤オーダ選択エラー防止を目的に使用されていないレジメンの運用停止など整理を行った。

5）薬剤部イントラネット上の情報更新

電子カルテの薬剤部ページに掲載されている医薬品関連情報の内容を見直し、更新した。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年７８回

・　研修の主な内容：

・定期研修

1. MRI 装置：装置の安全性と入室時の注意事項について
2. 放射線治療装置の安全管理：装置の使用方法と注意事項について
3. 放射線治療装置の災害対策訓練：緊急時の対応訓練
4. RALS の安全管理：装置の使用方法と注意事項について
5. RALS の災害対策訓練：緊急時の対応訓練
5. 人工呼吸器：機器の取り扱いと注意事項について
6. 血液浄化装置：機器の取り扱いと注意事項について
7. 除細動装置：機器の取り扱いと注意事項について
8. 閉鎖式保育器：機器の取り扱いと注意事項について
9. 注入ポンプ(PCA ポンプ)：機器の取り扱いと注意事項について

・新しい医療機器導入時の研修

1. 診療用高エネルギー放射線発生装置 TrueBeam
2. 位置決め用X線装置 kVイメージングシステム
3. 位置決め用X線装置 エグザクトラック
4. 全身用X線CT装置 Aquilion ONE/INSIGHT Edition
5. 核医学診断用装置 NM/CT 870 DR
6. 血管造影X線診断装置　Azurion 7 B12/12
7. 輸液ポンプ
8. シリンジポンプ
9. 補助循環装置
10. 全自動遺伝子解析装置 GeneCube の機器操作の説明
11. フローサイトメーター（BD FACSLyric™）の操作説明
12. 除細動装置：機器の取り扱いと注意事項について（Moodle にて実施）
13. 全自動蛍光免疫測定装置ミュータスワコーi50

③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・　医療機器に係る計画の策定　　（ 有 ・ 無 ）

・　機器ごとの保守点検の主な内容：

1. X線CT装置：定期点検（機種により年1～2回）、使用前点検
2. 診療用高エネルギー放射線発生装置：定期点検（年4回）、使用前点検
3. 診療用放射線照射装置：定期点検（年1回）、使用前点検
4. 人工心肺装置：定期点検（年1回）、日常点検（始業点検/終業点検）
5. 人工呼吸器：定期点検（年2回）、使用前点検
6. 血液浄化装置：定期点検（年2回）、使用前点検、透析液水質確保加算に係るエンドトキシン測定、細菌培養（毎月）
7. 除細動装置：定期点検（年2回）
8. 閉鎖式保育器：定期点検（年1回）
9. 臨床検査機器装置：定期点検（機種により1～3回/年）、日常点検（始業時、終了時点検）
10. 会議（1回/月）にて当月の保守点検実施予定機器の報告
11. 超音波診断装置：定期点検(年1回)、日常点検(始業時・終業時点検)
12. 全自動遺伝子解析装置GeneCubeの保守・点検（日常、汚染時、定期清掃）
13. 除細動装置：定期点検（年2回）

④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医療機器に係る情報の収集の整備　　（ 有 ・ 無 ）

・　未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：

1. 公益財団法人　日本医療機能評価機構　医療安全情報からの情報収集
2. 全国国立大学法人　放射線診療部門会議　医療安全委員会　NEWSLETTERからの情報収集
3. メーカ、業者からの情報提供

・ **その他の改善のための方策の主な内容**：

・硬膜外 PCA ポンプリザーバー容量に関するインシデント対応と対策

⇒2024/7/31～PCA バッグ内にリザーバー容量設定に関する注意喚起を表示。

・血糖測定器（POCT）の電池液漏れによる故障対応と対策

⇒機器納品時に添付の海外製電池からの液漏れが原因で 2 台故障（2024/9/13）、代替機への交換を実施。

⇒その他の全機器に対して国内メーカ電池への交換対応を実施。

・人工呼吸器酸素供給圧低下に関するインシデントへの対応

⇒対象となった装置の点検と事例の検討を実施。装置に異常なし、その他原因として考えらる点について報告。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	㊤・無

・責任者の資格（医師・歯科医師）
・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況

医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括者として、医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の各業務について確認を行っている。

② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊤（３名）・無

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況
・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況
院内における医薬品の使用状況・副作用情報・プレアボイド等の情報収集、整理・周知は薬品情報室が運用する体制としている。
薬品情報室では、収集した医薬品情報の中でとくに周知が必要な情報を院内情報誌（DI-News）へ掲載し、PSM 会議を通じて診療科および診療部門へ情報提供を行っている。また、緊急安全性情報（イエローレター）や安全性速報（ブルーレター）等の特に緊急性が高い情報については、薬剤部門システムより当該医薬品の使用経験がある医師を抽出し、当該医師に対して個別的に情報提供を行っている。また、院内で発生した有害反応の未然回避および重篤化回避した事例を一元的に管理し、医療安全上、多職種での共有が必要と考える事例については、「警鐘事例」として PSM 会議および医療安全管理委員会で報告している。造影剤に関する有害反応の情報は、診療情報管理室から定期的に情報提供を受け、医薬品安全管理責任者へ報告し、薬剤部で一元的に管理している。
医薬品に関する情報提供の手段としては、院内メール、PSM 会議、医療安全管理委員会とし、PSM 会議での確認テストをもって周知状況の確認を行っている。

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況
未承認等医薬品の使用情報は、未承認新規医薬品・医療機器安全管理部門、薬事委員会、薬剤部

門システムからのデータ抽出、さらには薬剤師の薬剤業務より情報収集する体制としている。臨床上、薬剤師が未承認等医薬品の使用を確認した際は、院内のフローチャートに則り、未承認新規医薬品・医療機器安全管理部門への申請の提案を行っている。また、申請の対象外の場合にも、処方医に対して、処方の必要性、処方の妥当性、さらにはリスク対策についての確認を行っている。得られた情報は薬剤部内で一元管理し、定期的に医療安全管理責任者へ報告している。未承認等医薬品の取扱いに関する教育資材を作成し、薬剤部員に周知している。

・担当者の指名の有無 （有・無）

・担当者の所属・職種：

（所属：薬剤部　，職種　副薬剤部長　）　（所属：薬剤部　，職種　薬品情報室主任　）

（所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　）

（所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　）

（所属：　　，職種　　）　（所属：　　，職種　　）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　（有・無）

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：インフォームド・コンセントに係る責任者は、副病院長（診療（医科）担当）をもって充てる。

定期的にインフォームド・コンセントの実施状況を確認し、必要に応じて診療科長等会議において、報告及び指導等を行う。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

２０２０年度より、（岡山大学病院における診療記録の多職種による監査の運用に関する申合せ）の規定に基づいて、診療記録管理委員会で承認された、多職種監査チームによる監査を実施している。診療情報管理室では量的監査（入院診療計画書、手術記録、退院時要約など）を実施している。監査結果については「診療記録の監査に関する小委員会」「診療記録管理委員会」で報告、委員長より診療科長等会議にて院内周知を行っている。また、IC 項目については IC 委員会へ報告を

行っている。

主な指導内容としては、退院時要約の記載について、不備のない同意書の記載について、経過記録への記載についてなど。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無

・所属職員：専従（４）名、専任（３）名、兼任（２６）名

うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（１４）名

うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（１）名

うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（２）名

（注）報告書を提出する年度の 10 月１日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- ・医療安全管理委員会に係る事務に関すること。
- ・事故、入院患者の死亡及びレベル３ｂ以上のインシデント等病院長が認める事象が発生した場合における診療録の確認、患者又は家族への説明、当該事象の発生の原因究明と対応状況確認及びそれに基づく必要な指導に関すること。
- ・医療に係る安全管理に関する連絡調整に関すること。
- ・医療に係る安全の確保のための対策の推進に関すること。
- ・医療に係る安全の確保に資する診療状況の把握及び職員の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認に関すること。
- ・医療事故調査等支援団体に関すること。
- ・その他医療事故の防止・医療の安全性の向上に関すること。

※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（1 件）、及び許可件数（1 件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ (有)・無 ）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ (有)

無　）

・活動の主な内容：

・評価委員会の設置（医療安全管理部門の医師等を構成員に含む）
・業務（提供の適否の決定に関すること（確認事項、従業者の遵守事項）、評価委員会への諮問、診療科との調整、適用症例の事後検証など）
・構成員（手術を行う部門（外科系）に所属する職員含む）

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ (有)・無　）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ (有)・無　）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（22 件）、及び許可件数（21 件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ (有)・無　）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ (有)・無　）

・活動の主な内容：

・評価委員会の設置（医療安全管理部門の薬剤師を構成員に含む）
・業務（使用の条件及び使用の適否の決定に関すること（確認事項、従業者の遵守事項）、評価委員会への諮問、診療科との調整、使用症例の事後検証など）
・構成員（医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者を含む）

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ (有)・無　）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無　（ (有)・無　）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 437 件（R06.04～R07.03）

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 116 件（R06.04～R07.03）

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

医療事故の防止及び対策、医療事故防止マニュアルの作成、医療事故防止の教育・研修、及び警鐘事例周知、インシデントレポート件数の把握、３b 以上の把握等

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（ 有 （病院名： 琉球大学 ）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有 （病院名： 長崎大学 ）・無）

・技術的助言の実施状況

2024 年 11 月に琉球大学を訪問し、医薬品・未承認新規医薬品等の承認後の有効期限を設けることなどを助言した。

2024 年 11 月に長崎大学の訪問を受け、高難度新規医療技術のモニタリングについて、医療安全管理部に依存しない体制のシステム化などの助言を受けた。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

・患者相談窓口を総合患者支援センターに設置

・窓口の活動に関する患者等への明示として、患者相談窓口の活動趣旨、患者相談窓口の設置場所、患者相談窓口の担当者、責任者、患者相談窓口の対応時間を総合患者支援センター、医事課、病棟ほかに明示

・窓口の活動に関する規約を整備

・相談により患者や家族が不利益を受けないような適切な配慮として、患者やその家族のプライバシーを尊重するため、専用の相談室（４部屋）を設置

・窓口以外の苦情相談の受付方法は電話相談・投書箱（１４か所）・インターネット（電子メール）を用意

・苦情、相談の処理方法として、記録の整備・管理の適正化、各部署との連携・管理者への報告・安全対策等の見直しへの活用等を実施

・苦情、相談内容の共有として、毎週１回の相談担当者によるカンファレンス、月に１回の相談担当者と各部門担当者との会議を介しての情報共有

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

2024 年度は、2024 年 4 月 1 日より新規採用職員オリエンテーション「医療事故防止について」等について研修を実施した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

2024 年度特定機能病院管理者研修（公益財団法人　日本医療機能評価機構）を下記の日程で受講した。

管理者（前田　嘉信）：2025 年 1 月 17 日

医療安全管理責任者･医療機器安全管理責任者（塚原　宏一）:2025 年 1 月 17 日

医薬品安全管理責任者（座間味　義人）：2024 年 12 月 9 日

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2025 年 1 月 29 日～31 日に、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審した。

2025 年 7 月 1 日に、補充的な審査を受審。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

ホームページにて公表

・評価を踏まえ講じた措置

①高難度新規医療技術の安全管理体制を強化するため、以下の措置を講じた。

入院申込システムに「高難度医療」の専用項目を新設し、病棟看護師や病棟クラーク等の多職種が対象者を早期に把握し、情報共有を行うための仕組みを構築した。

また、「インフォームドコンセント同席基準」を改訂し、当該技術の説明（IC）に際しては、看護師等の多職種同席を必須とする旨を全院的な運用ルールとして明記した。

加えて、技術実施後においては新たに中間報告のプロセスを導入し、継続的な安全性の確認を強化した。

②患者に直接使用する医療機器の調査を実施し、医療機器の所在・保守点検の状況を把握した。また、医療機器の使用時手順書を作成・配布した。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第７条の２の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
・ 基準の主な内容 ・人格が高潔で、学識が優れ、教育及び医療に関し高い見識を有すること ・リーダーシップを発揮し、本学の運営方針に基づき、病院運営にあたる者として、学長と基本的な方向性を共有していること ・医療法その他関係法令に基づく管理者として求められる能力及び経験を有する者であること ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ ㊤・無 ） ・ 公表の方法 大学ホームページにて公表

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	㊤・無

・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ ㊤・無 ）
・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ ㊤・無 ）
・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ ㊤・無 ）
・ 公表の方法
大学ホームページにて公表

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長（〇を付す）	選定理由	特別の関係
三村　由香里	理事（企画・評価・総	〇	学長が指名する理事	㊤・無

	務担当）			
成瀬　恵治	学術研究院医歯薬学域		大学院医歯薬学総合研究科長（役職指定）	㊒・無
廣畑　聡	学術研究院保健学域		大学院保健学研究科長（役職指定）	㊒・無
豊岡　伸一	学術研究院医歯薬学域		医学部長（役職指定）	㊒・無
久保田　聡	学術研究院医歯薬学域		歯学部長（役職指定）	㊒・無
上原　孝	学術研究院医歯薬学域		薬学部長（役職指定）	㊒・無
岩谷　美貴子	岡山大学病院看護部		岡山大学病院看護部長（役職指定）	㊒・無
川村　篤	岡山大学病院事務部		岡山大学病院事務部長（役職指定）	㊒・無
黒住　宗晴	社会福祉法人山陽新聞社会事業団		社会福祉に対して幅広い見識を有する学外者	有・㊟
塚本　泰司	元札幌医科大学長 株式会社北海道二十一世紀総合研究所		医療行政に対して幅広い見識を有する学外者	有・㊟

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	㊒・無

・合議体の主要な審議内容

合議体として、診療科長等会議を設置しており、病院長の諮問に応じ、次の事項を審議している。

- 病院の運営の方針に関する事項
- 病院の中期計画に関する事項
- 病院の予算編成及び決算に関する事項
- その他病院の運営に関する重要な事項

・審議の概要の従業者への周知状況

会議の資料を院内ＨＰ（学内限定）に掲載している。

・合議体に係る内部規程の公表の有無（　有・㊡）

・公表の方法

・外部有識者からの意見聴取の有無（　有・㊡　）

合議体の委員名簿

氏名	委員長（〇を付す）	職種	役職
前田　嘉信	○	医師	病院長、診療科長、教授、センター長
豊岡　伸一		医師	上席副病院長、診療科長、教授、センター長、バンク長
大塚　基之		医師	副病院長、診療科長、教授、部長、センター長
増山　寿		医師	副病院長、診療科長、教授、部長、センター長
窪木　拓男		歯科医師	副病院長、診療科長、部門長、教授、室長

森実　真		医師	副病院長、診療科長、教授
櫻井　淳		医師	副病院長、病院教授
伊原木　聰一郎		歯科医師	副病院長、診療科長、部門長、教授
安藤　瑞生		医師	副病院長、診療科長、教授、部長、室長
岩谷　美貴子		看護師	副病院長、看護部長
大塚　文男		医師	診療科長、教授、部長、センター長
冨樫　庸介		医師	診療科長、教授
和田　淳		医師	診療科長、教授、部長、センター長
松本　佳則		医師	診療科長、病院講師
湯浅　慎介		医師	診療科長、教授
石浦　浩之		医師	診療科長、教授
藤原　俊義		医師	診療科長、教授、センター長
高木　弘誠		医師	診療科長、病院講師
枝園　忠彦		医師	診療科長、病院教授
荒木　元朗		医師	診療科長、教授、室長
笠原　真悟		医師	診療科長、教授、部長
谷本　光隆		医師	診療科長、病院講師
尾﨑　敏文		医師	診療科長、教授、部長
髙成　啓介		医師	診療科長、教授
森實　祐基		医師	診療科長、教授、センター長
髙木　学		医師	診療科長、教授
田中　將太		医師	診療科長、教授
森松　博史		医師	診療科長、教授、部長、センター長
塚原　宏一		医師	診療科長、教授
武内　俊樹		医師	診療科長、教授
岩崎　達雄		医師	診療科長、病院教授
平木　隆夫		医師	診療科長、教授、部長、室長、センター長
岡田　あゆみ		医師	診療科長、准教授
塚原　紘平		医師	診療科長、病院講師
中尾　篤典		医師	診療科長、教授、センター長
遠西　大輔		医師	診療科長、教授

柳井　広之		医師	診療科長、病院教授
市原　英基		医師	診療科長、病院准教授、センター長
平沢　晃		医師	診療科長、教授
山本　直史		歯科医師	部門長、病院教授
鈴木　茂樹		歯科医師	部門長、教授
髙柴　正悟		歯科医師	部門長、教授
秋山　謙太郎		歯科医師	部門長、教授
江國　大輔		歯科医師	部門長、教授
柳　文修		歯科医師	部門長、室長、教授
宮脇　卓也		歯科医師	部門長、教授
飯田　征二		歯科医師	部門長、教授
上岡　寛		歯科医師	診療科長、教授
仲野　道代		歯科医師	診療科長、教授
松川　昭博		医師	部長、教授
藤井　伸治		医師	部長、病院准教授
曽我　賢彦		歯科医師	部長、病院准教授
難波　祐三郎		医師	センター長、病院教授
平岡　佐規子		歯科医師	センター長、病院准教授
西田　圭一郎		医師	センター長、病院教授
中村　一文		医師	センター長、病院教授
江草　正彦		歯科医師	センター長、病院教授
郷原　英夫		医師	部長、病院教授
大月　審一		医師	病院教授
座間味　義人		薬剤師	病院教授、薬剤部長
王　英正		医師	病院教授
渡部　昌実		医師	病院教授
堀田　勝幸		医師	病院教授
東影　明人		臨床検査技師	医療技術部長
前島　一実		事務	事務部長
井上　貴裕		病院長補佐	経営戦略支援部長、客員教授

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

・　管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（　㊤・無　）

・　公表の方法

大学のホームページに掲載

・　規程の主な内容

病院長は、病院の管理及び運営に必要な人事（岡山大学長が任命権を有するものを除く。）及び予算執行権限を有する。

病院長は、病院の運営の方針、中期計画、予算編成、決算及びその他の病院の運営に関する重要な事項については、診療科長等会議の議を経て決定する。

病院長は、病院の管理運営に関することをつかさどり、所属職員を監督する。

・　管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長は、病院長を助け、病院長の職務を円滑に遂行させるため、病院の管理運営等に関する職務を分担している。副病院長の職務分担については、現在以下のとおりとなっている。

（1）大学病院改革プラン担当　（2）企画・総務運営担当

（3）診療（医科）担当（兼）防災担当　（4）診療・研究（歯科）担当

（5）教育（医科）担当　（6）研究（医科）担当

（7）教育（歯科）担当　（8）医療安全管理担当　（9）看護・患者サービス担当

病院長補佐は、病院の経営分析及び経営改善に関し、提案及び助言を行い、病院長の職務を

助けている。

・　病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

〇病院長の職務を円滑に遂行させるため、副病院長を複数名置き、それぞれの病院の管理運営に関する業務を分担している。

〇特定機能病院管理者研修に管理者、医療安全管理責任者・医療機器安全管理責任者及び医薬品安全管理責任者が参加している。

〇公開講座「おかやま病院経営『トラの穴』講座」を開講し、本院から副病院長が１名受講している。

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	㊒・無

・監査委員会の開催状況：年２回（令和７年度第１回委員会を令和７年７月１１日に実施，第２回委員会を令和７年１１月１４日に開催予定）

・活動の主な内容：

〇病院の医療安全に係る業務執行の状況に対する監査について審議する。

〇安全管理状況及び改善状況について審議する。

〇病院の業務状況について病院長等から報告を求め，又は必要に応じて自ら確認する。

〇審議の結果に基づき，学長及び病院長に是正措置を講じるよう意見を提出する。

〇審議の結果及び監査意見を公表する。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ 有 ・無 ）

・委員名簿の公表の有無（ 有 ・無 ）

・委員の選定理由の公表の有無（ 有 ・無 ）

・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 有 ・無 ）

・公表の方法：ホームページに掲載

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長（〇を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
松山　正春	岡山県医師会（会長）	〇	医療に係る安全管理に関する識見を有するため	有・(無)	1
長谷川　威	岡山中央法律事務所（弁護士）		法律に関する識見を有するため	有・(無)	1
清板　芳子	ノートルダム清心女子大学（名誉教授）		医療を受ける者の代表者	有・(無)	2

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
・体制の整備状況及び活動内容 国立大学法人岡山大学内部統制規則に基づき、業務の有効性及び効率性の向上、財務報告の信頼性の確保、事業活動に係る法令等遵守の促進並びに資産の保全を図るため、当該組織及び所掌する業務における内部統制の整備及び運用状況について、内部統制委員会に定期的に報告を行うこととしている。内部統制委員会では、定期的に報告される内部統制の整備及び運用状況に基づき、是正措置を講じた内容等について、必要に応じて当該措置の妥当性の検証を行っている。 ・ 専門部署の設置の有無（ ㊒・無 ） ・ 内部規程の整備の有無（ ㊒・無 ） ・ 内部規程の公表の有無（ ㊒・無 ） ・ 公表の方法 内部統制委員会の検証結果を、各部局へ周知している。

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況

国立大学法人法（平成１５年法律第１１２号）の規定に基づき、経営協議会を設置して、中期計画及び年次計画に関する事項のうち、法人の経営に関するもの、並びに予算の作成、執行及び決算に関する事項として病院を含めた法人の経営に関する事項を審議している。

その他に大学内に、病院の管理者を含めた大学の役員等を構成員とした大学経営戦略会議を設置し、病院の経営状態を報告している。

・ 会議体の実施状況（経営協議会　年７回　大学経営戦略会議　年４８回）

・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（　㊒・無　）

（経営協議会　年７回　大学経営戦略会議　年４８回）

・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（　㊒・無　）

・ 公表の方法

経営協議会について、会議の規則、構成員名簿及び議事要旨を、大学ホームページにて公表

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 （〇を付す）	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ・ 無 ）
・通報件数（年０件）
・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ・ 無 ）
・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ・ 無 ）
・周知の方法 〇ホームページに掲載 〇医療安全ポケットマニュアルに掲載

（様式第 7）

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	㊤・無

・情報発信の方法、内容等の概要

ホームページでの診療体制や診療データ等の公開、各種病院機能（総合周産期母子医療センターとしての指定など）や診療及び研究に関する情報発信

記者発表を通じての情報発信

市民等を対象とした公開講座等の開催

病院ＨＰにおいて複数診療科による診療体制、コロナ・アフターケア外来などの専門外来などについて情報発信

2　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	㊤・無

・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要

診療科等が連携するセンターを設置している。

複数の診療科で構成し、多職種が関わる中央診療施設を設置している。